

第7部 教育機関等

第7部 教育機関等

1章 青森県立図書館・青森県近代文学館

1 施設・設備

所在地	青森市大字荒川字藤戸119番地7	
敷地面積	23,812.47㎡	
建物延面積	9,886.03㎡	
構造	鉄筋コンクリート造 地上4階建 塔屋1階	
階別主要室名	1階	一般閲覧室、参考・郷土室、児童閲覧室、乳幼児室、エントランスホール、ロッカールーム、休憩コーナー、機械室
	2階	近代文学館（常設展示室、企画展示室、展示ギャラリー、展示ロビー、近代文学ガイドコーナー、AVブース）、書庫（約47万冊収容可）、特殊資料庫
	3階	書庫（約53万冊収容可）
	4階	集会室、研修室、市町村読書振興室、貴重資料庫、館長室、事務室

2 運営方針

(1) 青森県立図書館運営方針

青森県立図書館は、図書、記録等の資料及び情報を収集し、保存して、県民の利用に供し、市町村立図書館等を支援し、関係機関との連携・協力を進め、県民の学習活動、調査研究、読書活動等を支援するとともに、地域を支える情報拠点として地域の課題解決を支援し、本県の発展に貢献します。

このため、次の事項を推進し、図書館サービスの充実に努めます。

ア 資料の収集・保存・提供

県民が必要とする資料を計画的、体系的に収集し、整理・保存し、利用に供します。

資料の収集に当たっては、地域の課題解決に資する資料、郷土資料及び本県の行政資料の収集に努めます。

また、視聴覚資料、電子資料の収集等、資料の多様化への対応に努めます。

イ 利用者・県民へのサービス

県民の学習活動等を支援するため、オンライン貸出等の貸出サービス、レファレンスサービス等の情報サービス、地域の課題に対応した資料・情報の提供、多様な利用者へのサービス、学習機会の提供、ボランティア活動の機会の提供等を行います。

ウ 市町村立図書館等への支援

県民が、県内どこに住んでいても、充実した図書館サービスを受けることができるよう、市町村立図書館及び公民館図書室等に対し、資料の貸出、図書館職員研修の実施等の支援を行います。

また、県内の公立図書館等の資料の横断検索、相互貸借等を行うための青森県図書館情報

ネットワークシステムを運用するなど、県立図書館、市町村立図書館及び公民館図書室等の相互の連携・協力を進めます。

エ 子どもの読書活動の支援

子どもの読書活動を支援するため、おはなし会の開催、読み聞かせ活動の支援、児童生徒用図書セットの貸出、学校図書館の運営の支援等を行います。

オ 関係機関との連携・協力

県民の学習活動等の支援を充実するため、また、地域の課題解決を支援するため、国立国会図書館、他の都道府県立図書館、大学図書館、学校、社会教育施設、行政機関、調査研究施設、民間団体等との連携・協力を進めます。

(2) 青森県近代文学館運営方針

青森県近代文学館は、明治時代以降の本県出身及びゆかりの作家の文学資料を幅広く収集し、その保存を図るとともに、広く一般に公開展示し、文学活動の環境づくりを進め、創造性豊かな本県文化の継承と発展に貢献します。

このため、次の事項を推進し、文学館活動の充実に努めます。

ア 資料の収集・保存

明治時代以降の本県出身及びゆかりの作家を中心に、図書、雑誌、原稿、書簡、書画及び遺品等の資料を総合的に収集し、体系的に整備・保存します。

イ 資料の展示

青森県を代表する13人の作家を中心に、本県出身及びゆかりの作家の多様な資料を常設展示するとともに、テーマ別の企画展を開催し、青森県の近代文学に関する県民の理解を深めます。

ウ 文学活動の環境づくり

他の文学館、文学団体及び学校等との連携を深めながら、多様な普及・啓発活動、情報提供活動を展開することで、県民の文学活動の環境づくりを進めます。

3 事業内容

(1) 県立図書館

ア 資料の収集・保存・提供

(ア) 資料の収集・保存

購入及び寄贈により幅広く資料を収集し、整理し、保存した。令和2年度末の所蔵資料数は992,235点。

受入数	26,088点	所蔵数	992,235点
-----	---------	-----	----------

a 郷土資料の収集・保存

購入、寄贈及び自館作成等により、地方行政資料を含めた郷土関係全般にわたる資料を収集・整理・保存した。令和2年度末の所蔵資料数は162,586点。

受入数	6,767点	所蔵数	162,586点
-----	--------	-----	----------

※ 「(ア) 資料の収集・保存」内数

(イ) 資料の提供

館内には、一般閲覧室、児童閲覧室、参考・郷土室があり、それぞれ約11万5千冊、約

2万9千冊、約1万4千冊の資料を配架しており、利用者は自由に閲覧することができ、書庫内の資料も、請求により利用することができる。

利用者は、館内の検索端末あるいはインターネットを通じて、資料を検索することができる。

希望する資料がない場合はリクエストを受け、相互貸借のネットワークを活用して、他館から借用し提供するほか、購入により提供した。

a 一般閲覧室では、日本十進分類法を用い、一般図書を主題別に資料を配架するほか、新聞・雑誌、洋書、大活字本、郷土関係のAV資料、企画展示などのコーナーを設けるなどして、多種多様な資料の中から利用者が目的の資料を探しやすいように工夫した。

また、蔵書検索、インターネット、東奥日報CD-ROM、図書館向けデジタル化資料送信サービス・歴史的音源サービスに対応したパソコン端末を設置し、県民への資料・情報提供の充実を図った。

b 児童閲覧室では、調べ学習に対応した児童図書、ノンフィクション、物語、絵本、紙芝居などを自由に利用できるように配架した。

おはなしコーナーでは、毎月第2土曜日に「おはなし会」を、第4土曜日に「おしえて先生！知るしるする探検隊」を開催して、おはなしの楽しさを伝え、本との出会いの機会を提供した。

c 参考・郷土室では、各種の辞典、年鑑、青森県の自然、歴史、産業、文化等に関する図書や県内で刊行された資料等を配架して、利用者の学習・調査研究の利用に供した。

辞典、官報、新聞など、CD-ROMやDVD、データベース資料については、専用端末により迅速に検索することができるサービスを提供した。

国立国会図書館蔵書検索・申込システム、国立国会図書館サーチ、国立情報学研究所等のデータベースを利用し、資料や所蔵情報を提供した。

開館日数	総利用者数	総利用資料数
322日	222,263人	243,296点

イ 利用者・県民へのサービス

(ア) レファレンスサービス

来館、非来館利用者からの様々なアプローチ(口頭、電話、FAX、メール等)による質問や、市町村立図書館等からの依頼を受けた、協力レファレンスに対して、解決に役立つ資料の紹介や情報提供を行った。

レファレンス数	調査・回答 982件	文献紹介 7,476件
---------	------------	-------------

(イ) オンライン貸出サービス

パソコンや携帯電話で所蔵資料の予約・貸出申込みをすることができる。また、受取館を県立図書館以外の市町村立図書館等(貸出協力館)に指定することができる。

貸出協力館数	61館	貸出件数	9,785件	貸出点数	17,741点
--------	-----	------	--------	------	---------

(ウ) 遠隔地返却サービス

県立図書館から貸出しを受けた資料を利用者が希望する市町村立図書館等に返却し、県立図書館が回収した。

返却協力館数	61館	利用件数	1,414件	利用点数	6,406点
--------	-----	------	--------	------	--------

(エ) アウトリーチサービス

来館による図書館利用が困難な重度心身障害者や要介護高齢者を対象に、宅配による図書の貸出を行った。

貸出件数	110件	貸出点数	588点
------	------	------	------

(オ) ホームページの充実

県立図書館の蔵書を検索し、予約や貸出申し込みができるオンライン貸出サービスを利用することができる。

また、「県内公共図書館・大学図書館横断検索」により18の市町村立図書館等と11の大学図書館、1県立施設の蔵書を検索することができる。

利用者から寄せられた要望等について、当館の対応とともに掲載した。

ホームページアクセス件数	128,938件
--------------	----------

(カ) デジタルアーカイブの公開

当館が所蔵する貴重資料等の電子画像を営利・非営利を問わず二次利用可能な形で公開するほか、それらの書誌情報についても、新たにオープンデータとして配布している。

また、他機関が公開するデジタルアーカイブや、青森県に関する主な電子資料へのリンク集を作成・公開している。

アクセス件数	14,289件
--------	---------

(キ) ボランティアの受入

返却された資料の配架及び利用案内について、図書館ボランティアを受け入れ、自主的・自発的な活動を支援・促進した。

登録人数	19人	延べ活動人数	629人
------	-----	--------	------

(ク) 一般閲覧室企画展示

本県に関する事項、身近な関心ごと、話題の出来事などテーマに沿った本の展示と貸出を行った。

期 間	テ ー マ
9月25日～10月21日	体験してみませんか？読書バリアフリー
10月23日～11月25日	沢田としき没後10年展 ～コミックからイラスト・絵本の世界 ジンベの音とともに空へ～
12月4日～12月23日	八甲田山雪中行軍遭難事件
12月25日～1月27日	改めて学ぼう！新型コロナウイルス感染症
1月29日～2月24日	盤上遊戯 古今東西

期 間	テ ー マ
2月26日～3月24日	がん生活習慣病～もう一度見直そう～
	2011.3.11東日本大震災から10年

※4月～7月は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止。

ウ 市町村立図書館等への支援

(ア) 青森県図書館情報ネットワークシステム（通称：Applins：アプリンズ）

県内公共図書館等の相互貸借のためのインターネットシステムを管理・運用した。参加館は横断検索機能を用いて、各館の所蔵情報を相互に検索することができるほか、検索した資料について、予約や貸出の申込みから借受、返却までの情報管理を双方向的に行うことができる。また、掲示板機能により、参加館の様々な情報を共有した。

a 参加館

参加館	46館	うちデータ提供館	18館
-----	-----	----------	-----

b アプリンズを利用した貸出点数

県立図書館からの貸出点数	5,757点	県立図書館の借受点数	99点
--------------	--------	------------	-----

(イ) 協力用図書の一括貸出

「協力用図書」を約4万5千冊所蔵し、市町村立図書館等を対象に蔵書を支援する目的で貸出しを行った。

貸出件数	52件	貸出点数	26,309点
------	-----	------	---------

(ウ) 公立図書館長・公民館長会議、担当者会議

- a 公立図書館長・公民館長会議を開催し、県立図書館等の事業説明を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から資料配付のみ実施した。
- b 図書館相互協力事業等担当者会議を開催し、市町村立図書館・公民館図書室等と県立図書館間の相互協力事業についての説明を行うとともに情報交換会を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から資料配付のみ実施した。
- c 臨時の公立図書館長・公民館長会議を開催し、新型コロナウイルス感染症感染防止対策等について情報交換を実施した。

(エ) 市町村立図書館等職員研修

- a 図書館勤務概ね2年以内の市町村立図書館・公民館図書室等職員及び学校図書館担当者を対象とし、図書館の役割や基本的なサービス等を理解するための講義と演習を行う市町村立図書館等職員初任者研修を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から資料配付のみ実施した。
- b 市町村立図書館・公民館図書室等職員及び学校図書館担当者を対象とし、公共図書館等の学校図書館支援や学校図書館との連携に関し、外部講師による講義と実践報告を行う学校図書館支援研修を開催した。
- c 市町村立図書館・公民館図書室等職員及び学校図書館担当者を対象とし、図書館職員の資質向上のために特に重要なテーマ（レファレンスサービス）について、外部講師による講義と演習を行う市町村立図書館等職員基本研修を開催した。

- d 市町村立図書館・公民館図書室等職員及び学校図書館担当者を対象とし、図書館職員の資質向上のために図書館の運営やサービスに関する実務など、幅広いテーマ（「with コロナ時代の図書館運営を考える」）について、外部講師による講義と演習を行う市町村立図書館等職員ステップアップ研修を開催した。
- (㊦) 市町村立図書館等巡回訪問
- a 市町村立図書館等からの要請により、運営等について指導・助言及び情報提供等を行い、市町村立図書館等の振興と連携強化等を図るため、令和2年度は1回の訪問を行った。
- b 市町村立図書館等について、実態と課題を聴取して、今後の市町村支援の在り方を検討するため、令和2年度は18回の調査訪問を行った。
- c 図書館の新設等の事由により重点的に助言及び支援を行うため、令和2年度は6回の重点支援訪問を行った。
- (㊧) 定期資料搬送
市町村立図書館等及び大学等図書館と資料を貸借するために、宅配便と公用車を利用した定期的な資料搬送を行った。
具体的には、市町村立図書館等との相互貸借、オンライン貸出サービスの貸出・回収、遠隔地返却サービスの回収、大学等図書館との相互貸借及び大学等図書館返却サービスの回収を行った。
- エ 子どもの読書活動の支援
- (ア) 子どもと本をつなげる催しの開催
子どもたちが、さまざまなことに興味を持ち、関連した本に触れることによって、読書への興味を持つとともに、図書館の利用促進となるような催しを開催した。
- a おはなし会 毎月第2土曜日
絵本の読み聞かせやブック・トークを行った。令和2年度の参加者総数は182人であった（4月～6月は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止）。
- b おしえて先生！知るしるする探検隊 毎月第4土曜日（12・3月を除く）
科学やいろいろな仕事、スポーツなど、実験や交流体験を行った。令和2年度は5回開催し、参加者総数は121人であった（4月～6月は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、1月は講師都合により中止）。
- (イ) 児童閲覧室テーマ展示
おはなし会のテーマや読書週間等と連動した本の展示・貸出のほか、年中行事による小展示を行った。

開催月	テ ー マ	小 展 示
8月	うみのそこの そのまたそこに	ぼうし/きょうりゅう
9月	ぼくたち、わたしたちのふるさと青森県 ～青森県児童文学研究会創立60周年～	おかね
10月	自然をまもる すごいぞ！アクティブレンジャー、みんなもなろう！	まほう
11月	沢田としきさん ありがとう ～沢田としき没後10年展～	びじゅつかん
12月	おうちがだいすき	プレゼント
1月	うし	チクチク

開催月	テ ー マ	小 展 示
2月	おなががべっこべこ	カレーライス
3月	あの日から 未来・えがおへ	おはよう

※4月～7月は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止。

(ウ) セット貸出

a 市町村内巡回図書セット

小・中学校の朝の読書活動や幼稚園・保育所等の読み聞かせ活動を支援するため、協力用図書を利用して図書セットを作成し、市町村立図書館等に対し「市町村内巡回図書セット」として貸出を行った。借り受けた市町村立図書館等は管内の小学校等に配本した。

図書セットの内容	利用対象	前 期		後 期	
		配本先	配本冊数	配本先	配本冊数
小 学 校	低 学 年	36	3,400	33	3,040
	中 学 年	35	3,340	33	2,980
	高 学 年	35	3,200	33	3,080
中 学 校	中 学 校	8	330	8	330
読 み 聞 かせ 絵 本 等 児 童 書	幼 稚 園 ・ 保 育 所 等	45	5,850	61	9,210
大 型 絵 本	幼 稚 園 ・ 保 育 所 等	53	1,605	52	1,465

b 学習支援セット

児童生徒の学習支援や読書活動の推進等を支援するため、協力用図書を利用して「学習支援セット」を作成し、希望する小・中学校、高等学校、特別支援学校、市町村立図書館等へ貸出を行った。(小・中学校は市町村立図書館等を経由して貸出。)

利 用 対 象	前 期		後 期	
小・中学校、高等学校、特別支援学校、市町村立図書館等	配本先	配本冊数	配本先	配本冊数
	20	1,476	21	1,262

c ミニセット

各図書館等での展示・貸出を支援するため、協力用図書を利用して全国的なイベント等に対応した「ミニセット」を作成し、希望する高等学校、市町村立図書館等へ貸出を行った。

利 用 対 象	前 期		後 期	
市町村立図書館等 (一部高等学校・特別支援学校を含む。)	配本先	配本冊数	配本先	配本冊数
	18件	509冊	20件	594冊

(エ) 学校図書館アシスト事業プラス

小・中学校及び県立学校等を県立図書館職員が訪問し、学校図書館が抱える疑問などを解決するための具体的な助言や情報提供、学校図書館の活動に関する研修を行った。

また、必要に応じて追加の訪問や助言、情報を提供した。

訪問学校数	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	その他	計
	11校	4校	9校	1校	0校	25校

オ 関係機関との連携・協力

(ア) 国立国会図書館による図書館向けデジタル化資料送信サービス

国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料を公共図書館等で閲覧・複写できるサービスに参加館として加入し、県民への資料提供の充実を図った。

図書館向けデジタル化資料送信サービス	利用者数	53人
--------------------	------	-----

(イ) 歴史的音源（れきおん）サービス

歴史的音盤アーカイブ推進協議会（H i R A C）がデジタル化した、1900年当初から1950年頃までに制作されたSP盤及び金属原盤等に収録された音楽・演説等の音源を公共図書館等で視聴できるサービスに参加館として加入し、県民への資料提供の充実を図った。

歴史的音源（れきおん）サービス	利用者数	2人
-----------------	------	----

(ウ) 国立国会図書館及び県外公共図書館等との連携

県域を越えた図書館資料資源の共有化及び効率的利用の促進を目的とする、和図書の総合目録ネットワーク「国立国会図書館総合目録ネットワーク（ゆにかねっと）」にデータ提供館・参加館として加入し、全国的な図書館連携に協力するとともに、県民への資料提供の充実を図った。

他都道府県公共図書館との相互貸借	貸出点数	624点	借受点数	100点
------------------	------	------	------	------

(エ) 大学等図書館との連携

平成21年度から県内大学等図書館と連携・協力に関する協定（覚書）を締結している。大学等図書館とは、横断検索システムを活用した相互貸借や県立図書館で借受けた資料を在籍する大学等図書館に返却できるサービスを行った。

大学等図書館との相互貸借	貸出点数	195点	借受点数	30点
--------------	------	------	------	-----

(オ) 行政支援サービス

県職員を対象に、政策立案や行政サービスの改善に資するため、業務に関するレファレンス（調査・相談）や資料及び関連図書リストの提供を行った。また、県が主催する様々なセミナー等の会場において、参加者を対象に関連図書の展示・貸出を行った。

レファレンスサービス件数	38件
業務に関する図書貸出点数	30点
セミナー等における図書貸出点数	176点
県立図書館施設利用人数	940人

(カ) 産業支援サービス

県民を対象に、幅広く産業やビジネスを支援するため、創業・起業や経営改善に関する情報、農林水産資源を活用した商品開発などに関する情報等の提供を行った。

また、創業・起業に関する相談会場等で、関連図書リストの提供を行った。

レファレンスサービス件数	33件
データベース情報検索件数	421件
相談会等におけるオーダーメイドリスト提供件数	8件

(2) 近代文学館

ア 資料の収集・保存

収集方針に基づき、佐藤紅緑・秋田雨雀・葛西善蔵・福士幸次郎・石坂洋次郎・北村小松・北畠八穂・高木恭造・太宰治・今官一・三浦哲郎・長部日出雄・寺山修司の13人の重点作家を中心とした本県ゆかりの作家の文学資料について、継続的に収集・整理・保存を行った。

令和2年度は、「特別展 中南津軽文学散歩」、「ミステリーの魔術師 高木彬光生誕100年展」、「追悼 新谷ひろし氏寄贈資料展」の開催を契機に、関連する資料の収集に力を注いだ。

受入数	3,054点	所蔵数	161,304点
-----	--------	-----	----------

イ 資料の展示

常設展示、企画展等の観覧者は12,289人であった。

※4月24日から5月20日まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館。

開館日数	304日	観覧者数	12,289人
------	------	------	---------

(ア) 常設展示

常設展示室では、青森県を代表する13人の作家の図書、雑誌、原稿、書簡、書画、遺品等の資料を展示し、その作品と生涯を紹介しているほか、青森県ゆかりの作家33人をジャンルごとに紹介した。

常設展示中の作家から1～2名を選び拡大展示する「エクステンド常設展示」を年2回開催。令和2年度は、石坂洋次郎、三浦哲郎を展示した。

(イ) 特別展・企画展の開催

企画展示室では、特定のテーマを設けて特別展・企画展を開催しており、開館以来、令和2年度までに計101回の特別展と企画展を開催した。

a 特別展 中南津軽文学散歩

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から展示・イベント等では中止し、図録のみ発行した。

b ミステリーの魔術師 高木彬光生誕100年展

1920(大正9)年青森市に生まれた高木彬光(たかぎ・あきみつ)は、1948(昭和23)年、処女作「刺青殺人事件」が江戸川乱歩の眼にとまり、ミステリー界に華々しくデビューした。その後も「妖婦の宿」「能面殺人事件」など傑作を相次いで発表し、乱

歩をして「戦後派の五人男」と言わしめた。1950（昭和25）年には「能面殺人事件」で探偵作家クラブ賞を受賞。彬光が生み出した探偵・神津恭介は、明智小五郎、金田一耕助と並び、日本三大名探偵の一人と称されている。

高木彬光の生誕100年という節目にあたり、当館で収蔵している彬光の直筆資料・図書・雑誌、そして彬光の旧蔵図書を展示し、探偵推理小説、歴史推理小説、社会派推理小説等、ミステリーに新たな側面を持たせた高木彬光の生涯と作品を紹介する展示を行った。

c 追悼 新谷ひろし氏寄贈資料展

俳人の新谷ひろし氏は、1930（昭和5）年に南津軽郡大杉村（現・青森市）で生まれた。1947（昭和22）年に青森俳句会に入会し、俳誌「暖鳥」に参加。後に同誌の編輯人、さらには主宰を務めた。1959（昭和34）年には青森県俳句懇話会の初代事務局長に就任。その後『飛磔の歌』や『大釋迦峠』等の句集を刊行し、1985（昭和60）年には青森県現代俳句協会の初代会長となった。2006（平成18）年の「暖鳥」終刊後は、新たに俳誌「雪天」を創刊し主宰を務め、2020（令和2）年9月29日に満89歳で逝去された。

かつて青森に俳句の文学館を作りたいという夢を抱き、収集に取り組みされた俳人・新谷ひろし氏を偲び、その寄贈資料の中から青森県俳句に関する貴重な数々を紹介する展示を行った。

(ウ) 各種展示・コーナーの設置

「近代文学ガイドコーナー」では、DVD（約18分）で、明治以降の青森県の文学の流れを解説しており、AVブースでは、青森県ゆかりの作家の業績や作品の世界、分野、地域、時代等特定のテーマで、1本15分～20分のDVD計37作品を鑑賞することができる。

また、展示ギャラリーには、13人の作家が青森県について語った文章と風景写真を組み合わせ「文学ギャラリー 作家が語る青森」パネルを展示した。

(エ) パネル展の開催

特別展・企画展の内容を再構成したパネル展を、文化施設や作家にゆかりの地域の高等学校など、延べ9か所で開催し、若い世代や遠隔地の県民に観覧の機会を提供した。

ウ 文学活動の環境づくり

(ア) 特別展 文学講座【中止】

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。

(イ) 日曜講座・朗読会の開催

a 日曜講座

特別展や企画展の開催に併せて、当館職員による日曜講座を開催し、出品資料や展示内容に対する理解を深めてもらう機会を提供した。令和2年度は、1回開催し、参加者は48人であった。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から2回中止とした。

b 「日曜午後の朗読会」

青森県を代表する13人の作家をテーマに、作家および作品の紹介を朗読を交えて4回実施し、参加者は13人であった。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から2回中止とした。

(ウ) 出前講座

職員が依頼を受けて学校等に出向き、青森県の近代文学についての講義を行う出前講座を2会場で実施し、参加者は133人であった。

(エ) その他の取組

a 第19回青森県近代文学館川柳大会【誌上大会】

平成14年の収蔵資料展「青森県の川柳誌」の開催をきっかけに始まった川柳大会を3月7日（日）に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から誌上大会として開催し、2月26日（金）に入選句を発表した。

b 全国文学館協議会第9回共同展示「3.11文学館からのメッセージ」

パネル展「災害と日常 —第19回青森県近代文学館川柳大会より—」

誌上大会として行われた今年度の川柳大会の特選句・秀句をパネルで紹介した。

(3) 印刷物の発行

印刷物の名称	摘 要
要覧	令和2年度版
青森県の図書館	令和2年度版
青森県立図書館報	第37号～第39号（年3回発行）
青森県近代文学館報	第39号（年1回発行）
青森県近代文学館 特別展図録	「中南津軽文学散歩」
青森県近代文学館資料集	第十二輯「葛西善蔵・原稿『姉を訪ねて』」

(4) 分類別受入資料数 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

			0類	1類	2類	3類	4類	5類	6類	7類	8類	9類	E	K	その他	計
			総記	哲学宗教	歴史紀行	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	絵本	紙芝居		
本館資料	開架資料	一般資料	354	224	631	2,410	1,230	1,156	678	1,182	164	1,846	0	0	0	9,875
		児童資料	23	15	48	124	211	94	54	72	23	380	775	37	0	1,856
		参考資料	25	8	12	77	12	12	23	20	5	5	0	0	0	199
		郷土資料	45	6	99	271	38	54	82	44	2	12	0	0	0	653
		個人文庫等資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	計	447	253	790	2,882	1,491	1,316	837	1,318	194	2,244	775	37	0	12,584	
	書庫資料	一般資料	523	44	194	451	63	38	173	347	31	592	0	0	0	2,456
		児童資料	0	0	0	2	2	0	0	0	2	29	46	2	0	83
		参考資料	8	0	0	5	0	1	2	2	4	3	0	0	0	25
		郷土資料	296	38	215	807	127	120	246	433	4	3,828	0	0	0	6,114
個人文庫等資料		14	0	4	5	0	0	0	39	1	19	0	0	0	82	
計	841	82	413	1,270	192	159	421	821	42	4,471	46	2	0	8,760		
図書資料計		1,288	335	1,203	4,152	1,683	1,475	1,258	2,139	236	6,715	821	39	0	21,344	
非図書資料		90	1	124	84	14	12	39	114	7	78	0	0	0	563	
本館資料計		1,378	336	1,327	4,236	1,697	1,487	1,297	2,253	243	6,793	821	39	0	21,907	
近代文学館資料															3,054	
協力用資料															4,181	
合 計															29,142	

(5) 分類別所蔵資料数 (令和3年3月31日現在)

			0類	1類	2類	3類	4類	5類	6類	7類	8類	9類	E	K	その他	計
			総記	哲学宗教	歴史紀行	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	絵本	紙芝居		
本館資料	開架資料	一般資料	4,787	5,998	10,241	23,601	8,641	12,006	6,727	8,894	2,675	25,819	0	0	0	109,389
		児童資料	481	274	1,244	1,500	3,360	907	620	1,231	440	7,505	10,417	776	0	28,755
		参考資料	658	333	1,056	724	529	292	234	608	428	544	0	0	0	5,406
		郷土資料	729	107	2,664	2,327	422	547	814	598	57	221	0	0	0	8,486
		個人文庫等資料	626	4	104	24	13	9	11	604	0	2,196	0	0	0	3,591
	計	7,281	6,716	15,309	28,176	12,965	13,761	8,406	11,935	3,600	36,285	10,417	776	0	155,627	
	書庫資料	一般資料	51,986	21,000	46,700	118,845	37,536	34,579	36,541	46,505	9,261	93,259	0	0	0	496,212
		児童資料	928	287	1,808	2,026	4,039	1,454	616	1,716	476	14,486	16,462	844	0	45,142
		参考資料	1,994	171	1,058	3,332	636	834	1,008	798	462	452	0	0	0	10,745
		郷土資料	16,848	1,950	13,381	43,520	6,542	6,419	18,056	10,689	444	36,251	0	0	0	154,100
個人文庫等資料		6,579	2,453	10,425	14,260	1,041	466	6,983	1,776	1,717	6,932	1	0	9,302	61,935	
計	78,335	25,861	73,372	181,983	49,794	43,752	63,204	61,484	12,360	151,380	16,463	844	9,302	768,134		
図書資料計		85,616	32,577	88,681	210,159	62,759	57,513	71,610	73,419	15,960	187,665	26,880	1,620	9,302	923,761	
非図書資料		4,029	60	10,637	2,196	274	487	1,282	2,500	102	699	0	0	726	22,992	
本館資料計		89,645	32,637	99,318	212,355	63,033	58,000	72,892	75,919	16,062	188,364	26,880	1,620	10,028	946,753	
近代文学館資料															161,304	
協力用資料															45,482	
合 計															1,153,539	

4 令和2年度主催事業の実績

子どもの読書活動推進のための図書セット貸出事業

[趣 旨]

子どもの読書活動の環境づくりを進めることを目的として、小・中学校、高等学校、特別支援学校、市町村立図書館等に対して、幼児・児童・生徒用の図書セットを貸出する事業である。

[概 要]

図書セットの内容		利用対象	前 期		後 期	
			配本先	配本冊数	配本先	配本冊数
(1)巡回図書セット	小学校	低学年	36	3,400	33	3,040
		中学年	35	3,340	33	2,980
		高学年	35	3,200	33	3,080
	中学校	中学校	8	330	8	330
	読み聞かせ絵本 児童書等	幼稚園・保育所等	45	5,850	61	9,210
	大型絵本	幼稚園・保育所等	53	1,605	52	1,465
(2)学習支援セット		小・中学校、高等学校、特別支援学校、市町村立図書館等	20	1,476	21	1,262
(3)ミニセット		市町村立図書館等 (一部高等学校・特別支援学校を含む。)	18	509	20	594

近代文学館 特別展開催

[趣 旨]

青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、特定のテーマに添った特別展を開催する事業である。

[概 要]

(1) 「特別展 中津軽文学散歩」

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。

(2) 第1回文学講座

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。

(3) 第2回文学講座

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。

(4) 日曜講座

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。

〔趣 旨〕

青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、近代文学館が収蔵している資料を展示・公開する企画展を開催する事業である。

〔概 要〕

(1) 「ミステリーの魔術師 高木彬光生誕100年展」

○会期：10月24日（土）～1月11日（月・祝） ○来場者数：2,158名

○場所：県近代文学館企画展示室

○内容：1920（大正9）年青森市に生まれた高木彬光（たかぎ・あきみつ）は、1948（昭和23）年、処女作「刺青殺人事件」が江戸川乱歩の眼にとまり、ミステリー界に華々しくデビューした。その後も「妖婦の宿」「能面殺人事件」など傑作を相次いで発表し、乱歩をして「戦後派の五人男」と言わしめた。1950（昭和25）年には「能面殺人事件」で探偵作家クラブ賞を受賞。彬光が生み出した探偵・神津恭介は、明智小五郎、金田一耕助と並び、日本三大名探偵の一人と称されている。高木彬光の生誕100年という節目にあたり、当館で収蔵している彬光の直筆資料・図書・雑誌、そして彬光の旧蔵図書を展示し、探偵推理小説、歴史推理小説、社会派推理小説等、ミステリーに新たな側面を持たせた高木彬光の生涯と作品を紹介する展示を開催。

○展示資料数：628点（原稿・草稿6点、図書576点、雑誌36点、印刷物9点、書画1点）

(2) 「追悼 新谷ひろし氏寄贈資料展」

○会期：2月20日（土）～5月16日（日） ○来場者数：987名（3/31現在）

○場所：県近代文学館企画展示室

○内容：俳人の新谷ひろし氏は、1930（昭和5）年に南津軽郡大杉村（現・青森市）で生まれた。1947（昭和22）年に青森俳句会に入会し、俳誌「暖鳥」に参加。後に同誌の編輯人、さらには主宰を務めた。1959（昭和34）年には青森県俳句懇話会の初代事務局長に就任。その後『飛礫の歌』や『大釋迦峠』等の句集を刊行し、1985（昭和60）年には青森県現代俳句協会の初代会長となった。2006（平成18）年の「暖鳥」終刊後は、新たに俳誌「雪天」を創刊し主宰を務め、2020（令和2）年9月29日に満89歳で逝去された。かつて青森に俳句の文学館を作りたいという夢を抱き、収集に取り組みされた俳人・新谷ひろし氏を偲び、その寄贈資料の中から青森県俳句に関する貴重な数々を紹介する展示を開催。

○展示資料数：203点（図書57点、雑誌17点、年鑑21点、書簡3点、書画89点、遺品16点）

県立図書館資料整備

【趣 旨】

県民の生涯学習の拠点として、充実した図書館サービスを提供することを目的として、利用者の幅広い学習のための資料や情報などの整備を図る事業である。

【事業内容及び結果】

- (1) 受入資料数 (R2/4/1～R3/3/31)

区分	受入資料数
県立図書館（本館）	21,907冊
市町村等協力用	4,181冊
近代文学館	3,054冊
合 計	29,142冊

- (2) 図書館利用状況 (H31/4/1～R2/3/31)

図書館利用者数			201,121名
近代文学館利用者数			12,289名
年間利用資料数	一般閲覧室	141,192冊	※アウトリーチサービス 身障者等への配本サービス
	児童閲覧室	46,878冊	
	オンライン貸出	8,466冊	
	新聞未合冊等	5,605冊	
	アウトリーチ（全体の内数）	(588冊)	
	市町村一括（協力）貸出等	41,155冊	
	計	243,296冊	
年間登録者数	新規登録者数	2,358名	※うち、アウトリーチ総登録 者数を含む。
	総登録者数	18,432名	

- (3) 市町村図書館等への貸出の状況 (H31/4/1～R2/3/31)

相互貸借 (県立図書館からの貸出)	県内市町村立図書館等	5,757冊
	県外公共図書館等	624冊
	計	6,381冊
団体一括貸出	26,309冊	
集団読書用図書	120冊	

市町村立図書館等職員研修事業

【趣 旨】

市町村立図書館等の運営上の課題解決、情報交換及び職員の資質向上を図ることを目的として、市町村立図書館等職員研修を実施するとともに、相互協力事業を円滑に行うために県立図書館事業等担当者会議を開催する事業である。

【概 要】

- (1) 青森県立図書館事業等担当者会議
 - 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から資料配付のみ実施
- (2) 市町村立図書館等職員初任者研修
 - 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から資料配付のみ実施

(3) 学校図書館支援研修

- 期 日：9/30（水） ○場所：県立図書館
- 対 象：市町村立図書館・公民館図書室等の職員及び学校図書館の業務を担当する職員等
- 参加者：市町村立図書館等職員29名、学校図書館業務担当職員22名
- 内 容：テーマ「繋がる学校図書館－支援と連携の輪を広げよう－」
講師 宮城県松山高等学校 主任主査（学校司書） 大場 真紀

(4) 市町村立図書館等職員基本研修

- 期 日：10/15（木） ○場所：県立図書館
- 対 象：市町村立図書館・公民館図書室等の職員及び学校図書館の業務を担当する職員等
- 参加者：市町村立図書館等職員25名、学校図書館業務担当職員7名、その他3名
- 内 容：テーマ「レファレンスインタビュー ～“おもてなし”の第一歩～」
講師 福島県白河市立図書館 主幹兼副館長 中沢 孝之

(5) 市町村立図書館等職員ステップアップ研修

- 期 日：12/9（水） ○場所：青森県総合社会教育センター
- 対 象：市町村立図書館・公民館図書室等の職員及び学校図書館の業務を担当する職員等
- 参加者：市町村立図書館等職員28名、学校図書館業務担当職員3名、その他2名
- 内 容：テーマ「w i t h コロナ時代の図書館運営を考える」
※Webによるオンライン講義
講師 （公社）日本図書館協会 常務理事兼事務局次長 鈴木 隆

アウトリーチサービス推進事業

[趣 旨]

来館による図書館利用が困難な重度心身障害者や要介護高齢者等に対して、宅配便による図書の搬送を行い、来館しなくても図書館資料を利用できる環境を提供する事業である。

[概 要]

- 登録者数：56名（うち新規登録者数0名）
- 貸 出：件数110件／冊数588点

2章 県立少年自然の家

1節 梵珠少年自然の家

1 施設・設備

(1) 施設

名 称	青森県立梵珠少年自然の家	
所 在 地	青森県五所川原市大字神山字殊ノ峰117-602	
設 置 年 月 日	昭和46年8月1日	
敷 地 面 積	6,514.42㎡	
建 物 面 積	2,196.35㎡	
構 造	鉄筋コンクリート2階建、体育館鉄骨平屋建	
収 容 人 員	160人	
屋 内 施 設	研 修 棟	研修室1 (60人)、研修室2 (60人)、和室、身体障害者用宿泊室兼医務室
	宿 泊 棟	宿泊室13 (14人用2室、12人用11室)、指導者室1 (5人用)
	体 育 館 (兼大研修室)	バレーボール (1面)、バスケットボール (1面)、バドミントン (2面)、卓球台 (4台)、研修 (160人)
屋 外 施 設	屋 外 施 設	キャンプセンター (120人)、キャンプ場、営火場、つどいの広場、星見の広場
	そ の 他	車庫

(2) 設備

視 聴 覚 用 具	液晶プロジェクター、ビデオデッキ、CDラジカセ、ポータブルアンテナ、テレビ、スクリーン
自 然 観 察 用 具	天体望遠鏡、双眼鏡等
野 外 活 動 用 具	スノーシュー、6人用ドームテント、タープテント、ロールマット、シュラフ、炊事用具一式、火起こし体験用具一式、無線機
レ ク リ エ ー シ ョ ン ス ポ ー ツ 等	バレーボール用具一式、バスケットボール用具、バドミントン用具一式、ユニホック用具一式、卓球用具一式、ディスクゴルフ用具、チャレンジ・ザ・ゲーム用具等

2 運営の方針と重点

(1) 方針

少年たちが、恵まれた自然の中で、多様な体験活動を行うことにより、豊かな感性、社会性、創造性等を培い、自ら学び、考え、行動する、社会を生き抜く力の養成が図れるよう諸条件を整備し、魅力ある活動の場や機会の提供に努めます。

(2) 重点

① 利用の促進

ア 主催事業の充実

- ・魅力あるプログラムの開発と提供
- ・ボランティアの養成と活用

イ 受入事業の促進

- ・多様な利用体系への対応
- ・幼稚園・保育園・社会教育団体の利用促進

② 支援体制の充実

ア 自然体験活動支援の充実

イ 指導者研修の充実

ウ ホームページ等による情報提供の充実

③ 活動プログラムの充実

ア 発達段階に対応した活動プログラムの開発

イ 自然環境を活用した活動プログラムの開発

ウ 郷土の素材を活用した活動プログラムの開発

④ 安全管理の徹底

ア 定期的な施設整備・活動エリアの安全点検の実施

イ 緊急時における適切な対応の徹底

ウ 給食における衛生管理の徹底

⑤ 施設設備の充実

ア 施設設備の保守と計画的な整備

イ 活動エリアの保守と整備

3 令和2年度主催事業の実績

看板事業

【趣 旨】

教育効果が高い企画及びその運営手法などを広く普及啓発していくことを目的として、施設の魅力を生かした活動プログラムを発達段階に応じて提供していく事業である。

【概 要】

活 動 名	期 日	対 象	参加者数	内 容
夏の7daysキャンプ ～梵珠から西目屋へ 自転車と川下りで 移動する140km真 夏のチャレンジ!～	8/2 (日) ～8 (土)	小学5年生～中 学3年生の児童 生徒	20名	出会いのつどい、自転車隊 列走行トレーニング、自転車 による移動型テント泊、野 外炊事、渓谷トレッキング、 キャンプファイヤー、川遊 び、ラフティング体験、創作 活動、別れのつどい
年長すくすくキャン プ～親元を離れての1 泊大冒険～	8/29 (土) ～30 (日)	年長児	16名	出会いのつどい、仲間作り ゲーム、野外炊事、森の中 で冒険遊び、テント装飾、 館内炊事、読み聞かせナイ ト、ジャンボメダル作り、別 れのつどい
9歳チャレンジ・ キャンプ ～ひとりのできるぞ!～	9/19 (土) ～21 (月)	9歳児童 (小学3・4年生)	24名	出会いのつどい、仲間づく り交流ゲーム、家族への手 紙書き、ザリガニ釣り、段 ボール基地作り、梵珠山縦 走登山、キャンドルサービ ス、野外炊事、冒険遊び、 創作活動、別れのつどい
7歳ワンツーカーン プ～寒さに負けない梵 珠キッズの冬遊び～	2/27 (土) ～28 (日)	7歳児童 (小学1・2年生)	23名	出会いのつどい、仲間作り 交流ゲーム、スノーランド作 り・遊び、ベッドメイキング、 館内炊事、キャンドルサービ ス、創作活動、別れのつど い

養成事業

指導者養成 ～ぼんじゅ出前講座～	11月～ 3月 【各回即日】	幼稚園・保育園(認定こども園含む)及び小・中学校、特別支援学校の小・中学部、PTA、青少年教育団体(子ども会、児童館、放課後子ども教室等)、公民館	824名	団体が開催する各種行事(事業)に向向き、自然の家が提供するプログラムの実施における直接指導と助言を行う。直接指導及び助言とは、指導者への指導法等の伝達及び助言、児童生徒への直接指導、指導者研修会等での指導及び助言や実地指導である。 また、過去に出前講座を実施した団体については、用具の貸し出しや創作材料の提供及び指導方法の伝達のみを行う「間接指導」の利用を積極的に勧めていく。 活動プログラムは、自然の家ホームページにて「指導者養成～ぼんじゅ出前講座～」プログラム一覧参照
---------------------	----------------------	---	------	--

親子事業

【趣 旨】

自然に触れ自然について学ぶことを契機に自然に親しむ態度を育てることを目的として、親子や一般県民を対象に、施設周辺の自然環境を生かした多様な体験活動機会を提供する事業である。

【概 要】

活 動 名	期 日	対 象	参加者数	内 容
春を楽しむサンday ～春の息吹を五感で感じよう～	4/29(日)	小・中学校の児童生徒を含む保護者とその家族	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
ファミリーキャンプ～初めて家族大歓迎～	① 7/11(土) ～12(日) ② 7/18(土) ～19(日)	小・中学校の児童生徒を含む保護者とその家族	①43名 (12家族延べ86名) ②39名 (12家族延べ78名)	出会いのつどい、テント設営、選択による野外活動体験①(ディスクゴルフ、自然観察、ザリガニ釣り)、ダッチオープン等野外炊事、選択による野外活動体験②(ホタル観察、星空ウォッチング、たき火)、テント泊、創作活動、別れのつどい
自然体験ぼんじゅフェスタ	10/25(日)	自然体験活動に関心のある方	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
本格門松をつくろう	12/12(土) 12/13(日) 【両日で4回実施】	小・中学校の児童生徒とその保護者及び門松作りに関心のある一般の方	293名 (106家族)	開会行事、製作説明、本格門松づくり(土合作り、飾り付け)、昼食提供(希望者)
冬にとびだそう ～親子で白銀の世界へ～	2/6(土) ～7(日)	小・中学校の児童生徒を含む保護者とその家族	25名 (8家族延べ50人)	出会いのつどい、雪の自然観察、雪灯籠作り、館内炊事、夜の雪灯籠祭り、創作活動、チューブそり遊び、別れのつどい

2節 種差少年自然の家

1 施設・設備

(1) 施設

名 称	青森県立種差少年自然の家	
所 在 地	青森県八戸市大字鮫町字膳並平2-26	
設 置 年 月 日	昭和50年12月1日	
敷 地 面 積	65,976.73㎡	
建 物 面 積	3,487.71㎡	
構 造	鉄筋コンクリート2階建 但し体育館棟鉄骨平屋建	
収 容 人 員	200人	
屋内施設	研 修 棟	統括室、事務室、会議室、医務室、食堂、ホール、大ホール（大研修室、200人）、小ホール（小研修室、50人）、自然観察室（50人）
	宿 泊 棟	宿泊室26（車椅子利用者対応3人用2室、8人用24室）、リーダー室（2、和室）、浴室2、トイレ3、車椅子利用者対応トイレ1
	プレーホール （体 育 館）	バレーボール（1面）、バドミントン（2面）648.90㎡
屋外施設	屋 外 施 設	キャンプセンター、炊事場、営火場（2）、うどんう広場、トイレ
	そ の 他	つどいの広場、あそびの広場、なかよし広場、自然観察林、常設テント（13張、5～10月）電気室、車庫、ライフジャケット乾燥室、活動資材置場、倉庫

(2) 設 備

視 聴 覚 用 具	C Dプレーヤー、MDプレーヤー、液晶プロジェクター、デジタルカメラ、ポータブルワイヤレスアンプ、実物投影機
自 然 観 察 用 具	顕微鏡、双眼実体顕微鏡、天体望遠鏡、双眼鏡、星座早見盤、クリノメーター、磯の生物観察用具、野山の生物観察用具、魚釣り用具、救命胴衣、懐中電灯、フィールドスコープ
体 育 用 具	卓球台、バレーボール用具、バドミントン用具、肋木、グラウンドゴルフ用具、デジタルタイマー
野 外 活 動 用 具	放送機、簡易無線機、テント、シュラフ、炊事用具
レ ク リ エ ー シ ョ ン ス ポ ー ツ 等	ソフトバレーボール用具一式、バドミントン用具一式、卓球用具一式、フリスビーゴルフ用具、昔遊び用具、ノルディックポール、フロアカーリング、キンボールスポーツ用具一式、室内用ベタンク2セット、ヒットだターゲット、バグジー

2 運営の方針と重点

(1) 基本方針

少年たちが、豊かな自然の中でのびのびと体験活動をすることにより、自然と人間のかかわりを理解しながら、生きる力を養うことをめざす。

(2) 重点事項

- ① 利用団体の主体的活動を促進するために、引率指導者との連携強化を図る。
- ② 活動プログラムの開発と見直しを推進する。
- ③ 主催事業の充実を図る。
- ④ 環境整備と安全確保に努める。
- ⑤ 学校・地域・教育関係団体・民間団体との連携強化を図る。
- ⑥ 学校・教育機関・団体・報道機関等への資料提供と積極的な広報活動に努め、利用の促進を図る。
- ⑦ 職員研修の充実を図る。

3 令和2年度事業の実績

種差少年自然の家主催事業（自然と遊ぶ、子どもの祭典）

【趣 旨】

小・中学生が家族や仲間とのふれあいを深めながら、心豊かでたくましい子どもを育てることを目的として、県立種差少年自然の家周辺の山野や海での自然体験活動や創作活動、キャンプ活動などを体験する学習機会の提供をする事業である。

【概 要】

(1) 自然と遊ぶ

活 動 名	期 日	対 象	参加者数	内 容
たねさしワールド 「エンジョイ！ 海遊び」①② ※2回開催	7/5 (日)	年長児・小・中学生とその保護者	143名	・いかだ遊び ・カヌー遊び ・サンドクラフト作り ・磯遊び
	7/12 (日)		147名	
たねさしワールド 「秋を感じて」	10/18 (日)		102名	・種差スタンプづくり ・ネイチャーリーフペンゴ ・ロウ引きしおりづくり
たねさしワールド 「晩秋のみちのくトレイルを歩こう」	11/1 (日)		66名	・みちのく潮風トレイル散策(ビーチコーミング、鳴き砂体験、野鳥観察) ・森散策 ・貝がらストラップ
たねさしワールド 「冬の季節を感じて」	12/6 (日)		114名	・ミニ門松づくり ・ミニしめ縄づくり
たねさしワールド 「エンジョイ！ 雪遊び」①② ※2回開催	2/6 (土)		4歳以上の幼保・小・中学生とその保護者	89名
	2/7 (日)	108名		
たねさしワールド 「こども大作戦」①② ※2回開催	2/20 (土)～21 (日)	小学3年～4年	50名	・宿泊、生活体験 ・仲間づくり ・夜の森体験、冒険ハイク ・館内ツリーイング ・たき火体験 ・スノーチューブすべり ・ニュースボーツ(スカットボール)
	2/27 (土)～28 (日)	小学1年～2年	54名	

(2) 子どもの祭典

活 動 名	期 日	対 象	参加者数	内 容
おいでよ！ サマーキャンプA	7/30 (木)～31 (金)	小学5年～	42名	・テントでの宿泊体験 ・野外炊事 ・山活動(ツリーイング、ロープワーク、キーホルダーづくり、グラウンドゴルフ) ・キャンプファイヤー ・海活動(磯遊び) 他
おいでよ！ サマーキャンプB	8/1 (土)～2 (日)	中学3年	50名	・テントでの宿泊体験 ・野外炊事 ・山活動(関門突破ハイキング) ・キャンプファイヤー ・海活動(カヌー、いかだ遊び、磯遊び) 他
わくわくどきどき ウィンターキャンプ	12/24 (木)～26 (土)	小学5年～ 中学3年	30名	・冬の野外テントでの宿泊体験 ・野外炊事 ・耐寒10kmウォーク ・火おこし ・キャンプファイヤー 他

自然体験活動支援事業

【趣 旨】

学校や公民館、児童館などの身近な施設内外の活動場所で、子どもたちに自然体験活動の場を提供することを目的として、県立種差少年自然の家職員が現地に向いて自然体験活動や創作活動の実地支援を行う。また、自然体験活動や創作活動の指導者の資質能力の向上を目的として、小中学校及び少年団体指導者、市町村社会教育関係者等の指導職員を対象に行う研修事業である。

【概 要】

活 動 名	期 日	対 象	参加者数	内 容
自然体験活動 出前講座	4・5月及び 10月～3月* 6月～9月は 原則として 実施なし	三八、上北管内の 小・中学校、児童 館、公民館、青少 年団体や成人団体 等	83団体 3,534人	・県立種差少年自然の家のプログラ ムの中で出前対応可能なもの (せんべい焼き、どんぐりアート、 動物マグネット、貝がらアート、 たねさしアロマアート等)
自然体験活動 研修会	5/30(土)	幼・小・中学校教 員、高校・大学 生、児童館など関 係機関の指導者、 その他自然体験活 動に興味のある方	13名	・アドベンチャーゲーム ・森探検 ・創作活動
	5/31(日)		20名	・いかだ遊び、救助体験 ・磯遊び ・避難訓練、AEDの使用法

在学少年宿泊指導者研修

【趣 旨】

県立種差少年自然の家を利用する小・中学校及び特別支援学校等の引率教員を対象に、宿泊学習や野外活動等を効果的に行うことを目的として、活動プログラムの内容・指導の仕方や施設・設備の利用の仕方等について研修するとともに、利用する際の日課表を具体的に作成する事業である。

○期日：4/20(月)～21(火) ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

○場所：県立種差少年自然の家

○対象：令和2年度利用小・中学校及び特別支援学校の引率教員 75名

【概 要】

○講義：社会教育施設としての自然の家の効果的な利用の仕方

○実習：活動プログラムの実習（野外、自然、創作活動、夜の活動）、施設等の利用方法

○演習：活動計画の立案、プログラムの相談、事前打合せ、確認

親子で学ぶ防災キャンプ事業

【趣 旨】

県立種差少年自然の家を避難所とし、避難場所の整備・運営を体験することによって、自然災害に遭遇したときにおける実践的な防災力を育むことを目的として、小・中学生とその家族を対象に行う研修事業である。

【概 要】

活 動 名	期 日	対 象	参加者数	内 容
「親子の絆」 防災キャンプ	9/26(土) ～27(日)	小・中学生とその 保護者	47名	・防災レクリエーション ・防災ラジオ作り ・避難所宿泊体験 他

3章 青森県総合社会教育センター

1 施設・設備

(1) 施設

所在地	青森市荒川字藤戸119-7
設置年月日	平成元年7月1日
敷地面積	16,815㎡
建物延床面積	7,053㎡
構造	鉄筋コンクリート造 地上4階 塔屋1階
研修室	大研修室、第1研修室～第10研修室
実習室	和室、調理実習室、第1工作室、第2工作室、教材編集室、第1多目的研修室、第2多目的研修室、第1教材開発室、第2教材開発室、第3教材開発室
その他	ラーニングスペース、学習情報サービス室、学習相談室、保健室、ほのぼののルーム、団体連絡室、情報処理室、食堂、視聴覚ライブラリー

(2) 設備（主なもの）

学習情報サービス室(ありす)	ビデオ教材、DVD教材、インターネット端末
教材編集室	モニターテレビ、編集・調整機器一式、編集用パソコン、βカムVTR編集機、デジタルビデオ編集機、ダビング装置一式
第1教材開発室	プロジェクター、VTR、実物提示装置、モニターテレビ、DVDプレイヤー
第9研修室	パーソナルコンピュータ、プリンタ、サーバー
第10研修室	パーソナルコンピュータ、プリンタ、サーバー
視聴覚ライブラリー	16ミリ映写機、スライド映写機、モニターテレビ、16ミリフィルム教材
共用機器	テレビ、VTR、OHP、ビデオプロジェクター、アンプ、DVDプレイヤー、DVDレコーダー、ブルーレイプレイヤー、ブルーレイレコーダー
情報処理室	データベースサーバー、Webサーバー、ゲートウェイサーバー、ファイルサーバー、プリンタ、パーソナルコンピュータ
第1工作室	糸のこ盤、グラインダー、木工具
第2工作室	金工具、土練機、ろくろ、陶芸電気炉

2 運営の方針と重点

青森県総合社会教育センターは、社会教育の充実振興を図り、県民の生涯にわたる学習意欲の高揚と学習活動の進展に資するため、市町村及び関係機関・団体と連携しながら、次の事業を総合的に実施する。

- (1) **人 財 育 成**
地域活動を通じて地域を支えていく人財の育成とネットワークを構築する。
次代を担う青少年の育成とキャリア形成を支援する。
- (2) **教育活動支援**
学校と地域の協働による教育活動の推進と充実を図る。
家庭の教育力を向上させるための情報提供や支援者を育成する。
地域全体で子どもを育むための仕組みづくりを進める。
- (3) **市町村・団体支援**
市町村教育委員会、生涯学習・社会教育関係機関及び団体を支援する。
社会教育及び生涯学習関係者の資質を向上させる。
社会教育に関する情報の収集と提供を行う。
生涯学習及び社会教育の推進に必要な調査研究を行う。
- (4) **生涯学習活動支援**
県民の多様な学習活動を支援する。
県民の社会参加活動を支援する。
- (5) **施設提供**
社会教育及び県民の学習活動のための研修施設・視聴覚機材を提供する。

3 事業内容

- (1) **概 況**
センターは、人財育成、教育活動支援、市町村・団体支援、生涯学習活動支援の4区分により事業を実施した。
人財育成は、地域を支える人財や次代を担う青少年を育成するため、受講者の実践活動を含め専門的・実践的な研修を行った。
教育活動支援は、家庭や地域の教育力の向上を図るため、地域づくりや家庭教育支援の人財育成に関する専門的・実践的な研修を行った。
市町村・団体支援は、生涯学習・社会教育関係職員の資質向上及び社会参加活動を推進するため、生涯学習・社会教育に関する専門的な研修や社会参加活動支援機関の研修と情報交換を行った。
生涯学習活動支援は、県民の学習活動や社会参加活動を支援するため、生涯学習、社会教育に関する情報提供、学習相談を行うとともに、今日的課題や生涯の各時期における課題に対応した学習講座を行った。

(2) 相談状況

① 生涯学習相談

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数(計)		3	5	4	3	3	5	2	4	2	2	2	2	37
相談者	個人	1	4	4	3	2	5	1	2	2	2	2	2	30
	機関	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
	団体	2	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	5
形態	窓口	2	2	1	2	0	4	2	1	2	0	0	1	17
	電話	1	2	3	1	3	1	0	3	0	2	2	1	19
	FAX	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
態	郵便	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Eメール	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
分野	人材	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3
	学習機会	0	2	1	1	1	1	0	2	2	1	0	1	12
	施設	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
別	教材	0	1	3	0	2	0	1	1	0	0	0	0	8
	学習プログラム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	団体サークル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
別	資格	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	調査研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	活動	2	0	0	0	0	4	0	0	0	0	2	1	9
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	

分類別

	個人 37					機関 5					団体 2					総計 44									
	窓口	電話	FAX	郵便	Eメール	その他	窓口	電話	FAX	郵便	Eメール	その他	窓口	電話	FAX	郵便	Eメール	その他							
計	14	16	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	2	0	0	1	0	17	19	0	0	1	0	37
人材	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	1	0	3
学習機会	3	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	9	0	0	0	0	12
施設	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
教材	4	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	8
学習プログラム	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
団体サークル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資格	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
調査研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
活動	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	7	2	0	0	0	0	9
その他	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

② 家庭教育相談

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計													
		電話 1	メール 1	電話 3	メール 1	電話 2	メール 4	電話 4	メール 3	電話 3	メール 3	電話 1	メール 0	電話 3	メール 4	電話 1	メール 0	電話 5	メール 0	電話 0	メール 0	電話 33	メール 22	面談 0	合計 55		
電話・メール別		1	1	3	1	2	1	2	4	4	3	3	3	3	1	0	3	4	1	0	1	5	0	6	3		
来所面談		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
月別計		2	4	3	6	7	6	4	3	5	1	5	9														
相談者	父				1								0	1								0	1	1			
	母	1	1	3	1	1	1	1	3	3	3	3	3	1		3	3	1		1	4	5	3	27	21	48	
対象	祖父				1											1							3	0	3		
	祖母																							1	1	0	1
対象者	その他				1	1																		2	0	2	
	乳幼児	1	2	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1									2	3	10	9	19	
対象者	小1	1				1																1	1	1	2	3	
	小2																							0	0	0	
対象者	小3																					1	1	2	3		
	小4								1	1												1	1	2	2	4	
対象者	小5																						0	0	0	0	
	小6															1							1	0	1		
対象者	中1										1												1	0	1		
	中2				1			1																3	1	4	
対象者	中3					1	1		1	1						1	1						3	2	5		
	高1						1	1		1											1	1	4	0	4		
対象者	高2																						0	0	0	0	
	高3			1																			1	0	1		
対象者	その他(一般)	1			1	2	1			1	1	1	1									1	6	4	10		
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
食事	母乳・ミルク																						0	0	0	0	
	食事・離乳食																						0	0	0	0	
発達	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	身体							2															0	2	2	2	
発達	こぼれ																						0	0	0	0	
	性格																						0	0	0	0	
発達	行動						1		1														1	1	1	2	
	発達障害																						1	1	0	1	
発達	その他																						0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3	0
疾病等	しつけ・習慣		1	1																			1	2	1	3	
	睡眠																							0	0	0	0
疾病等	排泄			1			1																1	2	1	3	
	その他																						2	2	0	2	
疾病等	計	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	8	
	疾病・異常																							0	0	0	0
疾病等	けが																							0	0	0	0
	予防接種																							0	0	0	0
疾病等	その他(関係機関問合せ)															1							0	1	1		
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
関係	友達																						1	1	1	2	
	家族			1							1													1	1	2	
関係	教師				1				1							1							1	3	1	4	
	その他																							0	0	0	0
関係	計	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	5	3	0	8
	いじめ																							0	0	0	0
行動	虐待						1																1	1	1	2	
	不適応(引きこもり等)																							0	0	0	0
行動	不登校										1					1	1						3	1	4		
	非行・暴力										1													0	1	1	
行動	反抗										1					1	1						2	2	4		
	その他						1	1															1	2	0	2	
行動	計	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	1	0	0	1	1	1	0	1	1	0	1	1	8	5	0	13
	態度					1		1																1	1	1	2
学習	不振			1			1																	4	0	4	
	勉強法										1													1	0	1	
学習	進学										1													0	2	2	
	就職																							0	0	0	0
学習	その他																							0	0	0	0
	計	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	6	3	0	9
性	男女交際																							0	0	0	0
	性について																							1	1	0	1
性	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1
	情緒不安定																							0	0	0	0
心	神経症的反応																							0	0	0	0
	心身症状																1							1	0	1	
心	その他																							0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
その他	園・学校等への要望																							0	1	1	
	相談者自身(一般)				1		2				1					1								1	4	5	
その他	問い合わせ	1																						1	0	1	
	その他						1									1	1							2	1	3	
その他	計	1	0	0	1	0	0	2	1	1	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	4	6	0	10	

4 施設利用状況

	研修室等利用								学習情報 サービス室 (ありす)		ロビー (ラウンジ スペース)	総計	累計
	主催事業		個人		団体利用		計						
	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	人員	
4月	18	1	0	0	628	16	646	17	828	27	424	1,898	1,898
5月	22	1	0	0	467	17	489	19	556	24	164	1,209	3,107
6月	0	0	0	0	1,296	25	1,296	25	1,270	29	730	3,296	6,403
7月	269	13	8	1	1,652	27	1,929	29	1,531	30	561	4,021	10,424
8月	216	11	18	1	2,266	25	2,500	27	2,095	30	1,070	5,665	16,089
9月	81	7	0	0	2,618	26	2,699	27	1,763	29	903	5,365	21,454
10月	267	15	26	3	2,593	24	2,886	28	1,428	30	756	5,070	26,524
11月	401	11	0	0	2,397	28	2,798	28	1,691	29	930	5,419	31,943
12月	133	9	6	1	2,667	25	2,806	27	1,403	27	645	4,854	36,797
1月	116	6	0	0	1,842	26	1,958	27	1,322	27	665	3,945	40,742
2月	119	8	18	3	1,759	25	1,896	26	1,519	27	758	4,173	44,915
3月	100	8	6	1	1,655	27	1,761	27	1,296	28	618	3,675	48,590
合計	1,742	90	82	10	21,840	291	23,664	307	16,702	337	8,224	48,590	
(昨年度)	(5,261)	(126)	(250)	(24)	(48,073)	(312)	(53,584)	(325)	(20,986)	(344)	(12,751)	(87,321)	

団体利用内訳

	団体利用		内訳													
			社会教育 団体		学校教育 団体		学校		大学等		モデル 団体		公共団体		民間団体	
	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数	人員	日数
4月	628	16	279	8	305	8	0	0	0	0	0	0	20	1	24	3
5月	467	17	277	12	82	6	0	0	0	0	0	0	95	3	13	2
6月	1,296	25	354	19	515	12	0	0	0	0	0	0	185	6	242	11
7月	1,652	27	453	22	251	11	0	0	0	0	0	0	550	8	398	11
8月	2,266	25	834	19	428	14	0	0	0	0	0	0	518	7	486	11
9月	2,618	26	761	20	581	12	26	1	0	0	0	0	801	12	449	17
10月	2,593	24	377	19	202	10	14	2	0	0	14	2	837	14	1,149	11
11月	2,397	28	785	22	457	14	176	4	20	1	40	4	357	8	562	13
12月	2,667	25	642	21	866	17	0	0	0	0	4	1	954	17	201	4
1月	1,842	26	733	19	282	13	0	0	0	0	35	4	614	17	178	10
2月	1,759	25	655	21	399	14	0	0	0	0	93	6	401	10	211	11
3月	1,655	27	669	19	128	7	0	0	0	0	126	4	285	7	447	14
合計	21,840	291	6,819	221	4,496	138	216	7	20	1	312	21	5,617	110	4,360	118
(昨年度)	(48,073)	(312)	(11,917)	(240)	(11,020)	(170)	(713)	(14)	(60)	(2)	(614)	(29)	(12,939)	(130)	(10,810)	(161)

5 令和2年度主催事業の実績

(1) 人財育成

① 地域を支える人財の育成

パワフルAOMORI！創造塾

【趣旨】

新たな地域活動者の発掘・育成を行うとともに、仲間づくりの促進やネットワークの形成・強化、地域活動の活性化を図り、地域コミュニティを牽引する人財を育成する事業である。

【概要】

(1) 講座

	期日	内容・講師等
第1回	10/17(土)	地域への想いを見つめる回 【講義・演習】「映像共生学とソーシャル・ストーリーテリング①」 ものがたり法人FireWorks 映画脚本家 栗山 宗大
第2回	10/31(土)	地域への想いを見つめる回 【講義・演習】「映像共生学とソーシャル・ストーリーテリング②」 ものがたり法人FireWorks 映画脚本家 栗山 宗大
第3回	11/14(土)	地域の今後は想いを描く回 【講義・演習】「『想い』を『カタチ』にする方法①」 (株)官民連携事業研究所 チーフマネージャー 晝田 浩一郎
第4回	11/29(日)	想いを具体化する回 【事例発表】「パワフルAOMORI！創造塾から得たもの」 第29期パワフルAOMORI！創造塾 卒塾生 日野口 奈央 第30期パワフルAOMORI！創造塾 卒塾生 山内 省吾 第31期パワフルAOMORI！創造塾 卒塾生 齊藤 文 同 江良 圭太 【講義・演習】「『想い』を『カタチ』にする方法②」 (株)官民連携事業研究所 チーフマネージャー 晝田 浩一郎
第5回	12/20(日)	アクションプランの発表、決意表明 【演習】わたしのアクションプラン上映会 講評 ものがたり法人FireWorks 映画脚本家 栗山 宗大

(2) 場所

県総合社会教育センター

(3) 参加者

塾生 20名 男性 12名、女性 8名 (20歳代 8名、30歳代 9名、40歳代 3名)

元気青森人を創造するeラーニング推進事業

【趣旨】

自己の生き方や働き方について考えたり人生設計したりするための学習を、県民の誰もがいつでもどこでも手軽にできることを目的として、インターネットによる講座の配信を行う事業である。

【概要】

インターネットによる学習教材の配信 (eラーニング)

(1) 元気青森人PowerUpコンテンツ 計 116本 (アクセス件数: 1,652件)

ア 公開講座 8本

イ	ワンポイントアドバイス	16本
ウ	はたらく心	92本
(2)	あおもり学インターネット講座	計 43本 (アクセス件数: 4,137件)
ア	あおもりの自然	9本
イ	我がふるさとあおもり	10本
ウ	あおもり学特別講座	23本
エ	青森県の先人	1本
(3)	あおもり子育てネット	計 91本 (アクセス件数: 37,489件)
ア	子育て動画	48本
イ	子育て得情報	30本
ウ	学習コーナー	13本

持続可能な地域づくりのためのネットワーク会議

[趣 旨]

社会の持続的発展のため、活力のある地域コミュニティの形成を目指し、地域の人財同士の連携・協働を可能とする弾力的で柔軟なネットワークづくりを図る事業である。

[概 要]

(1) 地域ミーティング①

- ア 期日・会場：上北地域 8/23(日) 七戸南公民館
西北地域 8/29(土) 鶴田町公民館
- イ 概要：若者によるミニトークライブ(高校生・社会人等の若者)
- ウ テーマ：「若者による、これからこの地域でやってみたいこと」
ファシリテーター 弘前圏域移住交流デザイナー 野口 拓郎
- エ 対象：高校生以上の県民及び地域住民、地域づくり団体メンバー、社会教育・地域づくり関連部局行政職員及び施設職員等
- オ 参加者数：(上北地域) …会場17名、オンライン10名 計27名
(西北地域) …会場21名、オンライン6名 計27名

(2) 地域ミーティング②

- ア 期日・会場：上北地域 10/24(土) 七戸南公民館
西北地域 12/5(土) 鶴田町公民館
- イ 概要：これからこの地域でやってみたいこと
「地域への思い・夢をまとめます」《中間活動報告》
ファシリテーター 県総合社会教育センター職員
- ウ 対象：高校生以上の県民及び地域住民、地域づくり団体メンバー、社会教育・地域づくり関連部局行政職員及び施設職員等
- エ 参加者数：(上北地域) …会場10名、オンライン5名 計15名
(西北地域) …会場16名、オンライン3名 計19名

(3) 県ミーティング

- ア 期日：12/19(土)
- イ 会場：県立図書館
- ウ 概要：各地域ミーティング報告
上北地域…七戸町 七戸町地域おこし協力隊 花松 美佐
西北地域…鶴田町 鶴田町役場企画観光課 坂本 博之

エ 講演会：演題 『地域おこしの超重要世代～高校生の役割を探る～』

講師 弘前圏域移住交流デザイナー 野口 拓郎

オ 対象：高校生以上の県民および地域住民、地域づくり団体メンバー、社会教育・地域づくり関連部局行政職員および施設職員等

カ 参加者数：会場17名、オンライン11名 計28名

② 次代を担う青少年の育成

青森で生きる未来人財育成事業

【趣 旨】

県内市町村地域コミュニティの活性化や郷土に対する子どもたちの理解を深めることを目的として、土曜日等（日曜日・祝日・長期休業中を含む）の学習活動に高校生・大学生を派遣し、異年齢交流を行う事業である。

【概 要】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止を講じながら異年齢交流を行うため、Web会議システムを使用し、大学生、高校生による小学生、中学生への読み聞かせや学習支援、会話など参加者同士が繋がりを持つことができるプログラム「寺子屋オンライン」を実施。

【登録者数】

校種別	登録者数	内 訳
小学生	9人	青森市4人、むつ市2人、六ヶ所村2人、六戸町1人
中学生	0人	
高校生	4人	
大学生等	13人	

【参加者数】

演習名	回数	参加者数
研修会 (高校生・大学生等のみ)	3回	大学生等 延べ16人 高校生 延べ1人
寺子屋オンライン	10回	大学生等 延べ42人 高校生 延べ10人 小学生 延べ42人
合 計	13回	大学生等 延べ58人 高校生 延べ11人 小学生 延べ42人

大学生とカタル！キャリアサポート形成事業

【趣 旨】

規定の研修を修了した大学生が自身の体験談や生徒と直接対話するワークショッププログラムを企画・運営し、中学生・高校生には、今と将来の自分について考え、向き合う機会とすることで、互いに自らの夢や目標に向かう主体性が育まれるよう促し、キャリア形成を図る事業である。

【概 要】

(1) ワークショップ「キャリアサポ」(高校企画)、「J r.キャリアサポ」(中学校企画)の実施

ア 実施高等学校、中学校数 13校（高等学校12校、中学校1校）

イ 参加生徒数 高校生1,099名、中学生63名

ウ 延べ参加大学生数 355名

No.	期日	実施校	対象高校生	参加大学生
1	8/22(土)	県立鶴田高等学校	全学年 (4クラス74名)	23名
2	8/24(月)	県立田子高等学校	2学年 (1クラス9名)	8名
3	8/24(月)	県立三戸高等学校	2学年 (2クラス49名)	15名
4	8/27(木)	三戸町立三戸中学校	8学年※2学年 (2クラス68名)	22名
5	8/31(月)	県立黒石高等学校	1学年 (5クラス198名)	39名
6	9/4(金)	県立大間高等学校	1・2学年 (4クラス77名)	20名
7	9/8(火)	県立田名部高等学校	1学年 (5クラス191名)	45名
8	9/9(水)	県立金木高等学校	1学年 (1クラス17名)	11名
9	9/9(水)	県立百石高等学校	1学年 (3クラス121名)	28名
10	11/21(土)	県立北斗高等学校	中間年次 (11クラス111名)	34名
11	3/3(水)	県立七戸高等学校 ※オンライン実施	1学年 (3クラス105名)	40名
12	3/8(月)	八戸工業大学第二高等学校	1学年 (6クラス151名)	50名
13	3/15(月)	県立浪岡高等学校 ※オンライン実施	1学年 (1クラス29名)	20名
※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴う中止 東奥義塾高等学校、県立中里高等学校、県立青森西高等学校、 県立青森商業高等学校、県立弘前南高等学校、県立青森中央高等学校				

(2) オンラインワークショップの実施

- ア オンライン企画 9/6(日) 参加高校生5名、参加大学生34名
 ※高校生はオンラインで参加、大学生は会場に集合
- イ オンライン企画part2 11/28(土) 参加高校生5名、参加大学生54名
 ※全員がオンラインで参加

(3) キャリア形成の支援

- ア 大学生会議 (4/19(日) ※オンライン実施、7/12(日)、12/13(日)、3/12(金)) 4回
- イ 進路指導関係者研修会 (11/20(金))

参加者17校 22名(高校生スキルアッププログラムと共催)

講演 「ローカルキャリアと地域連携による次世代育成を考える」

講師 岩手県釜石市総務企画部オープンシティ推進室長 石井 重成

事例紹介 発表者 県立田子高等学校 教諭 大崎 徳美

発表者 県立田名部高等学校 臨時講師 土岐 美里

ウ 大学生対象研修会の開催

- (ア) 基本研修※オンライン実施 受講者数198名
- (イ) ワークショップ演習 ※オンライン実施 受講者数198名
- (ウ) 中学校対応研修(計5回 ※オンライン実施1回) 受講者数 25名
- (エ) 応用研修(計4回 ※オンライン実施1回) 受講者数 10名

高校生スキルアッププログラム推進事業

【趣 旨】

高校生の知識や経験の幅を広げ、社会の変化に柔軟に対応し、たくましく生きるための様々なスキルの向上を図るため、学校外における学修への積極的な取組を推進する事業である。

【概 要】

(1) 高校生スキルアッププログラム（スキルアップ認定証・奨励証の交付）の運営

(2) 高校担当教員対象研修会の実施

「進路指導関係者研修会」の開催（大学生とカタル！キャリア形成サポート事業と共催）

○期 日：11/20(金)

○場 所：県総合社会教育センター

○対 象：県内高等学校教員及び高校生スキルアッププログラム担当者、参加を希望する高等学校教員

○参加者：17校22名

○事業説明・情報交換：県総合社会教育センター職員

(3) 評価サービス

参加校・参加生徒数・認定証および奨励証交付者数

地区	参加校数	参加生徒数	認定証交付者数	奨励証交付者数
東青	8校	426名	4名	9名
西北	2校	3名	0名	0名
中南	0校	0名	0名	0名
上北	2校	13名	0名	0名
下北	3校	590名	5名	12名
三八	8校	1,797名	70名	16名
合計	24校	2,829名	79名	40名

(4) 県民カレッジとの連携

事業連携によるあおもり県民カレッジ新規入学者数 1,055名

青少年社会参加活動・創作活動モデル団体研究事業

【趣 旨】

青少年の社会参加活動・創作活動の推進に取り組む方策の研究を目的として、高校生・大学生等を中心に社会参加活動・創作活動を行っている団体をモデル団体に指定し、支援する事業である。

【概 要】

(1) 団体募集（高校生や大学生、専門学校生等を主体とした団体）

(2) 団体の指定

【社会参加活動モデル団体】

	団体名	校種	主な活動内容	メンバー数
1	青森学生団体ASC	高校	地域活性化を目的とし、郷土(青森)の魅力を発信	6名
2	L e s t a (レスタ)	高校 大学	異年齢交流、小・中・高校生へのキャリア形成支援等	23名

	団体名	校種	主な活動内容	メンバー数
3	キャリアサポートクラブコンソーシアム(キャリアサポ連合)	大学	大学生とカタル!キャリア形成サポート事業へのボランティア参加、高校生及び大学生のキャリア形成支援	665名
4	文学研究Think With Us	高校	文学・作家研究会の開催、研究発表会、文学資料施設での解説ボランティア	4名
5	学生団体LINDEAL	高校	地域活性化を目的とし、探究活動の場を企画・開催、校外活動運営支援等	18名

【創作活動モデル団体】

	団体名	校種	主な活動内容	メンバー数
1	確原色	高校	市内高校生を主体とした合同文化イベントの企画・発表	16名
2	ON	高校 大学 一般	地域活性化を目的とし、市内高校生を主体とした音楽イベントへ参加・発表	9名

(3) 団体支援

- ア 研修室等使用料の減免
- イ 運営会議・研修・作業等での教材開発室の使用承認
- ウ 発表の場の提供(生涯学習フェア等)
- エ 情報発信用の専用掲示スペースの設置
- オ 所報「響」やHP等での活動状況の紹介
- カ 社会教育主事等による情報提供とアドバイス
- キ 地域活動団体、創作活動団体、教育活動団体等との連携に関する連絡調整
- ク 協力名義使用の承認(「協力 青森県総合社会教育センター」など)

(2) 教育活動支援

① 地域学校協働活動の促進

教員のためのチーム「学校・家庭・地域」連携講座

【趣 旨】

新学習指導要領における「社会に開かれた教育課程」について理解を深め、その実現に向けて学校・家庭・地域が『チーム』として連携することを目的として、“未来の学校づくり・人づくり”に取り組む目的と重要性を共有し、具現化するための実践的な研修を行う事業である。

【概 要】

- 対 象：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教員等、市町村教育委員会職員
- 場 所：県総合社会教育センター
- 受講者数：58名
- 事業内容
 - ア 日時：11/26(木) 9:20~16:00
 - イ 説明：「県内のコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の現状」
県総合社会教育センター職員

- ウ 講義：「『社会に開かれた教育課程』の実現に向けて」
 ～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動～
 講師 秋田県生涯学習センター 学習事業班 主幹兼班長 皆川 雅仁
- エ 事例報告：「県内外の参考事例を紹介」 県総合社会教育センター職員
- オ 演習：「目的を共有するための“熟議”」
 ナビゲーター
 秋田県生涯学習センター 学習事業班 主幹兼班長 皆川 雅仁

② 家庭教育支援の充実

家庭教育応援隊養成講座

【趣 旨】

地域全体で家庭教育を支援する体制を整備することを目的として、各地域で子育てを応援する家庭教育支援者やリーダーを育成する事業である。

【概 要】

- (1) 受講方法：Web会議システムを使ったオンライン研修
- (2) 回数：各6回
- (3) 受講者数（1回以上の受講者数）：18名
- (4) あおもり家庭教育アドバイザー登録者：6名
- (5) 内容：家庭教育支援講座・演習各6回

回	開催日	内 容	受講者数
第1回	6/19(金)	【開講式・オリエンテーション】 【講義】 「社会情勢と家庭教育支援者の役割・心構え」 特定非営利活動法人 子育て応援隊コネクトあおもり 代表理事 沼田 久美	10名
第2回	7/10(金)	【講義】 「傾聴と親が育つ支援のあり方」 青森教育カウンセラー協会 副代表 佐々木 順子 【演習】 「あおもり親楽プログラムⅠ」	15名
第3回	8/17(月)	【講義】 「気になる子どもの理解と対応」 弘前大学医学部心理支援科学部 教授 栗林 理人 【演習】 「あおもり親楽プログラムⅡ」	9名
第4回	9/8(火)	【講義】 「子育てサロンの企画・運営について」 社会福祉法人 清光福祉会 城東保育園園長 三浦 テツ 【演習】 「家庭教育支援動画を通じて」	10名
第5回	10/8(木)	【講義】 「心の通うコミュニケーション」 青森県立保健大学 健康科学部看護学科人間総合科学 教授 川内 規会 【演習】 「あおもり親楽プログラムⅢ」	15名

回	開催日	内 容	受講者数
第6回	11/10(火)	【講義】 「読み聞かせにおける工夫点」 青森大学 社会学部 教授 秋田 敏博 【演習】 「あおり親楽プログラムⅣ」	9名

家庭教育支援動画制作普及事業

【趣 旨】

県内における家庭教育の充実を図ることを目的として、子育ての不安や悩みに対する解決の糸口となる子育て情報を動画により発信する事業である。

【概 要】

(1) 家庭教育支援動画の制作及びテレビ放映(各5分)

家庭教育の重要性を広く普及するため、家庭や地域での様々な取組を紹介する。

- ア 肥満防止のための生活習慣
- イ ブルーライトから目を守ろう
- ウ 家事・育児は力を合わせて！
- エ 叱る前に 子どもにどう伝える？
- オ 食物アレルギーを知ろう！
- カ オンラインゲームとの付き合い方

(2) 委託業者選定審査会の実施

7/1 (水) 13:30～16:00

県総合社会教育センター 第2教材開発室にて、以下の委員により審査

【家庭教育支援動画制作普及委員会委員名簿】

No.	氏 名	所 属 等
1	松 浦 淳	青森中央短期大学幼児保育学科 准教授
2	葛 西 浩 一	青森県教育庁生涯学習課 課長
3	吉 田 圭 子	青森県子ども家庭支援センター（指定管理者 青森コミュニケーションズ株式会社）部長
4	外 崎 浩 司	青森県PTA連合会 会長
5	高 坂 あつ子	認定こども園ときわ保育園 園長 令和元年度家庭教育支援動画制作普及委員

(3) 家庭教育支援動画の配信

(4) 各種研修会等での家庭教育支援動画の活用（今年度は実施例無し）

家庭教育相談事業

【趣 旨】

子育て中の不安や悩みを軽減することを目的として、乳幼児から高校生の保護者や家族を対象に、電話・メール等により、寄り添い型の家庭教育相談を行う事業である。

【概 要】

- 対 象：乳幼児から高校生の保護者や家族
- 実施方法：電話相談 週3回 月・水・木曜日（祝日・年末年始を除く）13：00～16：00
メール相談 24時間受付
- 場 所：県総合社会教育センター電話相談室
- 対応内容：発育・発達、しつけ、対人関係などの子どもに対する悩みや家庭教育全般について
- 相談体制：家庭教育支援員、県総合社会教育センター教育活動支援課職員が対応
- 相談件数：55件（電話相談33件、メール相談22件）

③ 地域によるキャリア教育支援の充実

地域の今と未来をつなぐ教育支援活動コーディネーター等研修

【趣 旨】

学校・家庭・地域が連携・協働して地域の子どもを育むことを目的として、学校と地域住民・企業・NPO・各種団体等をつなぐコーディネーター等のスキルアップ及び人財の拡充を図るための研修を行う事業である。

【概 要】

- (1) 学校と地域・企業等をつなぐコーディネーターのスキルアップ研修の実施
 - ア 期日・場所：中南地区 8/4 (火) 弘前市民会館
下北地区 8/4 (火) 下北文化会館 ※オンライン研修
 - イ 対象：教育支援活動推進員、学校支援コーディネーター、企業・NPO等キャリア教育担当者、PTA関係者、教育委員会等担当者、教職員等
 - ウ 講師：特定非営利活動法人未来図書館 主任コーディネーター 恒川 かおり
 - エ 参加者数：中南地区21名 下北地区11名
- (2) 地域資源を活用したキャリア教育推進フォーラムの開催
 - ア 期日・場所：11/6(金) 県総合社会教育センター
 - イ 対象：教育支援活動推進員、学校支援コーディネーター、企業・NPO等キャリア教育担当者、PTA関係者、教育委員会等担当者、教職員等
 - ウ 講師：特定非営利活動法人スクール・アドバイス・ネットワーク 理事長 生重 幸恵
 - エ 参加者数：会場59名 オンライン19名
- (3) 「我が社は学校教育サポーター」ウェブサイトの管理・運営
 - 青森県教育支援プラットフォーム「我が社は学校教育サポーター」ウェブサイトの管理・運営
 - 新規登録事業所の開拓、登録手続き

(3) 市町村・団体支援

① 生涯学習・社会教育関係職員等の養成と資質向上

生涯学習・社会教育関係職員研修講座

[趣 旨]

生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上のため、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修を行うとともに、地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得と人材育成を目的とした研修を行い、ネットワーク形成を図る事業である。

[概 要]

(1) 新任職員研修

ア 期日：前期・後期同日開催…10/8 (木)

イ 場所：県総合社会教育センター

ウ 回数：1回

エ 対象：市町村教育委員会の生涯学習・社会教育関係新任職員や関係団体等の新任職員等

オ 内容：社会教育行政の業務遂行に係る基礎的な知識・技能の習得（受講者数24名）

(2) センター研修

ア 時期：6月～11月

イ 場所：県総合社会教育センター

ウ 回数：3回

エ 対象：市町村教育委員会の生涯学習・社会教育関係職員や関係団体等の職員等

オ 内容：第1回…8/20 (木) 「地域社会と学校」の今日的課題（受講者数28名）

第2回…10/30 (金) 地域に根ざした講座を企画するために（受講者数25名、オンライン）

第3回…2/9 (火) 障害者の生涯学習を知る（受講者数16名）

(3) 地区研修

○開催時期：7月～2月

○開催回数：6回（1回×6地区 教育事務所単位）

○対 象：市町村教育委員会の生涯学習・社会教育関係職員や関係団体等の職員等

○内 容：各地区の地域課題に即した実践的な知識・技能の習得と人材育成

東 青…7/9 (木) 子どもを中心にした地域のつながりづくりのために
～「子ども食堂」の取り組みを通して～
(受講者数24名、オンライン)

西 北…9/18 (金) 「地域と学校の連携・協働に関する現状と課題」を踏まえた市町村教育委員会の役割
(受講者数20名、オンライン)

下 北…9/29 (火) 生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上
(受講者数13名)

三 八…9/25 (金) 地域活性化と社会教育行政の役割
(受講者数25名、オンライン)

中 南…2/2 (火) 地域活性化につながる地域学校協働活動の在り方
(受講者数41名、オンライン)

上 北…2/2 (火) 地域活性化につながる地域学校協働活動の在り方
(受講者数4名、オンライン)

※中南地区、上北地区は同じオンライン講義を同時に受講した。

(4) 社会教育主事等専門研修（受講者数14名）

○期日：12/3（木）

○場所：県総合社会教育センター

○回数：1回

○対象：市町村の社会教育主事及び社会教育関係職員等

○内容：国や県の動向、社会教育主事の果たすべき役割等、生涯学習・社会教育についての講義・演習・情報交換等を行う（オンライン）

ボランティア関係者情報交換会

【趣 旨】

本県の社会参加活動の推進及び充実を目的として、対話・参加型のディスカッションを開催し、ボランティア関係者、実践活動者等の資質の向上を目指す事業である。

【概 要】

(1) 研修会名：ボランティア関係者情報交換会

(2) 受講方法：オンライン受講、スクリーン受講の選択

(3) 内容

ア 〈第1回〉参加者25名

12/21（月）スクリーン会場 八戸ポータルミュージアムはっち

講義・演習 若者が参加するボランティア活動とは①

講師 八戸学院大学健康医療学部 教授 吉田 守実

イ 〈第2回〉参加者32名

1/7（木）スクリーン会場 アウガ

講義・演習 若者が参加するボランティア活動とは②

講師 岩手県立大学社会福祉学部 准教授 菅野 道生

② 学習情報等の充実

学習情報の収集・提供・整備事業

【趣 旨】

県民の学習活動を支援することを目的として、各種学習情報を収集し、インターネットにより県民に提供するとともに、サーバ・パソコン機器等を維持管理する事業である。

【概 要】

(1) 学習情報の収集・提供

4 情報（学習機会、指導者人材、団体・サークル、視聴覚教材）の収集・提供を行った。

・登録データ件数	学習機会情報	2,433件
	団体・サークル情報	1,449件
	指導者人材情報	1,088件
	視聴覚教材情報	20,413件
	計	25,383件

・ありすネットアクセス回数	学習機会情報	3,023回
	団体・サークル情報	995回
	指導者人材情報	765回
	視聴覚教材情報	1,306回
	全情報	448回
	計	6,537回
・ありすネット検索回数	学習機会情報	867回
	団体・サークル情報	376回
	指導者人材情報	298回
	視聴覚教材情報	1,057回
	全情報	178回
	計	2,776回

(2) サーバ・パソコン機器等維持管理

青森県学習情報提供システム用サーバ・パソコン機器等を維持管理する。

青森県視聴覚ライブラリー運営事業

【趣 旨】

16mmフィルムをはじめとする県内の貴重な映像資料を収集・保管するとともにその活用を図り、県内の視聴覚教育の振興発展に寄与することを目的として、「青森県視聴覚ライブラリー」を運営する事業である。

【概 要】

- (1) 生涯学習社会の充実を図る基礎資料を得るための調査・研究
- (2) 社会教育及び県民の学習活動のための研修施設・視聴覚教材の提供
- (3) 全国視聴覚教育連盟への加入
- (4) 視聴覚教材の購入 8本
- (5) 視聴覚教材のデジタル化業務 255本

(4) 生涯学習活動支援

① 県民の学習活動への支援

あおもり県民カレッジ運営業務

【趣 旨】

県民の学習ニーズが多様化・高度化する中、興味・関心の高いテーマについて体系的・継続的に学習し、その学習成果が社会から適切に評価され、学習成果を生かして社会参加できることを目的として、県民の生涯学習を総合的に支援する事業である。

【概 要】

- (1) あおもり県民カレッジの運営全般
 - ア あおもり県民カレッジ連携機関との関係強化
 - ・連携機関登録団体に対し、協力関係の継続を依頼。
 - ※ 連携機関数：734機関（体験施設152か所を含む）
 - ・訪問による新規連携機関勧誘活動を実施。

- ・講座開催における協力などを通して、関係強化を推進。
- イ 生涯学習支援のネットワーク構築
- ウ 事務局の運営（県民カレッジ学生への連絡、連携機関との連絡調整、運営に関わる事務）
 - ※ あおもり県民カレッジ学生数 25,322名（新規1,139名）
 - 〔教養学習コース 20,792名（新規1,086名）〕
 - 〔子どもカレッジコース 4,530名（新規 53名）〕
- (2) 普及啓発事業
 - ア 学生募集（ポスターやパンフレットの作成）
 - (ア) あおもり県民カレッジ&生涯学習情報紙「てのひら」による募集
 - (イ) 各種講座・イベント・映画鑑賞会の開催時に募集
 - イ 子ども向けイベント「2メートルを楽しむ県民カレッジ」の開催（7/24（金・祝））
 - (ア) 公開授業（算数・社会・体育）
 - (イ) 選択授業（工作・染め物・映画）
 - ※参加者 52名
 - ウ 子ども向けイベント「冬休みづくりまわし大会」&「消しゴムはんこ作り+α」の開催（1/10（日））
 - (ア) 県立郷土館との共催によるづくり（こま）まわしの大会
 - (イ) 消しゴムはんこ作り
 - (ウ) かけっこゲーム、くじ引き、絵本の読み聞かせ ※参加者 82名
 - エ 学習機会提供
 - 無料で古典的な名作映画を見ることができる映画観賞会を開催（11回）
 - オ 生涯学習HPの作成
 - (ア) 指定管理者の生涯学習情報サイト<<https://www.manabi-aomori.com>>作成
 - (イ) 地域キャンパス講座、ボランティア自主講座等の情報掲載と更新
 - (ウ) 館内展示の情報掲載と更新
- (3) 学習情報提供・学習相談事業
 - ア 学習機会情報の収集及び提供
 - (ア) 連携機関に対し新たな講座情報登録を依頼
 - (イ) 連携機関等訪問による講座情報の調査収集
 - イ 活動機会情報の収集及び提供
 - ボランティア相談に対し、受入れ団体の情報を収集、提供
 - ウ 学習相談の実施
 - 窓口・電話・FAX・郵便・Eメールによる学習相談の受付 ※相談数 37件
 - エ 県民カレッジ&生涯学習情報紙「てのひら」の発行
 - あおもり県民カレッジ&生涯学習情報紙「てのひら」発行（年5回）
- (4) 学習機会提供事業
 - ア 地域キャンパス講座（県内6地区）開催
 - (ア) 開催数 東青12回、西北6回、中南5回、上北7回、下北2回、三八0回
 - (イ) 受講者数 延べ2,677名
 - (ウ) 青森テレビの「いきいき健やか事業」との連携によるテレビ番組内で講座情報や県民カレッジPRを放送。（テレビ43回、ラジオ52回）
 - イ ボランティア活用支援
 - (ア) ボランティア講師登録の奨励と自主講座の開催
 - ※ 講師登録数 114名
 - ※ 講座数 52講座 受講者数 延べ328名

- (イ) 映画観賞会等における運営ボランティアの活用
 - ※活動者数 延べ62名
- ウ 「カダイ」は「マナビ」のチャンス！YOU遊トライアル運営
- (5) 評価サービス及び学習成果の活用支援事業
 - ア 認定証・奨励証の交付
 - (ア) 認定証交付数
 - 教養学習コース 383名 子どもカレッジコース 141名
 - (イ) 奨励証交付数
 - 教養学習コース 43名 子どもカレッジコース 55名
 - イ ボランティア活動証明書の発行

② 県民の社会参加活動への支援

インフォメーションプラザありすの運営

[趣 旨]

インフォメーションプラザありす（学習情報サービス室）は、生涯学習に関する総合窓口であり、各種の相談対応のほか、視聴覚教材の貸出サービス、図書資料等の閲覧サービス等の業務を行う。

[概 要]

- (1) 窓口対応
- (2) 社会参加活動支援センターの運営
 - 主催事業及び連携機関が実施する事業等における活動機会斡旋
- (3) 視聴覚教材貸出サービス
- (4) ポスター、チラシ、図書資料等の展示
- (5) 学習成果の展示
 - みんなのギャラリー、ギャラリーsha-se、画伯のたまごへの作品展示
- (6) コロナ禍においての座席の配置や消毒作業の徹底

ボランティア活動支援機関連絡会議

[趣 旨]

ボランティア活動を支援する機関のネットワークの構築・強化を図ることを目的とし、情報共有・情報交換を行う会議を開催する事業である。

[概 要]

新型コロナウイルス感染防止のため、連絡会議は中止となったが、調査票による聞き取りを行った。

4章 青森県総合学校教育センター

1 施設・設備

所在地 青森市大字大矢沢字野田80-2

敷地面積 40,000㎡ 建物敷地 11,484㎡ 多目的広場等 13,285㎡ その他 15,231㎡

建物 (鉄骨・鉄筋コンクリート造、4階建、他にピロティ及び塔屋)

延床面積 15,439㎡ (管理研修棟 10,210㎡ 大研修室棟 1,113㎡

体育館棟 1,342㎡ 食堂・宿泊棟 2,774㎡)

管理研修棟 (10,210㎡)

ピロティ階 駐車場 (洪水時の遊水施設)

1階 (2,837㎡)

[管理] 所長室、職員室、応接室、講師室、会議室等

[特別支援教育・管理] 相談室、プレイルーム、検査室、職員室等

2階 (2,359㎡)

[研修・一般] 中研修室 (80人)、第1研修室 (40人)、第2・第3研修室 (32人)、
第4～第6研修室 (30人)、第7研修室 (20人)等

[共用] 図書資料室

[教育相談・管理] 相談室、プレイルーム、学びの部屋、職員室等

3階 (2,351㎡)

[研修・情報教育] 応用技術研修室 (40人)、情報教育研修室1 (30人)、情報教育研
修室2・3 (32人)、C A D・C G研修室 (48人)、産業教育研修
室 (76人)等

4階 (2,498㎡)

[研修・実験実習] 音楽・美術・技術・食物・被服・物理・化学・有機化学・生物・
地学研修室、初等理科準備室等

プラネタリウム (26席+補助14席)

走査電子顕微鏡 (35～20万倍まで)

塔屋 (165㎡)

[研修・実験実習] 天体望遠鏡 (60cm反射望遠鏡)

大研修室棟 (1,113㎡)

大研修室座席 (410席)、控室、ロビー等

体育館棟 (1,342㎡)

アリーナ (バスケットボールコート2面又はバレーボールコート2面又はバドミントン
コート6面)、器具庫、更衣室 (男女別)、体育準備室等

食堂・宿泊棟 (2,774㎡)

[1階] 食堂 (収容椅子席133人、和室84人)

[2～4階] 宿泊室 (一般用84室、身障者用1室、ゲスト用1室)

多目的広場等 (13,285㎡)

駐車場

500台 (ピロティ階220台、屋外280台)

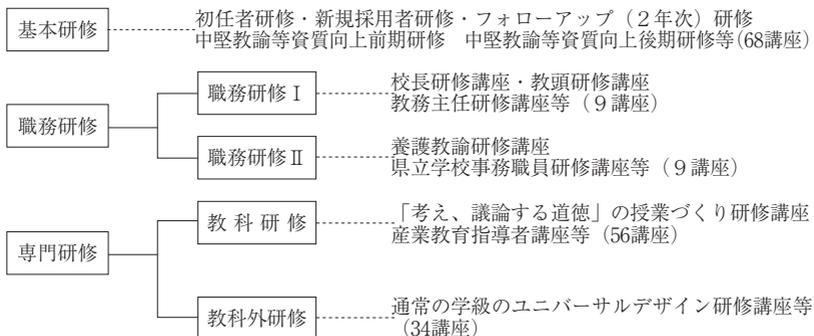
2 運営の方針

青森県総合学校教育センターは、青森県教育委員会「令和3年度学校教育指導の方針と重点」に基づき、子どもたちの未来を創るため、所員の心と力を結集して、学校を支援します。

3 研修事業

(1) 概要

青森県教職員研修体系に基づき、教職員の専門性を高め、教育活動の充実に資する各種の研修を行った。



（計176講座）

(2) 実績

① 基本研修

ア 初任者研修

講座名	対象	修了人数	期日	内 容
初任者研修 （小・中学校） 教職一般研修講座	令和2年度初任者 研修（小学校）対 象教諭 令和2年度初任者 研修（中学校）対 象教諭	小55 中30	7/30～7/31	・縄文文化と世界遺産登録をめざす縄文遺跡群 ・校外学習の進め方 ・ボランティアの実際 ・ニーズを生かした活動の在り方 ・学校図書館の活用 ・教師のメンタルヘルスについて ・文化資源を活用した効果的な学習活動 ・社会人としてのマナー 講師：オフィス円香 代表 大坂 彰子
初任者研修 （小学校） 学級経営基 礎講座Ⅰ	令和2年度初任者 研修（小学校）対 象教諭	小56	5/12～5/13	【資料提供】 ・信頼関係を築き上げる学級経営への取組 【課題提出】 ・学級経営シート
初任者研修 （小学校） 学級経営基 礎講座Ⅱ	令和2年度初任者 研修（小学校）対 象教諭	小55	9/3～9/4	・小学校における生徒指導とは ・ユニバーサルデザインを取り入れた学級経営 ・学級経営における危機 ・信頼関係を築き上げる学級経営の実際 ・教育相談の進め方 ・危機管理を通じた学級経営の見直し ・信頼関係を築き上げる学級経営への取組Ⅲ

講座名	対 象	修了人数	期 日	内 容
初任者研修 (小学校) 学級経営基礎講座Ⅲ	令和2年度初任者 研修(小学校)対 象教諭	小55 中30	1/21～1/22	<ul style="list-style-type: none"> ・学級経営の評価と改善 ・学級経営の評価と手法 ～「アセス」の理解と学級経営への活用～ ・学級経営の評価と改善策 ～学級経営の評価と取組方～ ・2年目に期待すること
初任者研修 (小学校) 学習指導基礎講座Ⅰ	令和2年度初任者 研修(小学校)対 象教諭 令和2年度初任者 研修(特別支援学 校)対象小学部教 諭	小56 特10	6/4～6/5	<ul style="list-style-type: none"> ・授業づくりの基礎・基本 ・四教科の授業で大切にしたいこと ・「主体的な学び」の授業を目指して ～学習指導案の作成～ ・「主体的な学び」の授業の実際 ～マイクロティーチングを通して～
初任者研修 (小学校) 学習指導基礎講座Ⅱ	令和2年度初任者 研修(小学校)対 象教諭	小55	11/5～11/6	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が協力し、実践する学級活動の展開 ・児童が自立し生活を豊かにしていくための生活科の展開 ・児童が自己の生き方を考えていくための総合的な学習の時間の展開 ・児童がよりよく生きるための道徳科の展開 ・著作権と情報セキュリティ事故 ・情報モラルの指導について ・ICTを活用した教材の作成
初任者研修 (中学校) 学級経営基礎講座Ⅰ	令和2年度初任者 研修(中学校)対 象教諭	中30	5/7～5/8	<p>【課題提出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度指導資料 ・実践ハンドブック初任者研修の手引 (小・中学校編)青森県教育委員会第3章 学級経営 ・道徳科の授業の充実を図るために：校内研修シリーズNo23 ・道徳教育アーカイブ小学校6学年「真海のチャレンジ」 ・教育相談に関するマネジメントの推進：校内研修シリーズNo15
初任者研修 (中学校) 学級経営基礎講座Ⅱ	令和2年度初任者 研修(中学校)対 象教諭	中30	8/27～8/28	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導の進め方 ～生徒理解の深化のために～ ・一人一人を大切に学級経営 ～いじめ・不登校への対応～ ・一人一人を大切に学級経営 ～特別支援教育の視点から～ ・一人一人を大切に学級経営の実践 ・学級集団づくりを進めるために ～グループアプローチの手法～ ・学級経営における保護者とのよりよい関係づくり
初任者研修 (中学校) 教科等教育基礎講座Ⅰ	令和2年度初任者 研修(中学校)対 象教諭 令和2年度初任者 研修(特別支援学 校)対象中学部教 諭	中30 特14	6/11～6/12	<ul style="list-style-type: none"> ・授業づくりの基礎・基本 ・子どもが主体的・対話的で深い学びに向かう授業づくり ・単元計画の作成 ～主体的・対話的で深い学びの視点～ ・単元計画の作成 ～指導の評価と改善および学習評価に関する工夫～
初任者研修 (中学校) 教科等教育基礎講座Ⅱ	令和2年度初任者 研修(中学校)対 象教諭	中30	10/15～ 10/16	<ul style="list-style-type: none"> ・情報モラルの指導について ・特別活動の果たす役割 ・著作権とセキュリティ事故 ・教科指導におけるICT活用

講座名	対 象	修了人数	期日	内 容
初任者研修 (中学校) 教科等教育 基礎講座Ⅲ	令和2年度初任者 研修(中学校)対 象教諭	中30	11/18～11/19	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間の進め方 ・授業実践を振り返って ～教科等教育基礎講座Ⅰの振り返り～ ～年間を通した学習指導の振り返りと授業 改善～ ・新たな単元構想と指導計画作成 ・2年目への展望、2年目に期待すること
初任者研修 (高等学 校)基礎講 座	令和2年度初任者 研修(高等学校) 対象教諭	高39	4/16～4/17	<p>【課題提出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の研修に向けて
初任者研修 (高等学 校)教科教 育基礎講座 Ⅰ	令和2年度初任者 研修(高等学校) 対象教諭 令和2年度初任者 研修(特別支援学 校)対象高等部教 諭・助教諭	高39 特5	5/14～5/15	<p>【課題提出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資質・能力を育む授業づくり
初任者研修 (高等学 校)教科教 育基礎講座 Ⅱ	令和2年度初任者 研修(高等学校) 対象教諭	高39	7/2～7/3	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の服務規律について ・ユニバーサルデザインを取り入れた授業づくり ・ICTを活用した授業づくり ・これからの授業づくり ・資質・能力を育む授業の工夫
初任者研修 (高等学 校)教科教 育基礎講座 Ⅲ	令和2年度初任者 研修(高等学校) 対象教諭	高39	8/27～8/28	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒を生かす学習活動 講師：盛岡中央高等学校附属中学校 副校長 下町 壽男 ・資質・能力を育む授業づくりに向けて ・授業改善につながる学習評価について ・学習評価からの授業改善の視点
初任者研修 (高等学 校)教科教 育基礎講座 Ⅳ	令和2年度初任者 研修(高等学校) 対象教諭	高39	9/17～9/18	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの授業の振り返り ～授業改善に向けて～ ・資質・能力を育む学習指導と評価の工夫 ・学びの空白を作らないためのICT活用
初任者研修 (高等学 校)生徒理 解基礎講座 Ⅰ	令和2年度初任者 研修(高等学校) 対象教諭	高39	6/11～6/12	<ul style="list-style-type: none"> ・研修ガイダンス ・授業で身に付けさせる資質・能力 ・資質・能力を育む授業づくり ・生徒理解への取組 ・教育相談の進め方 ・ホームルーム担任としての在り方
初任者研修 (高等学 校)生徒理 解基礎講座 Ⅱ	令和2年度初任者 研修(高等学校) 対象教諭	高39	7/30～7/31	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・不登校と問題行動への理解と対応 ・温かい人間関係づくり ・ホームルーム担任を経験して ・ホームルーム経営目標の作成 ・これまでの振り返り ～生徒と接して～
初任者研修 (高等学 校)生徒理 解基礎講座 Ⅲ	令和2年度初任者 研修(高等学校) 対象教諭	高39	11/5～11/6	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動全体で進める道徳教育 ・教育活動全体で進める情報モラル教育 ・特別な配慮を要する生徒への対応 ・教育活動全体で進めるキャリア教育 ・特別活動の「ホームルーム活動」について ・資質・能力を育むホームルーム活動 ～協働でホームルーム活動の指導案づくり～ ～模擬授業を通して授業改善～
初任者研修 (高等学 校)協力校 研修Ⅰ	令和2年度初任者 研修(高等学校) 対象教諭	高39	6/18 6/19 6/25 6/26	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の授業について ・参観授業について

講座名	対 象	修了人数	期日	内 容
初任者研修 (高等学校) 協力校 研修Ⅱ	令和2年度初任者 研修(高等学校) 対象教諭	高39	10/2 10/8 10/16 10/22	・本日の授業について ・参観授業について
初任者研修 (高等学校) 他校種 研修	令和2年度初任者 研修(高等学校) 対象教諭	高38	11/12 11/26	・特別支援教育について ・特別支援学校の実際について
初任者研修 (高等学校) まとめ 研修	令和2年度初任者 研修(高等学校) 対象教諭	高39	1/22	・これからの先生たちへ ～生徒を育てるために皆さんができること～ ・探究的な学びに向けて ・1年間の研修を振り返る ～学び続ける教員となるために～
初任者研修 (特別支援 学校)教職 基礎講座Ⅰ	令和2年度初任者 研修(特別支援学 校)対象教諭・助 教諭	特29	4/16～4/17	【課題提出】 ・本県の教育課題及び特別支援教育
初任者研修 (特別支援 学校)教職 基礎講座Ⅱ	令和2年度初任者 研修(特別支援学 校)対象教諭・助 教諭	特29	7/2～7/3	・教職員の服務規律について ・初任者研修について ・インクルーシブ教育システムの推進について ・共生社会の実現に向けて 講師：青森県障害者スポーツ指導員 会長 福沢 和彦 ・障害者スポーツ 講師：青森県障害者スポーツ協会 障害者スポーツ指導員 【車椅子バスケットボール】 高杉 勝彦 立花 文之 石橋 順子 【ポッチャ】 福沢 和彦 櫛引 宏一 澤谷 敏子 太田 修身 ・水上安全法 講師：日本赤十字社青森県支部 水上安全法指導員 江良 直志 斎藤 恵子 奥崎 千香子 事業推進課長 山野内 博見 事業推進課主事 仲居 侑暉
初任者研修 (特別支援 学校)教職 基礎講座Ⅲ	令和2年度初任者 研修(特別支援学 校)対象教諭・助 教諭	特29	9/17～9/18	・関係機関との連携を考える ・青森県発達障害者支援センターの役割につ いて 講師：青森県発達障害者支援センター センター長 町田 徳子 ・青森県聴覚障害者情報センターの役割につ いて 講師：青森県聴覚障害者情報センター 所長 相馬 純子 手話担当 木村 由紀子 ・聴覚障害の理解と支援・青森県視覚障害者 情報センターの役割について 講師：青森県視覚障害者情報センター 所長 佐々木 秀勝 点字担当 佐藤 恵子 ・視覚障害の理解と支援 ・青森障害者職業センターの役割について 講師：青森障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー 岡田 麗子

講座名	対 象	修了人数	期日	内 容
初任者研修 (特別支援 学校)特別 支援教育指 導法基礎講 座Ⅰ	令和2年度初任者 研修(特別支援学 校)対象教諭・助 教諭	特29	5/28～5/29	【資料提供】 ・特別支援学校の教育課程 ・自立活動の指導 ・個別の指導計画の作成と活用 【資料提供・課題提出】 ・実態把握と目標設定
初任者研修 (特別支援 学校)特別 支援教育指 導法基礎講 座Ⅱ	令和2年度初任者 研修(特別支援学 校)対象教諭・助 教諭	特29	8/17～8/18	・授業づくりの基礎・基本 ・障害特性に応じた指導 ・発達障害の理解と支援 ・一人一人のニーズに応じた指導① ～授業づくり～
初任者研修 (特別支援 学校)特別 支援教育指 導法基礎講 座Ⅲ	令和2年度初任者 研修(特別支援学 校)対象教諭・助 教諭	特29	12/3～12/4	・自立活動の指導 ・主体的・対話的で深い学びの授業づくり ・学習評価の基本的な在り方 ・一人一人のニーズに応じた指導② ～評価と改善～
初任者研修 (特別支援 学校)他校 種研修	令和2年度初任者 研修(特別支援学 校)対象教諭・助 教諭	特29	11/6	・通常の学級における授業づくり ・特別支援学級における授業づくり ・通級指導教室の指導の実際 ・通常の学級と特別支援学級及び通級指導教 室の授業について
初任者研修 (特別支援 学校)学級 経営基礎講 座	令和2年度初任者 研修(特別支援学 校)対象教諭・助 教諭	特29	5/7～5/8	【課題提出】 ・学級経営の基礎・基本 【資料提供・課題提出】 ・保護者との関係づくり ・保護者とのやりとりの実際
初任者研修 (特別支援 学校)生徒 指導基礎講 座	令和2年度初任者 研修(特別支援学 校)対象教諭・助 教諭	特29	8/3～8/4	・発達を踏まえた幼児児童生徒の理解 ・生徒指導上の課題への対応 ～いじめ・不登校～ ・生徒指導上の課題への対応 ～情報モラル～・教育相談 ～生徒との関係作りと特別支援教育の教育 相談～ ・安全・安心な生活を支える児童相談所の機能 ・温かい人間関係づくり
初任者研修 (特別支援 学校)まと め研修	令和2年度初任者 研修(特別支援学 校)対象教諭・助 教諭	特29	1/22	・これからの教員に期待すること 講師：県立八戸第二養護学校 前校長 上澤 司 (放課後等デイサービスセンターう みねこ塾 塾長) ・1年間の研修を振り返って ～実地研修、校外研修をとおして～

イ 新規採用者研修

講座名	対 象	修了人数	期日	内 容
新規採用 県立学校実 習助手研修 (前期) (後期)	令和2年度採用の県 立学校実習助手	高5 特3	前期4/17 後期9/1	前期 【資料提供・課題提出】 ・社会人としてのマナーについて 講師：オフィス円香 代表 大坂 彰子 ・実習助手の職務について 後期 ・教職員の服務規律について ・特別支援教育の視点に立った生徒理解への 取組 ・実習助手の職務と課題について ・学校における人間関係づくり・役割について ・私の実践発表 ・実習時における安全管理について

講座名	対 象	修了人数	期日	内 容
幼児教育基礎講座Ⅰ	幼稚園教諭、保育教諭	その他 10	5/21	【資料提供】 ・青森県の幼児教育 講師 県教育庁学校教育課 指導主事 久慈 直子 【資料提供・課題提出】 ・幼児期の発達障害 国立特別支援教育総合研究所編
幼児教育基礎講座Ⅱ	幼稚園教諭、保育教諭	その他 5	7/17	・素材に親しみ工夫して遊ぶためのつくる活動 ・幼児期における発達の理解と幼小連携 ・保育の展開と援助の在り方 ～教材づくりを通して～

ウ 経験者研修

講座名	対 象	修了人数	期日	内 容
小・中学校フォローアップ(2年次)研修講座(前期)(後期)	令和元年度初任者研修(小学校)(中学校)対象教諭 前年度までの受講対象者のうち、本研修を受講又は修了していない者	小50 中31	前期6/2 後期1/8	・教員2年目としての心構え ・学びと社会を関連付けるキャリア教育の実際 ・学習指導を振り返る ～2年目の学習指導プラン作成～ ・カリキュラム・マネジメントの実際 ・実践を振り返って
高等学校フォローアップ(2年次)研修講座(前期)(後期)	令和元年度初任者研修(高等学校)対象教諭 前年度までの受講対象者のうち、本研修を受講又は修了していない者	(前期) 高69 (後期) 高69	前期6/23 後期9/25	・多様な生徒への対応 ・問題行動や不適応生徒への対応 ・生徒指導における課題解決に向けて ・学び続ける教員を目指して ・わかる授業の実践と指導の工夫
特別支援学校フォローアップ(2年次)研修講座	令和元年度初任者研修(特別支援学校)対象教諭・助教諭 前年度までの受講対象者のうち、本研修を受講又は修了していない者	特30	9/23～9/24	・授業改善の方法 ・授業検討 ・授業を考える 講師：北海道教育大学函館校 教授 北村 博幸 ・これからの教員に求められること
養護教諭フォローアップ(2年次)研修講座	令和元年度新規採用養護教諭研修対象養護教諭	小7 中1 高3 特1	11/27	・自校の保健室経営について
中堅教諭等資質向上前期研修(小・中学校)共通講座	令和2年度中堅教諭等資質向上研修(前期)対象者(小・中学校)	小53 中36	8/4～8/5	・いじめへの対応 ・特別の教科道徳 ～学習指導要領と授業づくり～ ・特別の教科道徳の授業づくり ・不登校・保護者対応 ・特別な配慮を必要とする児童生徒への指導 ・後期中堅教諭までのライフプランを考える ・前期中堅教諭に期待すること
中堅教諭等資質向上前期研修(高等学校)共通講座Ⅰ	令和2年度中堅教諭等資質向上研修(前期)対象者(高等学校)	高47	5/12	【資料提供】 ・社会に開かれた教育課程 【課題提出】 ・前期中堅教諭に期待すること ・いじめのない学校づくり ～情報モラル教育～

講座名	対 象	修了人数	期日	内 容
中堅教諭等 資質向上前期 研修(高等学 校)共通講座Ⅱ	令和2年度中堅教 諭等資質向上研修 (前期)対象者 (高等学校)	高48	9/15	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの学校教育を考える ～生徒の主体的・対話的で深い学びのために～ 講師：文部科学省初等中等教育局 視学官 藤枝 秀樹 ・「主体的・対話的で深い学び」の視点で行う 授業改善 ・いじめ・不登校のない学校づくりと保護者 との連携について
中堅教諭等 資質向上前期 研修(特別支 援学校)共通 講座Ⅰ	令和2年度中堅教 諭等資質向上研修 (前期)対象者 (特別支援学校)	特22	5/12	<ul style="list-style-type: none"> 【資料提供】 ・前期中堅教諭に期待すること ～本県教育の現状と課題をふまえて～ 【資料提供・課題提出】 ・キャリア教育 講師：弘前大学教職大学院 教授 菊地 一文
中堅教諭等 資質向上前期 研修(特別支 援学校)共通 講座Ⅱ	令和2年度中堅教 諭等資質向上研修 (前期)対象者 (特別支援学校)	特22	6/16	<ul style="list-style-type: none"> ・授業をつくる 講師：弘前大学教職大学院 教授 敦川 真樹 ・メインティーチャーとしてのチーム ティーチング ・授業を見直す
中堅事務職 員資質向上前 期・後期研修 (小・中学校)	令和2年度中堅事 務職員資質向上研 修(前期・後期) 対象者(小・中学 校)	小5 中10	10/7	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校教職員の身分制度と服務 ・学校における情報公開と個人情報 ・これからの学校組織と事務職員の役割 ・保護者・教員との関係づくり
中堅教諭等 資質向上後 期研修(小・ 中学校)スク ールマネジ メント講座	令和2年度中堅教 諭等資質向上研修 (後期)対象者 (小・中学校)	小33 中37	7/28～7/29	<ul style="list-style-type: none"> ・中堅教諭に必要なマネジメント意識 ・協働で取り組む職場のメンタルヘルス ・協働で取り組む特別支援教育 ・協働で取り組む危機管理 ・協働で取り組む校務分掌 ・P D C Aサイクルをもとにした授業実践に 向けて
中堅教諭等 資質向上後 期研修(小・ 中学校)授業 実践力ア ップ講座	令和2年度中堅教 諭等資質向上研修 (後期)対象者 (小・中学校)	小33 中37	1/7～1/8	<ul style="list-style-type: none"> ・P D C Aサイクルをもとにした授業の自己 評価 ・同僚性を発揮した授業改善のために ・P D C Aサイクルをもとにした授業改善に 向けて ・同僚性を高める実践に向けて ～2年目教員との切磋琢磨を通して～ ・中堅後期研修後にに向けたライフプラン ・中堅後期教員に期待すること
中堅教諭等 資質向上後 期研修(高等 学校)共通 講座Ⅰ	令和2年度中堅教 諭等資質向上研修 (後期)対象者 (高等学校)	高30	6/30～7/1	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの教育の担い手として ～カリキュラム・マネジメント～ 講師：弘前大学教職大学院 准教授 吉田 美穂 教授 菊地 一文 准教授 大瀬 幸治 ・組織で取り組むメンタルヘルス 講師：弘前医療福祉大学 教授 小玉 有子 ・学校改善に向けた組織的な取組 ・温かい人間関係づくり ～保護者・同僚との接し方～ ・配慮を要する生徒への組織対応
中堅教諭等 資質向上後 期研修(高等 学校)共通 講座Ⅱ	令和2年度中堅教 諭等資質向上研修 (後期)対象者 (高等学校)	高29	8/27	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒を生かす学習活動 講師：盛岡中央高等学校附属中学校 副校長 下町 壽男 ・資質・能力を育む授業づくりに向けて

講座名	対 象	修了人数	期日	内 容
中堅教諭等 資質向上後 期研修(高 等学校)共 通講座Ⅲ	令和2年度中堅教 諭等資質向上研 修(後期)対象 者(高等学校)	高30	12/11	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善に向けた取組 ・後期中堅教諭に期待すること
中堅教諭等 資質向上後 期研修(特別 支援学校) 共通講座Ⅰ	令和2年度中堅教 諭等資質向上研 修(後期)対象 者(特別支援学校)	特45	6/30～7/1	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの教育の担い手として ～カリキュラム・マネジメント～ 講師：弘前大学教職大学院 准教授 吉田 美穂 教授 菊地 一文 准教授 大瀬 幸治 ・組織で取り組むメンタルヘルス 講師：弘前医療福祉大学 教授 小玉 有子 ・本県特別支援教育の現状と課題 ・思考法の活用 ・学校課題とその対応
中堅教諭等 資質向上後 期研修(特別 支援学校) 共通講座Ⅱ	令和2年度中堅教 諭等資質向上研 修(後期)対象 者(特別支援学校)	特45	8/6	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の充実に向けて ～授業改善をおして～ 講師：上越教育大学大学院 教授 村中 智彦 ・授業についての課題の分析と具体的改善策 の検討
中堅教諭等 資質向上後 期研修(特別 支援学校) 共通講座Ⅲ	令和2年度中堅教 諭等資質向上研 修(後期)対象 者(特別支援学校)	特45	12/11	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に出るということ 講師：青森藤チャレンジド就業・生活支援 センター 副所長兼主任就業支援員 今村 真 ・関係機関との連携について考える ・後期中堅教諭として期待すること

② 職 務 研 修

講座名	対 象	修了人数	期日	内 容
校長研修講 座(前期) (後期) < 指定>	小学校、中学校、 高等学校、特別支 援学校の新任校長 前年度までの受講 対象者のうち、本 研修を受講又は修 了していない者	小38 中13 高11 特9	前期4/30 後期8/17	<p>前期</p> <p>【資料提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新任校長に期待する ・学校における情報公開 ・個人情報保護 <p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和敬清寂 ～おもてなしの心で築く信頼と絆～ 講師：合同会社ハイフィールド. クリエ イション 代表 高畑 紀子 ・子どもがより良く育つ学校づくり ～教師力・学校力の向上を目指して～ 講師：國學院大學 教授 杉田 洋

講座名	対 象	修了人数	期 日	内 容
教頭研修講座（前期） （中期） （後期）＜指定＞	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の新任教頭 前年度までの受講対象者のうち、本研修を受講又は修了していない者	小28 中23 高21 特9	前期5/11 中期8/31 一部 オンライン 講義 後期12/2	前期 【資料提供】 ・新任教頭 ・新任事務長に望むこと ・教育法規について ・社会に開かれた教育課程 中期・後期 ・教育法規について ・教頭としてのマネジメント 講師：兵庫教育大学大学院 教授 浅野 良一 ・カリキュラム・マネジメントと校内研修の充実 講師：横浜国立大学 教授 高木 展郎
県立学校事務長研修講座＜指定＞	県立学校の新任事務長 前年度までの受講対象者のうち、本研修を受講していない者又は修了していない者	高10 特6	前期5/11 後期12/2	前期 【資料提供】 ・新任教頭 ・新任事務長に望むこと ・教育法規について ・学校施設の管理について ・情報公開 ・個人情報保護について 後期 ・事務長として ・学校事務室経営について
教務主任研修講座＜一部指定＞	（指定）新任教務主任 （希望）教務主任	小19 中20 高18 特5	5/19	【資料提供】 ・教務主任に期待する ・教育活動と教育法規について 【課題提出】 ・教務主任の職務について
学年主任研修講座＜一部指定＞	（指定）新任学年主任 （希望）学年主任、その他学年経営の中核となる教員	小5 中19 高25 特1	5/28	【資料提供】 ・教職員の服務規律について 【資料提供・課題提出】 ・学年主任に求められること —ミドルリーダーとして— ・学年主任の役割とは
保健主事研修講座＜一部指定＞	（指定）新任保健主事 （希望）保健主事及び学校保健活動の中核となる教員	小17 中7 高15 特4	5/21	【資料提供】 【課題提出】 ・保健主事の職務と役割
生徒指導主任・主事研修講座＜一部指定＞	（指定）新任生徒指導主任・主事 （希望）生徒指導主任・主事、その他生徒指導の中核となる教員	小20 中15 高14 特2	4/28	【資料提供・課題提出】 ・県内の生徒指導上の諸課題について ・児童虐待への対応 講師：青森県公認心理士・臨床心理士協会 顧問 関谷 道夫 ・生徒指導の役割連携の推進に向けて —生徒指導主事に求められる具体的な行動—
中学校進路指導担当者研修講座	中学校の進路指導主事及び進路指導に関わる教員	中10	5/29 オンライン 講義	・進路指導の考え方と進路指導主事の役割

講座名	対 象	修了人数	期 日	内 容
校内研修担当者研修講座（前期）（後期）	小学校、中学校の 新任研修主任特別 支援学校の新任研 修担当教員上記以 外で希望する教員	小27 中21 特1	前期5/20 後期8/20	前期 【資料提供、課題提出】 ・研修主任の職務 ・校内研修活性化のためのアイデアブック ・校内研修活性化のためのツールブック 後期 ・カリキュラム・マネジメントの視点ですす める校内研修の在り方 講師：甲南女子大学 教授 村川 雅弘 ・1学期の評価と今後の対策
道徳教育推進教師研修講座	小学校、中学校の 新任道徳教育推進 教師特別支援学校 の新任道徳教育担 当教員上記以外で 希望する教員	小10 中14 特7	6/25～6/26 一部 オンライン 講義	・道徳教育推進教師の役割と取組 ～コーディネーター・アドバイザーとして～ ・我が校の道徳教育 ～学校全体で取り組む道徳教育の実際～ ・自校の特色を生かした道徳教育展開プラン づくり ・学校の特色を生かした道徳教育 ～道徳教育をマネジメントする～ 講師：東京学芸大学大学院 教授 永田 繁雄
特別支援教育コーディネーター研修講座＜一部指定＞	（指定）教頭以外 の新任特別支援教 育コーディネーター （希望）新任以 外の特別支援教 育コーディネーター、特別支援教 育コーディネーターの教頭	小16 中17 高10 特10	5/26	【資料提供・課題提出】 ・特別支援教育コーディネーターの役割 ・事例検討の進め方の実際
学校での食育推進のための研修講座＜一部指定＞	（指定）新任給食 担当職員又は新任 食育担当者 （希望）教諭、養 護教諭、栄養教 諭、学校栄養職員 等	小1 中4 特4	5/25～5/26 5/25は 資料提供 5/26は オンライン 参加	【資料提供】 ・子どもの食育活動の充実に向けて 講師 宮城学院女子大学 教授 平本 福子 【オンライン参加】 ・食育推進のための取組例 講師 県学校栄養士協議会 会長 佐藤 正子
養護教諭研修講座	養護教諭・養護助 教諭	小6 中3 特1	9/7～9/8 一部 オンライン 講義	・発達や家庭環境に困難を抱えた子供への対応 講師：青森おぞら学園 施設長 鳴海 明敏 ・中央研修会伝達 ・「チーム学校」における養護教諭の役割 ～アレルギーに関する校内体制や校内研修 等の具体的方策の検討～ 講師：女子栄養大学 教授 大沼 久美子
栄養教諭・学校栄養職員研修講座（前期）（後期）	小学校、中学校、 特別支援学校の栄 養教諭・学校栄養 職員	小3 中3	前期5/25 後期8/18	前期 【資料提供】 ・子どもの食育活動の充実に向けて 講師：宮城学院女子大学 教授 平本 福子 後期 ・学校における食育の推進と栄養教諭の役割 講師：文部科学省初等中等教育局健康教 育・食育課 食育調査官 清久 利和

講座名	対 象	修了人数	期日	内 容
県立学校事務職員研修講座	県立学校事務職員（臨時事務職員を含む）	高28 特2	10/9	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の勤務条件について～県職員の非違行為と介護休暇の条件～ ・学校における災害対応 講師：八戸赤十字病院会計課 課長 吉川 靖之 ・就学支援金の手続きについて
県立学校臨時講師等研修講座Ⅰ	令和2年度に採用された県立学校の臨時講師・臨時養護助教諭（本研修講座当日において勤務している者）	高35 特31	4/14～4/15	<p>【課題提出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の服務規律について ・学校安全について ・教職員としての心構え ・生徒理解について ・教職員として知っておきたいこと～情報セキュリティについて～ ～特別支援教育について～
県立学校臨時講師等研修講座Ⅱ	令和2年度に採用された県立学校の臨時講師・臨時養護助教諭（本研修講座当日において勤務している者）	高21 特13	10/13～10/14	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の服務規律について ・学校安全について ・教職員としての心構え ・生徒理解について ・教職員として知っておきたいこと～情報セキュリティについて～ ～特別支援教育について～ ・教科指導について ・教育課程・特別支援教育について ・各教科における指導について ・指導上の課題とその対応について
寄宿舎指導員研修講座	寄宿舎指導員臨時寄宿舎指導員	特16	8/7	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の服務について ・自立や社会参加につなげる生活指導について 講師：北海道教育大学釧路校 准教授 小野川 文子 ・寄宿舎指導員としての私の実践 ・寄宿舎における指導・支援

③ 専 門 研 修

ア 教科研修

講座名	対 象	修了人数	期日	内 容
「考え、議論する道徳」の授業づくり研修講座	小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教員	小8 中7 特6 その他 2	10/13～10/14 一部 オンライン 講義	<ul style="list-style-type: none"> ・「考え、議論する道徳」の実現に向けて ・「考え、議論する道徳」の授業づくり ・「特別の教科道徳」の授業づくりと評価の在り方 講師：筑波大学附属小学校 教諭 加藤 宣行 ・「考え、議論する道徳」の授業づくりの実際 ・「考え、議論する道徳」の授業実践
小学校国語科授業づくり講座〔読む〕	小学校の教員及び特別支援学校の小学部、中学部・高等部（国語科担当）教員	小16 特1	9/1～9/2	<ul style="list-style-type: none"> ・読む力を育てる授業改善 ・読む力を育てる言語活動～学習者体験で特性を学ぶ～ ・読む力を育てる単元構想～プランニング力を磨く～ ・主体的・対話的で深い学びを実現する「読むこと」の指導 講師：明星大学 教授 白石 範孝 ・これからの「読むこと」の実践プランづくり

講座名	対象	修了人数	期日	内容
中学校国語科授業づくり講座	中学校国語科担当教員及び特別支援学校の小学部、中学部・高等部（国語科担当）教員	中12	6/18～6/19	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領に基づいた「読むこと」指導の授業改善 ～「主体的・対話的で深い学び」の視点で考えるこれからの国語授業～ ・付けたい力と「主体的・対話的で深い学び」を関連づけた国語科教育の実際 ・新学習指導要領に基づいた「書くこと」指導の授業改善 講師：弘前大学 講師 鈴木 愛理 ・付けたい力と「主体的・対話的で深い学び」を関連づけた「読むこと」「書くこと」指導の授業構想
主体的・対話的で深い学びを実現する高等学校国語科授業づくり講座	高等学校・高等部国語科教員を対象 臨時講師も対象	高15	6/16～6/17 一部 オンライン 講義	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり 講師：横浜国立大学 名誉教授 高木 展郎 ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
主体的・対話的で深い学びを実現する言語活動実践力アップ講座	小学校の教員及び中学校、高等学校の国語科担当教員の特別支援学校の小学部、中学部・高等部（国語科担当）教員	小11 中10 高6 特4	7/7～7/8	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びにつなげる言語活動の実践 ・子どもの成長に応じた言語活動の実践 ・主体的・対話的で深い学びを実現する言語活動のモデルづくり [書くこと] ・実生活で生きる言語能力 講師：青森朝日放送株式会社 報道記者兼アナウンサー 石塚 絵里子 ・主体的・対話的で深い学びにつなげる言語活動のモデルづくり [話すこと・聞くこと]
考える力を高める小学校社会科教育講座	小学校及び特別支援学校（小学部）の教員	小10	9/10～9/11	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びの実現を目指す問題解決的な学習の授業改善 ・ICTを活用した資料づくりと資料提示の工夫 ・思考力、判断力、表現力等を育てる社会科教育の実践 ・主体的・対話的で深い学びの実現を目指す問題解決的な学習の授業づくり ・主体的・対話的で深い学びの実現を目指す問題解決的な学習の在り方 講師：国士館大学 教授 澤井 陽介
中学校社会科教育講座	中学校の社会科担当教員及び特別支援学校（中学部）の社会科担当教員	中12 特1	9/10～9/11	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力・判断力・表現力等の育成を図る社会科の授業 ・ICTを活用した資料づくりと資料提示の工夫 ・思考力・判断力・表現力等の育成を図る社会科の授業実践 ・思考力・判断力・表現力等の育成を図る社会科の授業づくり ・主体的・対話的で深い学びの実現を目指す問題解決的な学習の在り方 講師：国士館大学 教授 澤井 陽介

講座名	対象	修了人数	期日	内容
社会科教材開発講座	中学校、特別支援学校（中学部）は社会科担当教員 高等学校、特別支援学校（高等部）は地理歴史科、公民科担当教員	中1 高3 その他 1	6/24～6/25	・資質・能力を育む授業づくりに向けて ・地域素材の教材化のための情報収集 ・「社会的な見方・考え方」を働かせる教材と授業づくり ～地域素材を活用した教材づくり～
高等学校地理歴史科公民科教育講座	高等学校、特別支援学校（高等部）は地理歴史科、公民科担当教員	高13 特2 その他 1	8/25～8/26	・地球世界の課題を探究する「世界史探究」～歴史的な見方・考え方を働かせた授業づくり～ 講師：文部科学省初等中等教育局 教科調査官 大森 淳子 ・地理歴史科公民科における学習評価について ・公民科における最近の動向について ・「公共」における授業づくり ～合意形成・社会参画に必要な資質・能力の育成～ 講師：明治大学 特任教授 藤井 剛 ・資質・能力を育む授業づくりに向けて
小学校算数科教育講座	小学校及び特別支援学校の教員	小12	7/1 一部 オンライン 講義	・県の課題をもとにした授業づくりの視点 ・資質・能力の育成に向けた授業と評価のあり方 講師：国立教育政策研究所 教育課程調査官 笠井 健一
小学校算数科授業づくり講座	小学校及び特別支援学校の教員	小39 その他 1	8/18	・数学的な見方・考え方を働かせた授業づくり ・算数科におけるプログラミング教育 ・深い学びをめざす授業づくり 講師：弘前大学大学院教育研究科 教授 中野 博之
中学校数学科教育講座	中学校及び特別支援学校（中学部）の数学担当教員	中14 特1 その他 2	6/25 一部 オンライン 講義	・子どもの資質・能力を育む授業 講師：国立教育政策研究所 教育課程調査官 水谷 尚人 ・「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業実践
中・高等学校数学科授業づくり講座Ⅰ	中学校、高等学校及び特別支援学校（中学部、高等部）数学担当教員	中5 高6	6/24	・学習状況調査の結果と授業改善の方策～あきた型数学の授業をモデルにした授業実践～ ・「主体的・対話的で深い学び」の視点による指導案の作成・作成した指導案を振り返る
中・高等学校数学科授業づくり講座Ⅱ	中学校、高等学校及び特別支援学校（中学部、高等部）数学担当教員	中6 高2	8/20	・全国学力・学習状況調査の結果分析と課題把握 ・「付けさせたい力」を明確にした指導例の作成 ・作成した指導例を振り返る
高等学校数学科教育講座	高等学校（数学科担当）教員、特別支援学校（高等部）数学科担当教員	高8	8/26 一部 オンライン 講義	・数学的活動を取り入れた指導方法 講師：東京学芸大学教育学研究科 教授 西村 圭一 ・数学的活動・言語活動を取り入れた授業づくり
小学校理科実践力向上研修講座	小学校及び特別支援学校（小学部）教員	小7	6/18～6/19	・理科の授業改善の視点 ・観察・実験の基本 ・観察・実験の工夫 ～A物質・エネルギー～ ～B生命・地球～ ・理科におけるプログラミング学習 ・問題解決の力を育む観察、実験

講座名	対象	修了人数	期日	内容
小・中学校理科授業づくり研修講座	小学校教員、中学校理科担当教員及び特別支援学校(小学部、中学部理科担当)教員	中4特1	8/20～8/21	<ul style="list-style-type: none"> 理科の授業改善の視点 問題解決の力を育む観察・実験(中学校編) 問題解決の力を育む観察・実験(小学校編) 問題解決の力を育む授業づくり(単元の構想)(指導計画) 問題解決の力を育む授業づくりの在り方
中学校理科実験講座	中学校の理科担当教員及び特別支援学校(中学部理科担当)の教員	中13	6/23～6/24	<ul style="list-style-type: none"> 理科授業改善の視点 授業で使える観察 実験の工夫(3年1分野の内容、1年1分野の内容、2年2分野の内容)
専門外も学べる高等学校理科研修講座[物理基礎]	理科教員または理科担当教員を対象 臨時講師、実習教諭等も対象	高1	6/26	<ul style="list-style-type: none"> 物理の見方・考え方を働かせる授業デザイン 物理基礎の観察・実験
専門外も学べる高等学校理科研修講座[化学基礎]	理科教員または理科担当教員を対象 臨時講師、実習教諭等も対象	高5	6/19	<ul style="list-style-type: none"> 化学の見方・考え方を働かせる授業デザイン 化学基礎の観察・実験
専門外も学べる高等学校理科研修講座[生物基礎]	理科教員または理科担当教員を対象 臨時講師、実習教諭等も対象	特1	6/18	<ul style="list-style-type: none"> 生物の見方・考え方を働かせる授業デザイン 生物基礎の観察・実験
学びを实感させる高等学校理科研修講座[物理]	特別支援学校は高等部教員を対象 臨時講師、実習教諭等も対象	高1	9/8～9/9	<ul style="list-style-type: none"> 学びを实感させる授業実践 ～理科の見方・考え方を働かせて～ 単元を貫く観察・実験を取り入れた授業づくり ～資質・能力をバランスよく育むために～ 身近な素材を用いた実験器具・装置の製作 ～探究活動への不安解消に向けて～ 科学の甲子園マスターズ
学びを实感させる高等学校理科研修講座[化学]	特別支援学校は高等部教員を対象 臨時講師、実習教諭等も対象	高5	8/25～8/26	<ul style="list-style-type: none"> 興味・関心を引き出す実験とその工夫 身近な素材を用いた実験とその教材開発 思考力・判断力・表現力を引き出す実験とその工夫 資質・能力を育む実験の工夫及び活用法
学びを实感させる高等学校理科研修講座[生物]	特別支援学校は高等部教員を対象 臨時講師、実習教諭等も対象	高4	9/1～9/2	<ul style="list-style-type: none"> 学びを实感させる授業・実験の工夫 観察・実験に関する指導の工夫 資質・能力の育成を意識した観察・実験への取組
時間的・空間的な関係を探る理科野外実習講座[地学]	理科教員または理科担当教員を対象 臨時講師、実習教諭等も対象	小1 中3 高3	7/8	<ul style="list-style-type: none"> 野外観察の方法 地域素材の活用方法
学びを实感させる理科実習講座[天体観察]	理科教員または理科担当教員を対象 臨時講師、実習教諭等も対象	小2 中1 高4	10/19	<ul style="list-style-type: none"> 天体望遠鏡の基本操作 講師：星空案内人資格認定制度運営機構 副機構長 甲田 昌樹 天体観察の方法

講座名	対象	修了人数	期日	内容
気付きの質を高める小学校生活科講座	幼稚園等教職員、小学校教員及び特別支援学校（小学部）教員	小5 特7	9/10～9/11	・気付きの質を高める生活科の授業づくり 講師：千葉大学 教授 鈴木 隆司 ・身近な素材を通した指導と評価の在り方 ・身近な素材を使って遊びを創る ・望ましい動物飼育の在り方 講師：県動物愛護センター 主幹 桜庭 恵 ・気付きの質を高める生活科の授業
感性を育む音楽科実践講座	臨時講師を含む	中8 特5	10/28	・鑑賞から広がるこれからの学び ・資質・能力を育む鑑賞の授業づくり
豊かな表現力を育む音楽科講座	臨時講師を含む	中16 高4 特6 その他 1	11/25	・音楽科における学習評価の改善について 講師：文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 河合 紳和 ・資質・能力を育む授業づくりについて
芸術系教科の資質・能力を育む授業づくり講座	臨時講師を含む	中6 高1	6/24	・芸術科が育む資質・能力について ・資質・能力を育む授業づくり① ～単元・題材構成の工夫～ ・資質・能力を育む授業づくり② ～指導と評価の一体化について～
「見方・考え方」を働かせて資質・能力を育成する！小学校図工・音楽科講座	特別支援学校対象は小学部教員	小11 特13	8/19～8/20	・図画工作科における指導と評価の一体化 講師：文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 小林 恭代 ・「造形的な見方・考え方」を働かせて資質・能力を育成する造形遊び ・「音楽的な見方・考え方」を働かせて資質・能力を育成する表現活動 ・造形と音楽のコラボレーション・これからの図工と音楽の授業づくり
鑑賞の学びを考える！小学校図工・音楽科講座	特別支援学校対象は小学部教員	小4 特2	10/27～10/28	・意味や価値をつくりだす鑑賞の学習 ・思考力、判断力、表現力等を育てる美術鑑賞の学び 講師：国立文化財機構文化財活用センター 研究員 小島 有紀子 ・鑑賞から広がるこれからの学び ・資質・能力を育む鑑賞の授業づくり
創造活動を通じた学びを考える美術科教育講座	特別支援学校対象は中学部、高等部の美術科担当教員	中2 高1	8/18	・新学習指導要領とこれからの美術、工芸の学び 講師：文部科学省初等中等教育局 視学官 東良 雅人 ・資質・能力を関連させた美術の授業と評価標準の作成
思考力、判断力、表現力等を育てる美術科教育講座〔鑑賞〕	特別支援学校対象は中学部、高等部の美術科担当教員	中2 高1	10/27	・意味や価値をつくりだす鑑賞の学習 ・思考力、判断力、表現力等を育てる美術鑑賞の学び 講師：国立文化財機構文化財活用センター 研究員 小島 有紀子
家庭科教育講座	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校（家庭科担当者）	小1 中4 高5 特8	10/6	・小中高の系統性を意識した消費者教育に関する教材作りについて ・成年年齢引下げに伴う消費者教育の課題と実践 講師：横浜国立大学 名誉教授 西村 隆男

講座名	対象	修了人数	期日	内容
小学校家庭科・中学校技術・家庭科(家庭分野)教育講座	中学校、高等学校、特別支援学校(家庭科担当者)	小1 中5 特5	5/19	【資料提供・課題提出】 ・小学校の2年間、または中学校の3年間を見通した指導計画 ・学習計画を立てた際に創意工夫した内容 ・被服製作についての取り組みについて
中学校技術・家庭科教育講座[材料と加工]	中学校教員及び特別支援学校(中学部)教員	中4 特1	7/2~7/3	・技術・家庭科の学習指導の現状と課題 ・木材製品の設計・製作① ・木材製品の設計・製作② ・技術の見方・考え方を働かせた授業づくり
中学校技術・家庭科教育講座[エネルギー変換]	中学校教員及び特別支援学校(中学部)教員	中5 その他1	9/29~9/30	・技術・家庭科の学習指導の現状と課題 ・電気機器の設計・製作 ・電気機器の改良 ・技術の見方・考え方を働かせた授業づくり
中学校技術・家庭科基礎講座[情報]	中学校教員及び特別支援学校(中学部)教員	中9 特2 その他1	7/28	・情報の技術の指導内容と指導計画について ・ビジュアルプログラミング言語を用いたプログラミング実習
小学校体育科研修講座	小学校・特別支援学校(小学部)教員(臨時講師も含む)	小4 特3	8/19	・これからの保健授業づくり ・新学習指導要領に基づいた指導と評価の進め方 ・陸上運動系の特性や魅力を生かした授業改善
小・中学校体育授業づくり研修講座	小学校・中学校・特別支援学校(小学部・中学部)教員(臨時講師も含む)	小12 中11 特5 その他3	9/28	・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ・豊かなスポーツライフの基礎を築くこれからの体育授業づくり
豊かなスポーツライフを実現する保健体育授業研修講座	中学校・高等学校・特別支援学校(中学部・高等部)教員(臨時講師も含む)	中12 高13 特5 その他1	11/27	・教科指導における課題と工夫 ・新学習指導要領に基づいた授業づくり 講師：日本女子体育大学教授 高橋 修一
中・高等学校保健体育科研修講座	(推薦)中学校教諭6人(希望)中学校・高等学校・特別支援学校(中学部・高等部)教員(臨時講師も含む)	中11 高8 特2	7/7	・新学習指導要領に基づいた学習評価と指導の工夫 ・保健における資質・能力を育む授業づくり
小学校外国語・外国語活動研修講座	小学校及び特別支援学校(小学部)の教員	小19 特6	6/19 一部 オンライン 講義	・外国語・外国語活動の授業づくり ・外国語・外国語活動の指導の在り方 講師：東京学芸大学教授 粕谷 恭子
小・中学校英語科研修講座	小学校・中学校の外国語(英語)科担当教員及び特別支援学校(小学部・中学部)の外国語(英語)科担当教員	小5 中13 特4 その他1	6/29 一部 オンライン 講義	・小・中学校における英語教育の実際 ・小・中連携を意識した指導の在り方 講師：文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 山田 誠志
中学校英語指導法研修講座	中学校の外国語(英語)科担当教員及び特別支援学校(中学部)の外国語(英語)科担当教員	中7 特3	9/25	・中学校英語における課題と改善の方向性 ・中学校英語教師に求められる役割 講師：青森公立大学 准教授 丹藤 永也

講座名	対象	修了人数	期日	内容
中学校英語授業づくり研修講座	中学校の外国語（英語）科担当教員及び特別支援学校（中学部）の外国語（英語）科担当教員	中8特1	10/13	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の授業改善の視点 ・子どもの資質・能力を高める授業づくり 講師：信州大学学術研究院 教授 酒井 英樹
高等学校英語科言語活動実践講座	高等学校（英語科担当）教員	高6	6/15～6/16 一部 オンライン 講義	<ul style="list-style-type: none"> ・英語スピーキング力の育成に向けて ・スピーキングテストの実施に向けて 講師：順天堂大学 准教授 小泉 利恵 弘前大学 助教授 横内 裕一郎 <ul style="list-style-type: none"> ・技能統合型のスピーキングテスト～ルーブリックの作り方と実施の工夫～ 講師：弘前大学 助教授 横内 裕一郎 <ul style="list-style-type: none"> ・スピーキング活動の工夫と充実 ・スピーキングテストの実践
高等学校英語指導法改善講座	高等学校（英語科担当）教員、特別支援学校（高等部英語科担当）教員	高11特1	9/8～9/9	<ul style="list-style-type: none"> ・英語指導法のさらなる改善に向けて 講師：上智大学 教授 和泉 伸一 <ul style="list-style-type: none"> ・統合的な言語活動を重視した授業づくり
情報科教育講座	高等学校（情報科担当）教員、特別支援学校（情報科担当）教員	高5	12/3～12/4	<ul style="list-style-type: none"> ・共通必修科目情報Ⅰを整理する ・情報社会の問題解決の指導について ・コミュニケーションと情報デザインの指導について ・情報通信ネットワークとデータの活用の指導について
高等学校プログラミング基礎講座	プログラミングを担当している高等学校教員、特別支援学校高等部教員	高8	9/3～9/4	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング教育と環境構築 ・基本制御構文と基本的プログラミング ・応用的プログラミング ・対象のモデル化とシミュレーション
産業教育指導者講座	高等学校（農業・工業・商業・情報・家庭・水産等）で産業系の教科を担当している教諭または実習助手	高16	前期6/16 後期9/9	<ul style="list-style-type: none"> ・RESASデータを活用した課題発見と解決に向けた学習 講師：まち・ひと・しごと創生本部ビッグデータチーム岡山県立倉敷商業高等学校 教諭 川崎 好美（RESAS専門委員） <ul style="list-style-type: none"> ・青森県産業の現状と展望株式会社ブルーモリス・企業の再生に見る価値の創出とブランディング 講師：前星野リゾート青森屋 総支配人 佐藤 大介（株式会社東北アレンジャー代表取締役）
農業教育指導者講座	高等学校（農業科担当）教員、実習助手	高14特1	7/9～7/10	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領教科「農業」について ・青森県の農業農村整備の取組 講師：県農林水産部農村整備課 課長 増岡 宏司 <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校における農業教育について 講師：県立柏木農業高等学校 校長 高野 浩輝 <ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領を踏まえた教科の実践・ICTを活用した技術開発と土壌分析 講師：地方独立行政法人青森県産業技術センター 農林総合研究所 農業ICT開発部 部長 境谷 栄二 主任研究員 谷川 法聖 <ul style="list-style-type: none"> ・地域農業振興への取組 講師：徳下集落農業活性化協議会 代表世話人 浅利 克

講座名	対象	修了人数	期日	内容
工業教育指導者講座	高等学校（工業科担当）教員、特別支援学校教員、高等専門学校（工業科担当）実習助手（実習教諭、実習講師）	高8	11/18～11/19	・「高校生ものづくりコンテスト電子回路組立部門」における取組 講師：県立五所川原工業高等学校 教諭 成田 秀造
商業教育指導者講座	高等学校（商業科担当）教員	高12	7/14～7/15	・新学習指導要領教科商業の趣旨の実現に向けた教科指導 ・過去の事例から学ぶビジネスモデルと収益化の仕掛け・パターン ・BMCから読み解くビジネス戦略既存ビジネスのモデル化・構造化の演習 ・VPCを使った顧客価値の明確化とその価値提供を企画する新たなビジネスモデルの構築演習・地域資源（モノ・コト）を価値化する事業構想に向けたディスカッション 講師：（一社）ビジネスモデルイノベーション協会認定ジュニアコンサルタント 申原 憲和

イ 教科外研修

講座名	対象	修了人数	期日	内容
総合的な学習の時間研修講座	小学校、中学校、及び特別支援学校の教員	中8 特3 その他1	7/7～7/8	・総合的な学習の時間 ・総合的な探究の時間の役割 ・置かれた場所で夢を叶える方法 講師：有限会社 リンゴミュージック 代表取締役 樋川 新一 ・探究のプロセスで学ぶ課題設定 ・探究的に学ぶ総合的な学習の時間の実践 ・探究的な学習の過程で取り組む総合的な学習の時間 講師：山形大学学術研究院 教授 野口 徹
高等学校総合的な探究の時間研修講座	高等学校教員及び特別支援学校（高等部）の教員	高28	9/24	・今、なぜ探究なのか？ ～未来社会を共創する主体を育む学びへ～ 講師：リクルート進学総研 キャリアガイダンス編集長 山下 真司 ・本校における総合的な探究の時間の取組 ・総合的な探究の時間への取組
小・中学校特別活動研修講座	小学校、中学校及び特別支援学校（小学部、中学部）の教員	小18 中21 特1 その他2	8/31	・自主的・実践的な態度を育てる学級活動の指導の工夫 ・生きる力の育成と特別活動の役割 講師：文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 安部 恭子
教育活動全体をつなぐキャリア教育研修講座	小学校教員、中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員	小7 中14 高5 特3	6/9	・学校教育におけるキャリア教育の役割 ・青森県が目指すキャリア教育 ・キャリア教育への取組
高等学校における特別支援教育講座	高等学校教員	高19	10/23	・高等学校における特別支援教育の推進 講師：国立特別支援教育総合研究所発達障害教育推進センター 上席総括研究員(兼)センター長 笹森 洋樹 ・学校における支援 ～個別の指導計画の作成に向けて～

講座名	対 象	修了人数	期日	内 容
運動部活動 研修講座	運動部指導教員	中7 高2 特1 その他 1	11/17	・青森県運動部活動の指針(改訂版)について ・私の運動部活動指導の工夫 ・生徒のやりたいを引き出す運動部活動の コーチング 講師：日本体育大学 教授 伊藤 雅充
「気になる 子供」の方 研修講座	幼稚園教員、保育 所(園)職員、認 定こども園職員、 小学校教員、中 学校教員、高等学 校教員、特別支 援学校教員	小14 中9 高9 特6 その他 5	9/26 一部 オンライン 講義	・「気になる子供」の視点で保育や授業を見 直す 講師：国立特別支援教育総合研究所 上席総括研究員 久保山 茂樹 ・グループアプローチを特別な支援に生かす
子供への緊 急対応研修 講座	小学校教員、中 学校教員、高等 学校教員、特別 支援学校教員	小11 中8 高10 特15 その他 4	10/9 一部 オンライン 講義	・発達や家庭環境に困難を抱えた子供への対応 ・ネットトラブル・犯罪への対応 ・学校と関係機関・専門家との効果的な連携 ・自傷行為への対応について 講師：国立研究開発法人 国立精神・神経医 療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部長 松本 俊彦
今日から始 めるいじめ 対策研修講 座	小学校教員、中 学校教員、高等 学校教員、特別 支援学校教員	小1 中6 高10 特4 その他 1	5/21	【資料提供・課題提出】 ・いじめについての認識と理解 ・いじめの理解といじめ防止のための取組 講師：東京理科大学 教授 中村 豊
今日から始 める学級集 団づくり 研修講座	小学校教員、中 学校教員、高等 学校教員、特別 支援学校教員	小13 中13 高18 特3 その他 4	6/18 一部 オンライン 講義	・教育相談アプローチによる学級経営実践 ・より良い学級(HR)集団づくり 講師：文教大学 教授 会沢 信彦
今日から始 める保護者 対応研修講 座	幼稚園教員、保 育所(園)職員、 認定こども園職 員、小学校教員 、中学校教員、 高等学校教員、 特別支援学校 教員	小4 中9 高6 特9 その他 3	7/10	・保護者理解と信頼関係を築くための対応 講師：神田外語大学 客員教授 嶋崎 政男(資料提供)
今日から始 めるグルー プ・アプロ ーチ研修講 座	幼稚園教員、保 育所(園)職員、 認定こども園職 員、小学校教員 、中学校教員、 高等学校教員、 特別支援学校 教員	小6 中9 高5 特8 その他 2	8/19 オンライン 講義	・グループ・アプローチについて 講師：聖徳大学 教授 鈴木 由美
今日から始 める不登校 対策研修講 座	小学校教員、中 学校教員、高等 学校教員、特別 支援学校教員	小8 中8 高5 特4 その他 3	9/10	・不登校の理解と対応 講師：東京家政大学 人文学部 教授 相馬 誠一
今日から始 める教育相 談研修講座	幼稚園教員、保 育所(園)職員、 認定こども園職 員、小学校教員 、中学校教員、 高等学校教員、 特別支援学校 教員	小11 中12 高8 特7 その他 5	9/16	・教育相談の理論と実際 講師：明治大学 教授 諸富 祥彦

講座名	対 象	修了人数	期 日	内 容
特別支援教育新担当教員研修講座 〔知的・通級コース〕	特別支援学級（知的障害）及び通級指導教室新担当教員	小16 中7	前期5/20 後期11/18	（前期） 【資料提供・課題提出】 ・教育課程と個別的教育支援計画・個別の指導計画について 【資料提供】 ・保護者との関係づくり ・障害特性に応じた指導 （後期） ・特別支援教育の推進について ・特別支援学級、通級指導教室児童生徒の進路 ・障害特性に応じた指導 ～授業改善と評価～
特別支援教育新担当教員研修講座 〔自・情、弱視、難聴、肢体、病弱コース〕	特別支援学級（知的障害を除く）新担当教員	小23 中20	前期5/22 後期11/25	（前期） 【資料提供・課題提出】 ・教育課程と個別的教育支援計画 ・個別の指導計画について 【資料提供】 ・保護者との関係づくり ・障害特性に応じた指導 （後期） ・特別支援教育の推進について ・特別支援学級、通級指導教室児童生徒の進路 ・障害特性に応じた指導 ～授業改善と評価～
「自立活動」研修講座		小10 中10 高1 特5 その他 1	6/8～6/9	・自立活動の指導の基本的理解 ・多様な視点からの子ども理解と指導の工夫 ・自立活動の実践 ・自立活動の指導を考える ・自立活動の授業をつくる
ICTを活用した授業づくり(特別支援教育)研修講座	・特別な配慮を要する児童生徒の指導にかかわる教員	小3 中4 高3 特18 その他 1	8/26	・特別支援教育におけるICT機器を活用した授業づくり ～効果的なタブレットPC (iPad) の活用～ 講師：金沢星稜大学 教授 河野 俊寛 ・ICT機器の活用の実際 ・ICT機器を活用した授業を考える
教育相談（特別支援教育）研修講座	寄宿舎指導員を含む	小5 中5 高1 特17	9/14	・保護者の思いによりそう教育相談 講師：弘前医療福祉大学 教授 小玉 有子 ・学校における教育相談の実際 ・保護者との面談
通常の学級のユニバーサルデザイン研修講座		小21 中12 高9 特4 その他 6	10/15	・通常の学級における教育のユニバーサルデザイン 講師：星槎大学大学院 教授 阿部 利彦 ・通常の学級における実践 ・学級全体でできる支援を考える
発達支援と教材教具研修講座	小学校は、特別支援学級及び通級指導教室担当教員障害の程度の重い児童生徒の初期の発達について学びたい教員	小4 特22	11/4	・発達支援と教材教具 講師：筑波大学附属大塚特別支援学校 支援部長 根本 文雄 ・発達を促す授業の検討

講座名	対 象	修了人数	期日	内 容
特別な教育的支援を必要とする児童生徒のニーズに応じた指導実践研修講座<一部推薦>	原則として中堅教諭等資質向上前期研修（旧教職経験5年研修）を修了した教諭（推薦）1名（小学校又は中学校の教員） [1教育事務所より推薦（東青、三八除く）]（希望）1名	小1	5/27～1/21のうち8日間	（1回目） 【課題提出】 ・個別の指導計画 （2～8回目） ・自立活動について ・個別の指導計画の作成 ・個別の指導計画の活用（記録とこれまでの評価） ・個別の指導計画の活用（教材研究） ・現地指導①（個別の指導計画を踏まえた授業実践①） ・個別の指導計画の活用（指導案の作成） ・個別の指導計画の活用（教材研究） ・現地指導②（個別の指導計画を踏まえた授業実践②） ・個別の指導計画の活用（評価） ・個別の指導計画の活用（次年度に向けて） ・まとめと成果の還元
使ってみよう！電子黒板活用講座	小学校教職員、中学校教職員、高等学校教職員、特別支援学校教職員	小4 中6 高1 その他3	6/3	・授業におけるICT活用 ・電子黒板の活用 ・ICT機器の接続と実践 ・ICTを活用した授業デザイン
校内LAN講座 [はじめてのネットワーク]	初めて校内LANの管理をされる方、これからグループウェアの導入をお考えの方	中1 高9 特3	5/20	【資料提供・課題提出】 ・IPアドレスとネットワーク機器 ・PCのネットワーク設定 ・グループウェアの構築と活用
校内LAN講座 [Windows ServerAD管理]	高等学校教職員、特別支援学校教職員	高8 特4	9/28～9/29	・ユーザー・グループの管理 ・アクセス権の設定 ・バックアップとリストア ・グループポリシーの適用 ・WSUSの構築
ゼロから学ぶ！タブレットPC初心者講座 [iPad編]	タブレットPCの使用経験がない方	小2 中4 高2 特1 その他2	7/22	・タブレット端末でできること ・タブレット端末の環境設定 ・授業での活用について
ゼロから学ぶ！タブレットPC初心者講座 [Windowsタブレット編]	タブレットPCの使用経験がない方	中3 その他4	7/22	・Windowsタブレット端末の基本操作 ・Windowsタブレット端末の環境設定 ・標準アプリの操作 ・拡大投影の操作
タブレットPC環境設定講座	小学校教職員、中学校教職員、高等学校教職員、特別支援学校教職員	小1 高2 特1	6/10	・iPadの基本操作と環境設定 ・無線LANルーターの設定 ・iTunesを用いたバックアップ
タブレットとパソコンを使う！動画作成講座	小学校教員、中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員	小3 中2 高6 特1 その他5	8/7	・動画の取り込み ・AdobePremierの基本操作 ・iPadiMovieの基本操作 ・動画編集と書き出し ・メディア作成
NetCommons活用講座 [Webページ作成編]	高等学校教員、特別支援学校教員	高6 特6	6/24	・情報モラルに関する基礎知識 ・NetCommonsによるWebサイトの作成 ・総合演習

講座名	対 象	修了人数	期日	内 容
NetCommons活用講座 [Webページ管理編]	ホームページをNetCommonsに移行しようとお考えの方、NetCommonsをより深めたい方	高7 特7	7/29	<ul style="list-style-type: none"> 概要と管理画面 管理系モジュールとその利用 ルーム管理 その他
ゼロから学ぶ！表計算初級講座	エクセルが初めて、もしくは初心者という方	小4 中1 高1 特1 その他 2	7/22	<ul style="list-style-type: none"> 表計算ソフトの基本操作と計算式 関数とグラフの作成 (SUM,AVERAGE,MAX,MIN,RANK,COUNTIF) 総合演習
表計算中級講座	エクセルの合計、平均、順位づけ等の基本操作ができる方	小5 中2 高1 特1	10/16	<ul style="list-style-type: none"> 関数の使い方 条件付き関数 データベース機能 複合グラフ 総合演習
小学校プログラミング教育研修講座	小学校教員、中学校教員、特別支援学校（小・中・学部）教員	小16 中1 特3 その他 5	8/26	<ul style="list-style-type: none"> 小学校段階におけるプログラミング教育の在り方 講師：岩手県立大学 准教授 高木 正則 本校におけるプログラミング教育 プログラミングツールの演習

4 研 究 事 業

学校や教育機関への指導・助言を行う教育センターの機能に鑑み、学校支援に資する実践的・先導的な研究をし、学校現場へ還元した。また、学校での活用を推進するため、研究した内容を、研究委員会日より「kon ken」やWebページ等で、研究成果として積極的に公表した。

(1) 研究の種類

① プロジェクト研究

本県学校教育の課題解決（11の重点）や新学習指導要領実施、各校がめざす「魅力ある学校づくり」を支援するために、全指導主事と全研究員が、課の枠を超えて構成されたいずれかのプロジェクトに所属して行う指導主事主体のグループ研究を行い、作成した資料等をセンターのWebページに掲載した。

【令和2年度プロジェクト研究名と主な活動内容】

プロジェクトの種類	おもな活動内容
授業力向上	「主体的・対話的で深い学び」の実現にむけて、新採用の先生からベテランの先生まで授業づくりの基礎・基本をとらえることができ、いつでも自分の授業を振り返れるハンドブックを作成しました。
通常学級におけるインクルーシブ教育システムの構築	令和元年度に作成した小冊子『青森県の先生の困ったをよかっただに変わる支援ヒント集【改定版】』を効果的に活用して小・中学校及び高等学校における特別な教育的ニーズのある児童生徒への組織的な指導・支援につなげる校内研修モデル「“これから”の特別支援教育推進校内研修モデル」を開発しました。詳細については、特設サイトがありますのでそちらをご覧ください。 http://ts.edu-c.pref.aomori.jp/index.php?page_id=20

プロジェクトの種類	おもな活動内容
マネジメント	各学校のカリキュラム・マネジメントを推進の足掛かりとなるよう、全教職員が組織的に関わるグランドデザインの作成プロセスについて研究しました。
学級・ホームルーム経営	いじめ・不登校の未然防止に向けて、児童生徒が安心できる居場所となる学級づくりに有効なグループ・アプローチ集を作成しました。昨今の新型コロナウイルス感染症予防（密閉、密集、密接）に配慮した新しい生活様式でも日常の学級活動・ホームルーム活動、授業等で活用できるように工夫しました。
情報教育	情報教育については、これまでに引き続き2本立てで研究しました。いずれの研究も、先生方のICT活用のハードルを下げ、積極的なICT活用によって児童生徒の学力向上につなげることを目指しました。 「授業におけるICT活用の研究」では、GIGAスクール構想の実現、公式に個別最適化された学び、ICTとオンライン（クラウド）を活用した新しい教育について（YouTube等）研究し、センター職員に対して研修会等を実施しました。今後、センター研修講座にて積極的なICT活用を提案していく予定です。 「小学校におけるプログラミング教育の研究」では、令和2年度から全面実施となった小学校のプログラミング教育について、小学校学習指導要領解説及び小学校プログラミング教育の手引（第三版）に掲載されている授業例の他、国語や音楽、総合等で取り扱うことのできる具体的な事例をまとめました。

※プロジェクト研究は令和3年度から「センター研究」へ移行します。

② 研究員研究（2年間）

義務教育課、産業教育課、特別支援教育課、教育相談課に所属する研究員が、所属課の領域に関する研究主題を設定して、個人研究を行い、研究論文を作成し、センターWebページに掲載した。

(2) 「あおり教育研究発表会2020」について

2年目研究員の研究発表、各プロジェクトの研究発表、県内の学校・園からの実践発表、外部講師による講演会等を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、中止した。

5 教育相談事業

幼児・児童及び生徒の教育に関する諸問題の解決に向け、医師等の専門相談員の指導助言を受けながら、本人、保護者及び教育関係者の相談に応じた。

相談件数

相談件数(件)		電話(件)	来所(件)
3,105	①教育相談課	2,682	1,471
	②特別支援教育課	423	148
			1,211
			275

6 資料・情報の収集・提供の事業

学校教育に関する資料及び情報を収集・整理し、これを保存するとともに、研修、研究その他に活用できるように提供した。

〈所蔵資料数〉

図書	24,326冊
資料（教科等関係）	3,902冊
視聴覚教材	409本

7 その他の事業

(1) 広報事業

センターの事業について理解を得、周知徹底を図るため、刊行物・Webページ等により広報事業を進めた。

主な内容は次のとおりである。

要覧の発行

研修講座等のWebページ公開

「教育相談のご案内」等のリーフレットの配布

「教育広報あおりけん」（教育庁教育政策課発行）等への記事提供

「センターだより」の発行とWebページ公開（年4回）

「開催した講座の様子」のWebページ公開

(2) 情報化の推進

学校教育の情報化推進に関する相談や情報通信ネットワークについての技術支援をした。

①「教育の情報化」支援

学習用タブレットや実物投影機等のICT機器の整備や活用法など教育の情報化に関わる技術の提供。

②教育情報の提供

ア 「研究指定校の取組」「授業改善」「WEB授業動画配信」など授業で役立つ情報の提供。

イ 青森県教育ネットワーク（ASN）に関わる技術支援及び情報の提供。

(3) 校内研修等講師派遣事業

学校が抱える教育課題等の解決に向けて、教員の資質・能力の向上を目指して行う校内研修等に講師として指導主事を派遣し、研修の活性化を図るとともに教育活動を支援する。

① 申込方法

当センターWebページの「Web申込フォーム」から申し込む。

② 研修までの流れ

日時が決定し、文書が通知された後、担当者間で詳細な打合せを行う。

(4) 教科指導等サポート事業

県内教員から寄せられる教科指導等の質問に対して的確な情報を提供し、教員をサポートする。

① 利用方法

当センターWebページの「質問入力フォーム」から利用する。

② サポートの方法

当センター指導主事が、電話、FAX、電子メール、訪問等によりサポートする。

(5) 青森県総合学校教育センター センターセミナー（年1回）

社会及び学校を取り巻く喫緊の課題や教育の今日的課題について理解を深めるため、県内外の著名な講師を迎えセミナーを開催した。

① 不登校対応支援セミナー

「不登校児童生徒への支援」

参加者：86名

FR教育臨床研究所 所長 花輪 敏男氏 を講師に迎え、不登校児童生徒に対し、教師や保護者の具体的な対応をまとめた「FR式不登校対応チャート」を中心に、不登校児童生徒への支援について理解を深めた。

5章 青森県営体育施設

[1] 施設の概要

1 新青森県総合運動公園

- (1) 所在地 青森市大字宮田字高瀬22の2
(2) 設置年月日 平成15年1月8日
(3) 敷地面積 626,000㎡
(4) 施設 ①～③の総合体育館には、「マエダアリーナ」、⑦の陸上競技場には、「カクヒログループアスレチックスタジアム」の特定呼称が付与されています。

① メインアリーナ・サブアリーナ

構造 鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造及び一部鉄骨造
競技施設

(メインアリーナ) 面積2,944㎡ (64m×46m)

バレーボール4、バスケットボール3、テニス3、ハンドボール2、卓球24、バドミントン14、柔道、体操、その他
観覧席 5,348人

(固定席3,368人、移動席1,980人)

(サブアリーナ) 面積1,472㎡ (46m×32m)

バレーボール3、バスケットボール2、テニス2、ハンドボール1、卓球12、バドミントン6、柔道、その他
(その他) シャワー室、ロッカー室、研修室等

② 室内プール 25m 8 コース

③ 合宿所

構造 鉄筋コンクリート造

面積 3,700㎡

収容人数等 145名

部屋タイプ：シングル20、ツイン28、トリプル3、和室(15畳)6
食堂約100名収容、談話室、ランドリールーム、浴室、その他

④ テニスコート (平成23年7月23日サブコート供用開始)

面積 20,800㎡

競技施設 砂入人工芝24面(内4面サブコート)、一部ナイター照明有

観覧席 4,213席

その他 クラブハウス(トイレ、ロッカー室、シャワー室、休憩ラウンジ)、
かべ打ちテニスコート

⑤ 多目的運動場

面積 21,150㎡

競技施設 天然芝

⑥ 球技場 (平成24年6月23日供用開始)

面積 フィールド11,620㎡ (140m×83m)

競技施設 天然芝、ナイター照明完備、電光掲示板

観覧席 3,300席(固定席1,500席、芝生席1,800席)

そ の 他 本部棟（本部室、放送室、審判控室、事務室、介護室）
更衣室・トイレ棟（更衣室2チーム分、トイレ、シャワー室）
トイレ棟
倉庫

- ⑦ 陸上競技場（令和元年9月1日供用開始）
面 積 43,438.1㎡
競技施設 トラック1周400m、直線140m、9コース、フィールド(天然芝)、走幅跳・三段跳砂場6、棒高跳6、走高跳7、砲丸投3、やり投2、円盤投・ハンマー投2
観 客 席 20,809席
- ⑧ 補助陸上競技場（令和元年9月1日供用開始）
面 積 22,802.4㎡
競技施設 トラック1周400m、8コース、フィールド(天然芝)、走幅跳・三段跳砂場6、棒高跳6、走高跳7、砲丸投3、やり投2、円盤投・ハンマー投2
観 客 数 320席
- ⑨ 投てき・アーチェリー場（令和元年9月1日供用開始）
面 積 23,394.9㎡
競技施設 フィールド(天然芝)、砲丸投3、円盤投・ハンマー投1、やり投1
- ⑩ スポーツ科学センター
面 積 3,089.21㎡
施設内容 トレーニングルーム、体力測定室、メンタルトレーニング室、カウンセリング室、スポーツ科学研究室、スタジオ、リコンディショニング室、キッズルーム
- ⑪ 遊具広場
面 積 11,000㎡
整備施設 複合遊具 2基（児童用 1基、幼児用 1基）
跳躍遊具 2基（児童用 1基、幼児用 1基）
単体遊具 16基（児童用 14基、幼児用 2基）
健康遊具 10基（大人用）
監視カメラ 1台
四 阿 3基
ベ ン チ 3基

2 青森県総合運動公園

- (1) 所在地 青森市大字安田字近野234の7
(2) 設置年月日 昭和41年6月5日
(3) 敷地面積 171,000㎡
(4) 競技施設
- ① 野球場
グラウンド 本塁・センター間121m 両翼93m
観 覧 席 21,016人

メインスタンド 1,492人
内野スタンド 3,524人
外野スタンド 16,000人

② 水 泳 場

競技施設 屋外プール(50m・日本水泳連盟公認)・屋内プール(25m)、徒渉プール
(変形)・深水プール

観 覧 席 800人

※屋内プールは休止中

(5) 公 園 施 設

① 中 央 広 場

② 展 望 広 場 面 積 1,052.2㎡

③ 旧陸上競技場(旧主競技場及び旧補助競技場)

※令和2年7月17日園地として一般開放

3 盛運輸アリーナ(青森県営スケート場)

(1) 所 在 地 青森市大字浜田字豊田地内

(2) 設 置 年 月 日 昭和60年11月1日

(3) 敷 地 面 積 42,913.815㎡

(4) 建 築 面 積 11,884.208㎡

(5) 施 設 規 模

① 屋 内 施 設

(ア) スケートリンク 冬期間はアイススケートリンク、夏期間はインラインスケートリンク
1周250mスピードリンク1面、ホッケーリンク1面
(30m×60m)

(イ) 観 覧 席 2,028席

固 定 席 1,058席

電 動 移 動 席 970席

(ウ) 事務室、会議室、選手控室、食堂、ロッカー室、貸靴コーナー、採暖室他

(エ) 機械室(空調、ボイラー、電気室等)

② 屋 外 施 設

(ア) 運 動 広 場 3,900㎡

(イ) ジョギングコース 1周860m

4 青森県武道館

- (1) 所在地 弘前市大字豊田2丁目3番
- (2) 設置年月日 平成12年5月1日
- (3) 敷地面積 22,810㎡
- (4) 施設

① 武道館

構造 鉄骨・鉄筋コンクリート造

競技施設

(主競技場) 面積2,265㎡ (47.6m×47.6m)、相撲1 (移動式土俵)、柔道8、
剣道9、バスケットボール2、バレーボール2、卓球20、バドミントン10、テニス2、体操、その他

観覧席5,000人

(固定席1,700人、移動式席640人、移動椅子席2,660人)

(補助競技場) 面積 419㎡、各種競技の練習等の多目的利用

(柔道場) 面積 529㎡、2面

(剣道場) 面積 529㎡、2面

(相撲場) 面積 777㎡、常設土俵1、支度部屋、観覧席480人 (ます席)

(近的弓道場) 面積 1,344㎡、射場12人立、射程28m、観覧席100人

(トレーニング室)、(会議室)、(軽食・喫茶室)

② 合宿棟

構造 鉄筋コンクリート造

面積 1,626.9㎡

宿泊人員等 宿泊100人程度、和室16室 (1～4階)、ミーティングルーム兼食堂

③ 遠的弓道場

構造 鉄骨・鉄筋コンクリート造

競技施設 射場 6人立、射程 60m

観覧席 100人程度 (固定席)

[2] 事 業

1 指定管理者による各施設の管理・運営

- ・新総合運動公園
指定管理者 スポーツ青い森グループ
- ・総合運動公園
指定管理者 スポーツ青い森グループ
- ・盛運輸アリーナ（県営スケート場）
指定管理者 豊産管理㈱
- ・県武道館
指定管理者 （公財）弘前市体育協会

令和2年度に新総合運動公園（マエダアリーナ、カクヒログループアスレチックスタジアム等）、総合運動公園、盛運輸アリーナ（県営スケート場）及び県武道館で行われた主な大会等は、次の表のとおりである。

(1) 施設の利用状況

① 主な大会等

区分	行 事 名	期 間
新 青 森 県 総 合 運 動 公 園	・マエダアリーナ(メイン/サブ)	
	TAKUリーグ バasketボール大会	7月12日
	令和2年度青森市中学校体育大会夏季大会バスケ	7月17日～19日
	令和2年度青森県高等学校夏季バスケボール競技大会	7月22日～26日
	青森県フットサルリーグ	7月24日
	令和2年度青森県高等学校夏季バレーボール競技大会	7月26日～29日
	令和2年度青森県高等学校夏季バドミントン競技大会	7月30日～31日
	令和2年度青森県高等学校夏季ハンドボール競技大会	8月1日～3日
	青森県フットサルリーグ	8月2日
	第35回青森県トランポリン競技選手権大会オープン大会	8月7日～8日
	JFA全日本U-15フットサル大会青森大会	8月8日～9日
	令和2年度剣道段位青森審査会	8月9日
	令和2年度青森県高等学校夏季卓球競技大会	8月10日
	青森山田高校練習会	8月11日～17日
	盲導犬支援U-11バスケボール大会	8月14日～16日
	社会福祉法人和幸福大運動会	8月29日
	あおもりスポーツアカデミー事業「共通プログラム(小学生)」	9月11日～12日
	第13回青森県スポーツレクリエーション祭エアロビク競技 メモリアルマッチ	9月13日 9月19日～21日
第10回エービッツ杯ミニバスケボール交流大会	9月20日～22日	
東北地区支部設立55周年記念式講演会	9月25日～26日	
第22回あおもりシニアフェスティバルスポーツイベント	9月27日	
第一種電気工事士筆記試験 第二種電気工事士筆記試験	10月3日～4日	
JFA全日本フットサル選手権大会青森県大会	10月3日～4日	

区分	行 事 名	期 間
新	U15バスケットボール選手権大会青森県予選会	10月10日～11日
	令和2年度 第18回東青地区高等学校新人卓球大会	10月17日
青	令和2年度青森県高等学校体操競技新体操選手権大会兼東北高等学校選抜大会青森県予選会 青森県ジュニア体操競技新体操選手権大会兼東北予選会	10月17日～18日
	青森県特別支援学校技能検定・発表会 第4回ワーキングチーム会議	10月21日
森	2020-21B2.LEAGUE青森ワッツホーム戦	10月23日～25日
	県重点卒業 みんなが主役!スポーツで健康づくり事業「スポーツで意欲を高めるイベント」	10月24日
県	第16回東北ブロックバウンドテニス選手権大会青森県予選会	10月25日
	第13回青森県民スポーツ・レクリエーション祭トランポリン競技	10月31日
森	令和2年度剣道段位定例審査会	10月31日
	あおもりフットサルリーグ2020	10月31日
森	令和2年度青森県中学校剣道錬成大会	11月1日
	第23回青森県ユニバーサルホッケー選手権大会	11月1日
県	令和2年度青森県高等学校新人バレーボール選手権大会東青地区大会	11月3日
	第4回B&G財団会長杯小学生バレーボール平川大会	11月4日
森	第31回ナガセ杯レディースインドア大会県予選	11月5日
	第70回青森県高等学校秋季ハンドボール選手権大会	11月6日～8日
県	あおもりスポーツアカデミー事業「一次選考会」	11月7日～8日
	2020-21B2.LEAGUE青森ワッツホーム戦	11月13日～15日
森	全国高等学校バスケットボール選手権大会青森県予選	11月13日～15日
	県民共済カップ第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会青森県予選会	11月19日～21日
合	あおもりフットサルリーグ2020	11月21日
	青森県フットサルリーグ・AFFチャレンジマッチ	11月22日
運	DANCE-i-LAND	11月23日
	第62回NHK杯青森県卓球選手権大会	11月27日～29日
森	ハーツ	12月5日
	令和2年度青森県室内ダブルステニス選手権大会	12月6日
県	2020-21B2.LEAGUE青森ワッツホーム戦	12月8日～10日
	令和2年度青森県室内ジュニアダブルステニス選手権大会兼東北インドアテニス選手権大会青森県予選会	12月12日～13日
動	あおもりフットサルリーグ2020	12月12日
	U-15・U-18選抜フットサル大会東北大会兼チャレンジマッチ	12月19日～20日
公	令和2年度青森県室内ジュニアダブルステニス選手権大会兼東北インドアテニス選手権大会青森県予選会	12月19日～20日
	令和2年度ジュニア冬季強化練習会	12月24日～25日
園	県下高校室内テニス選手権大会	12月26日～27日
	第56回青森県高等学校ソフトテニスインドア大会	12月27日～29日
森	2020-21B2.LEAGUE青森ワッツホーム戦	12月30日
	2020-21B2.LEAGUE青森ワッツホーム戦	1月2日～3日
県	令和2年度東青地区高等学校ソフトテニスインドア大会	1月5日～6日
	あおもりフットサルリーグ2020	1月9日
森	令和2年度青森県室内シングルステニス選手権大会	1月10日
	JFAファミリーフットサルフェスティバル2020青森inマエダアリーナ	1月11日
園	第2回青森県U-10フットサル大会・青森県フットサルリーグ兼チャレンジマッチ	1月17日
	青森県特別支援学校技能検定・発表会 第5回ワーキングチーム会議	1月22日

区分	行 事 名	期 間
新 青 森 県 総 合 運 動 公 園	青森県中学校冬季バドミントン選手権大会	1月22日～23日
	あおりフットサルリーグ2020	1月23日
	全国ホープズ選抜卓球大会青森県予選会	1月24日
	U11フットサル地区予選	1月24日
	2020-21B2.LEAGUE青森ワッツホーム戦	1月26日～28日
	第20回青森県選抜中学校インドアソフトテニス大会	1月29日～31日
	TSC青森ソフトテニス強化大会	1月29日～31日
	あおりフットサルリーグ2020	2月6日
	U11フットサル地区予選	2月7日
	東青地区小・中学校ソフトテニス講習会(STEP1地域講習会)	2月11日
	第33回東北高等学校剣道選抜優勝大会	2月12日～13日
	青森市社会人卓球リーグ戦(後期)	2月14日
	令和2年度 東北指導者研修会(青森会場)	2月14日
	あおりフットサルリーグ2020	2月20日
	青森市ジュニア卓球選手権大会青森市カブ・バンビ卓球大会	2月23日
	東青地区小・中学校ソフトテニス講習会(STEP1地域講習会)	2月23日
	2020-21B2.LEAGUE青森ワッツホーム戦	3月5日～7日
	青森県フットサル選手権大会	3月13日
	第23回青森県ユニバーサルホッケー交流大会	3月14日
	2020-21B2.LEAGUE青森ワッツホーム戦	3月19日～21日
青森県ソフトテニス・テニスジュニア・ショートテニス大会	3月21日	
あおりフットサルリーグ2020	3月27日	
ハーツ	3月28日	
	・ テニスコート	
	令和2年度 青森県春季ダブルステニス選手権大会	6月14日
	令和2年度 青森県高等学校総合体育大会 硬式テニス代替大会	6月20日～21日
	第2回チャレンジ2025青森県チーム対抗ソフトテニス大会	6月27日
	青森市民クラブ対抗ソフトテニス大会	6月28日
	第16回青森県レディースミズノカップ大会	7月2日
	令和2年度 青森県団体テニス少年男女選手選考会 令和2年度グロブカップ青森県ジュニアテニス選手権大会	7月4日～5日
	令和2年度 東青地区高等学校総合体育大会 ソフトテニス代替大会	7月11日
	第15回青森県ミックスダブルスソフトテニス大会	7月12日
	青森県ソフトテニス選手権大会	7月19日
	青森オープンジュニアテニス大会	7月23日～24日
	青森市中学校体育大会代替大会	7月25日～26日
	令和2年度 ヨネックスカップ青森県ジュニアテニス選手権大会兼第40回東北選抜ジュニアテニス選手権大会県予選会	8月6日～7日
	北海道・北東北高校テニス選手権大会	8月9日～10日
	青森市サマーカップジュニアテニス大会	8月11日～12日
	第70回東奥日報杯県下総合ソフトテニス選手権大会	8月16日
	ジュニア夏季強化練習会(U-14以下)	8月19日～20日
	令和2年度東青地区高等学校ソフトテニス新人大会	8月22日

区分	行 事 名	期 間	
新 青 森 県	20 DUNLOP SRIXON東北決勝大会青森県予選会	8月23日	
	令和2年度東青地区高等学校ソフトテニス新人大会	8月23日	
	ピンクリボンレディーステニス大会	8月24日	
	ヨネックスレディースチャレンジカップ青森県大会	9月2日	
	第42回県下レディースルーセント杯選手選大会(団体戦)	9月3日	
	県下高校テニス新人大会 中央地区予選会	9月5日～6日	
	桑名杯レディーステニス大会及びD杯	9月9日	
	第15回青森市小学生ソフトテニス大会	9月12日	
	第65回青森県高等学校ソフトテニス新人大会	9月18日～21日	
	青森市シングルス・ソフトテニス大会	9月22日	
	第13回青森県スポーツレクリエーション祭テニス競技	9月22日	
	MUFGジュニアテニストーナメント2021青森県大会	9月22日	
	第13回YONEX杯青森県レディース大会	9月24日	
	第22回あおもりシニアフェスティバルスポーツイベント	9月27日	
第64回青森県下中学校ソフトテニス選手権大会	10月3日～4日		
県 総 合	カトリア杯	10月7日	
	第28回東北春季ジュニアテニス選手権大会青森県予選会(U18・16・14・12男女S)	10月10日～11日	
	青森県マスターズテニス協会秋季大会	10月15日～16日	
	令和2年度DUNLOP SRIXON青森県ジュニアダブルステニス選手権大会	10月17日～18日	
	第36回 東北インドアテニス選手権大会青森県予選会	10月18日	
	楽しく親睦しませんか	10月21日	
	令和2年度ルーセント杯TSC青森ソフトテニス大会	10月24日～25日	
	第22回ルーセントカップin青森研修大会	10月31日～11月1日	
	運 動	・多目的運動場(旧アーチェリー場)	
		2020U-12サッカーリーグin青森県～青森地区リーグ～	7月18日
青森市サッカー協会4種委員会 交流戦		7月19日	
2020U-12サッカーリーグin青森県～青森地区リーグ～		8月1日～2日	
2020U-12サッカーリーグin青森県～青森地区リーグ～		8月16日	
2020U-12サッカーリーグin青森県～青森地区リーグ～		9月5日～6日	
第22回あおもりシニアフェスティバルスポーツイベント(ベタンク)	9月26日～27日		
公 園	・球技場		
	第22回日本フットボールリーグ第19節 ラインメール青森FCvs松江シティFC	9月5日～9月6日	
	第22回日本フットボールリーグ第21節 ラインメール青森FCvsいわきFC	9月19日～20日	
	第22回日本フットボールリーグ第17節ラインメール青森FCvs東京武蔵野ユナイテッドFC	10月9日～10日	
	令和2年度第100回全国高等学校ラグビーフットボール大会青森県予選会	10月21日～24日	
	第22回日本フットボールリーグ第26節ラインメール青森FCvsヴィアティン三重	10月30日～31日	
第22回日本フットボールリーグ第27節ラインメール青森FCvsFC大阪	11月7日～8日		
公 園	・室内プール JTV認定記録会	6月6日	

区分	行 事 名	期 間
新 青 森 県 総 合 運 動 公 園	令和2年度スポーツ施設等安全管理講習会	6月19日
	青森市教育委員会 初任者・新規採用者着衣泳研修	7月3日
	令和2年度青森県消防学校第70回消防職員初任教育水難救助訓練	7月8日～9日
	青森県警察学校水難救助訓練	8月28日
	令和2年度青森県公立学校教員採用候補者選考試験第二次試験	9月26日
	・陸上競技場（主/補助）	
	日清食品カップ青森県小学生陸上競技交流大会	7月18日～19日、23日～24日
	2020年度第46回青森県春季陸上競技選手権大会兼青森県高校総体陸上競技代替競技会	7月18日～19日、23日～24日
	第71回青森市中学校体育大会夏季陸上競技大会	7月25日～26日
	2020年度第1回あおり夏季チャレンジ記録会	8月1日
	2020年度第2回あおり夏季チャレンジ記録会	8月22日
	第11回東青地区陸上競技選手権兼第39回青森県小学生交流陸上競技記録会東青ブロック予選会	8月29日～30日
	2020年度第66回全日本中学校通信陸上競技青森大会	9月5日～6日
	2020年度あおり秋季ディスタンス記録会	9月5日
	第27回秋季青森県グラウンド・ゴルフ交歓大会	9月9日
	第45回青森県高校新人陸上競技対校選手権大会	9月11日～13日
	令和2年度第71回青森市中学校体育大会秋季陸上競技大会	9月19日～20日
	第69回青森県秋季陸上競技選手権大会	9月21日～23日
	第22回日本フットボールリーグ第22節ラインメール青森FC対ソニー仙台FC	9月26日～27日
第22回あおりシニアフェスティバル	9月26日～27日	
令和2年度青森県立青森工業高等学校運動会	9月28日	
令和2年度青森県立青森南高等学校運動会	10月2日	
第30回青森県中学校新人陸上競技選手権大会	10月3日～4日	
2020年度あおり秋季チャレンジ記録会	10月11日	
第22回日本フットボールリーグ第24節ラインメール青森FC対奈良クラブ	10月17日～18日	
JFA女子サッカーデー2020青森inカクスタ	11月3日	
第99回全国高等学校サッカー選手権大会青森県大会	11月5日～8日	
あおりスポーツアカデミー事業「第1回競技プログラム」	12月20日	
あおりディスタンス冬季トライアル①	12月27日	
あおりディスタンス冬季トライアル②	1月11日	
あおりディスタンス冬季トライアル③	2月7日	
・投てき、アーチェリー場		
令和2年度青森県高等学校夏季アーチェリー競技大会	6月27日～28日	
第1回青森県高校アーチェリー記録会兼令和2年度青森県高校アーチェリー夏季強化講習会	7月31日～8月2日	
・野球場		
イウジン杯2020軟式野球大会 青森県大会	7月5日	
令和2年度夏季青森県高等学校野球大会	7月14～22日	
あおりカップ2020小学生野球地域交流大会	7月23日～24日	
令和2年度 第71回 青森市中学校体育大会 夏季大会	7月25日～26日	
文部科学大臣杯第12回全国少年春季軟式野球大会 兼 第18回東北少年軟式野球新人大会青森支部予選	8月1日～2日	

区分	行 事 名	期 間
青森県総合運動公園	水戸市長旗第22回東日本軟式野球選手権大会	8月8日～9日
	令和2年度 秋季青森地区高等学校野球大会	8月15日～8月16日
	第13回青森県古希軟式野球大会	8月20日
	2020年北東北大学野球秋季リーグ戦	8月23～24日
	令和2年度 秋季青森県高等学校野球大会	8月29日～30日
	令和2年度 秋季青森県高等学校野球選手権大会 青森地区予選	9月4日～7日
	令和2年度 秋季青森県高等学校野球選手権大会 青森地区予選	9月11日～14日
	令和2年度 秋季青森県高等学校野球選手権大会 青森県大会	9月19日～22日
	マクドナルド・トーナメント青森県大会	9月26日～27日
	第13回青森県古希軟式野球大会	9月30日
	令和2年度 青森地区高等学校野球連盟 新人研修会 青森地区大会	10月10日～11日
	青森県中学校選抜交流会	10月24日～25日
	第4回CBS少年軟式野球(学童新人大会全国大会)青森県予選会	10月31日～11月1日
	令和2年度 青森地区高等学校野球連盟親善野球大会	11月7日
・水泳場		
	令和2年度 第75回青森県選手権水泳競技大会兼第43回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会(50m)県予選会 第43回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会(50m)・第88回日本高等学校選手権・第60回全国中学校水泳競技大会	8月2日 8月9日
盛運輸アリーナ(県営スケート場)	・インラインスケートリンクオープン	5月7日
	・ジュニアインラインホッケー教室(自主事業)	6月～9月
	・インラインスケート短期スクール全12コース	7月～8月
	・インラインスケートフェスタ	9月6日
	・アイススケートリンク一般営業開始	10月17日
	・アイススケートリンクオープンオープンイベント	10月18日
	・ダンロップタイヤスタッドレス試乗会	10月20日～21日
	・ジュニアアイスホッケー教室(自主事業)	10月～3月
	・アイススケートスクール全12コース	11月～3月
	・Housan Cupアイスホッケー大会	11月1日～8日
	・第35回市内クラブ対抗アイスホッケーリーグ戦	12月1日～17日
	・スポーツクライミング施設オープニングセレモニー	12月18日
	・スポーツクライミング営業開始	12月19日
	・スポーツクライミングリード認定講習会	12月19日
	・中・長距離陸上教室(自主事業)	12月～3月
	・クリスマスイベント	12月20日
	・新年オープンイベント(自主事業)	1月2日～3日
	・スポーツクライミングリード認定講習会	1月10日
	・第34回市長杯争奪市民アイスホッケーリーグ戦	2月12日～2月28日
・氷まつり(自主事業)	2月14日	
・第36回アイスホッケーファイティングマッチ	3月13日～20日	
・アイスホッケーファイナルマッチ	3月21日	
・盛運輸アリーナ感謝祭	3月21日	

区分	行 事 名	期 間
青 森 県 武 道 館	令和2年度青森県高等学校夏季体操競技・新体操選手権大会	7月11日
	第74回弘前地区中学校体育大会夏季大会バドミントン競技	7月18日、19日
	令和2年度青森県高等学校夏季空手道競技大会	7月23日
	南地方中体連夏季大会新体操競技	7月24日
	第26回青森県小学生バドミントン選手権大会	8月2日
	第74回弘前地区中学校体育大会夏季大会剣道競技	8月9日
	サザンクロス弘前スポーツ少年団CブロックサマーキャンプU12,U10	8月15日、16日
	令和2年度中弘南黒地区高等学校弓道大会	8月30日
	第74回弘前地区中学校体育大会秋季大会バスケットボール競技	9月12日
	第74回弘前地区中学校体育大会秋季大会バスケットボール競技	9月12日
	令和2年度第24回県下高等学校弓道遠の大会	9月13日
	ダンスワークショップ「SPECIAL DANCE」	9月13日
	幼児音体フェスティバル2020弘前会場	9月26日
	青森県高等学校新人柔道大会弘前地区大会	10月3日
	第53回青森県弓道遠の選手権大会	10月4日
	住友不動産 新築そっくりさんリフォーム博覧会	10月10日、11日
	令和2年度弘前地区高等学校弓道大会	10月11日
	第13回青森県民スポーツ・レクリエーション祭 ソフトバレーボール競技	10月11日
	令和2年度青森県高等学校新人バレーボール中弘南黒地区大会	11月14日、15日
	第1回青森県U15バスケットボール選手権	11月21日、22日
青森県中学校秋季バスケットボール大会	11月28日、29日	
青森ワッツホームゲーム	12月19日、20日	
青森ワッツホームゲーム	1月16日、17日	
令和2年度 弘前市成人式	3月21日	
剛柔館藤田道場少年柔道錬成大会	3月28日	

② 利用者数

(ア) 新総合運動公園

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
メインアリーナ	123	0	166	7,004	8,165	6,389	2,451	9,654	4,972	5,462	5,400	4,290	54,076
サブアリーナ	184	0	636	4,574	2,087	7,178	2,594	6,675	3,252	4,562	4,133	3,253	39,128
プール	924	0	4,433	5,402	6,849	5,103	1,949	3,942	4,185	3,230	3,280	4,295	43,592
トレーニングルーム	1,782	0	4,759	5,536	5,706	6,069	6,015	6,136	4,978	4,371	5,402	6,256	57,010
庭球場	0	1,592	4,076	6,231	6,875	10,648	7,559	1,339	0	0	0	0	38,320
アチェリー場	0	0	0	280	660	1,240	25	0	0	0	0	0	2,205
球技場	0	0	60	0	146	300	1,000	200	0	0	0	0	1,706
合宿所	0	0	0	343	1,395	685	98	175	244	319	90	100	3,449
陸上競技場	0	0	1,069	13,486	3,017	15,638	3,720	2,000	265	412	368	232	40,207
室内練習場	38	0	127	236	369	111	105	508	783	1,124	1,377	1,403	6,181
周回走路	277	0	327	444	409	311	504	1,054	2,229	2,086	2,544	2,076	12,261
陸上競技場 トレーニングルーム	154	0	608	467	591	485	505	539	583	659	644	749	5,984
補助競技場	0	98	165	10,635	3,184	13,630	2,405	519	0	0	0	0	30,636
投てき・ アチェリー場	0	49	405	1,612	732	3,134	419	13	0	0	0	0	6,364
観客・見学	14	0	382	9,224	4,782	15,532	11,150	16,411	3,361	11,846	1,282	12,215	86,199
計	3,496	1,739	17,213	65,474	44,967	86,453	40,499	49,165	24,852	34,071	24,520	34,869	427,318

(イ) 総合運動公園

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
陸上競技場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補助競技場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野球場	0	247	191	2,200	1,721	2,376	1,190	435	0	0	0	0	8,360
水泳場	0	0	260	2,288	1,799	0	0	0	0	0	0	0	4,347
計	0	247	451	4,488	3,520	2,376	1,190	435	0	0	0	0	12,707

(ウ) 県営スケート場

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計	73	1,165	1,198	2,017	1,390	676	2,811	7,378	9,077	9,051	8,668	6,345	49,691

(エ) 県武道館

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
主競技場	1,035	2,064	1,848	2,443	3,544	3,382	2,107	2,238	2,688	2,186	2,522	4,095	30,152
補助競技場	413	627	758	788	903	894	473	488	1,108	988	1,033	1,349	9,822
柔道場	248	314	586	722	894	743	456	574	766	652	663	884	7,502
剣道場	72	187	310	395	435	427	306	446	688	387	445	569	4,667
相撲場	4	0	0	0	2	0	0	0	5	5	13	0	29
近的弓道場	145	172	275	153	556	276	660	316	477	335	386	434	4,185
遠的弓道場	23	54	19	94	126	291	67	57	35	100	297	300	1,463
会議室	255	110	378	792	629	843	544	354	437	513	369	386	5,610
トレーニングルーム	0	0	2,352	2,520	2,576	2,416	1,899	1,264	1,726	1,762	1,964	1,959	20,438
合宿所	0	0	0	49	136	135	38	0	18	0	0	75	451
館内見学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2,195	3,528	6,526	7,956	9,801	9,407	6,550	5,737	7,948	6,928	7,692	10,051	84,319

(オ) 過去3年間の利用状況

施設名	平成30年度	令和元年度	令和2年度
新総合運動公園	527,107	582,849	427,318
総合運動公園	192,607	97,215	12,707
県営スケート場	105,346	93,089	49,691
県武道館	197,129	120,419	84,319

2 スポーツ事業

(1) 県民スポーツ関連事業

多様化するスポーツ・レクリエーション活動に対する県民ニーズに的確に対応し、「いつでも、どこでも、だれでも」が気軽に楽しめる生涯スポーツの普及振興を図るため、各種事業を実施した。

事業名	期 日	場 所	参加対象及び事業内容	参加人数
第13回青森県民スポーツ・レクリエーション祭	8月～11月	県内5市5町	・対象 種目別大会参加者 ・内容 23種目別大会の開催	参加者 2,585名 関係役員 247名

※青森県民駅伝競技大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

(2) 競技スポーツ関連事業

本県競技力向上を図ることを目的として、指導者の資質向上やジュニア層の育成強化、県内外での強化合宿等をはじめとする各種競技力向上対策事業を実施した。

事業名	期 日	場 所	参加対象及び事業内容	参加人数
総合選手強化対策	通 年	国 内	・対象 国体正式41競技団体 ・内容 関係競技団体が実施する、国内における合宿に対する補助金交付	2,120名
中学生強化	通 年	県 内 外	・対象 中体連、関係競技団体 ・内容 中体連が実施する県内外における強化合宿に対する補助金交付	707名
高校生強化	通 年	国 内	・対象 高体連、指定高校及び関係競技団体 ・内容 高体連が実施する国内における強化合宿に対する補助金交付	1,279名
あおもりスポーツアカデミー	・発掘プログラム10～11月 ・共通プログラム年1回 ・競技プログラム年2回2競技 ・選択プログラム年2回	・発掘プログラム県内3会場(青森市、藤崎町、八戸市) ・共通プログラムマエダアリーナ ・競技選択プログラム青森県武道館等	①発掘プログラム ・対象 新体力テストA判定の小学4、6年生 ・内容 選考会 ②育成プログラム ・対象 あおもりスポーツアカデミー生 174名(小5:36名,小6:39名,中1:35名,中2:36名,中3:28名) ・内容 共通プログラム、競技プログラム、選択プログラム	・発掘プログラム235名 ・共通プログラム延べ59名 ・競技プログラム延べ102名 ・選択プログラム延べ14名
第47回東北総合体育大会	12月5日～13日	福 島 県	・対象 青森県代表選手・監督・本部役員 ・内容 代表選手・監督・役員を派遣する競技団体等への補助金交付 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、アイスホッケーのみ開催	役員・監督・選手 40名

事業名	期 日	場 所	参加対象及び事業内容	参加人数
第 76 回 国民 体 育 大 会 (冬 季)	スケート・ アイスホッケー 1月27日 ～31日	岐 阜 県 愛 知 県	・対象 代表選手・監督・役員 ・内容 代表選手・監督・役員を派遣する競 技団体等への補助金交付 ※新型コロナウイルス感染症の影響によ り、スキー競技は開催中止	役員・ 監督・選手 56名
コ ー チ ス キ ル ア ッ プ 事 業	通年	県内外	・対象 国体正式41競技団体 ・内容 若手指導者の育成と資質向上を図 るための指導者派遣事業、招聘事 業並びに公認資格の取得支援を行 う競技団体への補助金交付	901名

※第75回国民体育大会（本大会）は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

(3) スポーツ科学関連事業

県民の健康・体力の増進、本県競技力の向上及び体育・スポーツ指導者の資質の向上を
図ることを目的として、各種事業を実施した。

事業名	期 日	場 所	参加対象及び事業内容	参加人数
アスリート プログラム サー ビ ス	通 年	県スポーツ学 科 セ ン タ ー ほ か	・対象 県民一般、県内外競技者 ・内容 体力、筋力、運動能力等の測定 ・運動フォームの撮影と動作分析 ・リコンディショニング・心理サ ポート	体力測定 1,450名 動作分析 1,076名 リコンディショニング 2,370名 心理サポート 1,964名
チ ー ム サ ポ ー ト 事 業	通 年	県 内	・対象 青森県高等学校体育連盟専門部から推薦を受けた高等学校の運動部 (16チーム) ・内容 ①体力測定分野からのサポート(6チーム) ・定期的な体力測定と測定データの 評価 ・評価に基づいたトレーニングプ ログラムの作成 ・作成プログラムによるトレーニ ング指導 ②動作分析分野からのサポート(6チーム) ・定期的・継続的なフォームの撮影と 動作分析 ・分析結果に基づく技術改善のため の情報提供 ③リコンディショニング分野からのサ ポート(2チーム) ・スポーツ傷害予防プログラムの作成 と実施指導 ・テーピング・ボディケア等の指導 ・試合時におけるリコンディショニ ング指導	体力測定分野 6校 74回 延べ 622名 動作分析分野 6校 56回 延べ 630名 リコンディショニング分野 2校 25回 延べ 215名 心理サポート分野 2校 30回 延べ 512名

事業名	期 日	場 所	参加対象及び事業内容	参加人数
チ ャーム サ ポート 事 業	通 年	県 内	④心理サポート分野からのサポート(2チーム) ・目標設定技法の実施と設定目標の見直し方の指導 ・リラクゼーション技法の講義と実習 ・イメージ技法の講義と実習	
ス ポーツ 科学センター チ ャーム サ ポート 指 導 懇 談 会	第1回 (7月7日) 第2回 (2月4日)	県スポーツ 科学センター ほ か	・対象 チームサポート対象校顧問 ・内容 チームサポート事業におけるサポート内容の確認及び今後のサポートに向けた課題等についての意見交換	第1回 28名 第2回 27名

6章 青森県立郷土館

〔1〕 施設・設備

(1) 所在地	青森市本町二丁目8番地14
(2) 敷地面積	3,847.64㎡
(3) 主要施設	
旧「青森銀行本店」部分	鉄筋コンクリート造 地上2階 延床面積 1,123.40㎡
増築部分	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造） 地上3階、地下1階、塔屋2階 延床面積 6,483.43㎡
延床面積合計	7,606.83㎡
(4) 主要各室床面積	
展示室	常設展示室 8室 2,514㎡ 特別展示室 1室 487㎡
小ホール	1室 119㎡
収蔵庫	10室 853㎡
エントランスホール	267㎡
事務室等	3,366.83㎡

〔2〕 運営方針

青森県立郷土館基本的運営方針

青森県立郷土館は、昭和48年に「ふるさとの過去を語り現在を考え未来を展望する」総合博物館として設置され、以来長きにわたり、県民が郷土に誇りをもち、夢や希望を感じられるよう、郷土に根ざした活動を行ってきました。

総合博物館としての当館の使命は、社会教育施設として資料収集・保存、展示、調査研究、教育普及などの活動を通して、本県の歴史や自然、文化などについて誰もが幅広い理解を得られるように支援することにあります。今後も広く県民の意見を取り入れ、経営資源を最大限に生かしながら、未来に向け、下記の博物館活動の充実に努めてまいります。

1 資料の収集・保存

当館は、開館以来、一貫して郷土の歴史、民俗、産業、自然などに関する資料の収集・保存に努めています。県民・国民共有の財産である貴重な資料の収集・整理に努め、良好な状態で次の世代に継承していきます。

2 展示

- (1) 収蔵資料の中からテーマごとに精選した資料を展示する常設展示室は、観覧者が分かりやすいよう資料や解説パネルを効果的に展示します。
- (2) 常設展示室に解説員を配置し、展示資料について分かりやすい解説や、説明資料の配布により、来館者の学習活動を支援します。

- (3) 調査研究の成果や県民の関心の高いテーマに関する資料を展示する特別展、民間事業者と連携した共催展など、多彩な展示活動を実施します。
- 3 調査研究

収蔵資料に関する館内研究や館外調査を実施するほか、教育普及活動を一層充実させるための研究を進めます。
- 4 教育普及
 - (1) 郷土館資料及び郷土についての講演会・講習会、観察会、体験活動などを実施します。
 - (2) 郷土館資料及び郷土に係るレファレンスサービスを行います。
 - (3) 学校の学習活動を支援する活動のほか、公共施設や福祉施設等を支援する活動も実施します。
- 5 連携・交流・情報発信
 - (1) 県内外の博物館及び図書館等の社会教育施設、民間事業者等と積極的に連携・協力し、社会の要請に応える博物館として総合力を高めます。
 - (2) 国外の博物館や研究者との連携、訪日外国人旅行者の受入体制の整備など、博物館としての国際交流活動の充実を図ります。
 - (3) 郷土館の利用機会の拡大や調査研究の成果の普及に資するパンフレット、年報、展示図録、研究紀要等を作成し、県民の郷土理解の促進を図ります。
 - (4) 様々な広報・情報媒体を積極的に活用して郷土の歴史や文化を県内外に広く発信し、郷土館が行う博物館活動への一層の理解の促進を図ります。
- 6 施設管理
 - (1) 来館者が安全・快適に利用できるよう、施設・設備の整備と管理を行います。
 - (2) 公共的な施設として、地震等の自然災害や火災等に備え、防災意識の向上と危機管理体制の強化を図ります。
 - (3) ライフサイクルコストを勘案し、施設・設備の効率的維持管理を行います。

〔3〕 事 業

1 資料の収集・保存

調査研究・展示・教育普及に必要な資料を収集した。令和2年度は1,301点の増加となり、年度末時点における資料総数は99,506点となった。増加分を分野別にみると次のとおりである。

考古	増分	206点	(土器・土製品、石器・石製品)
歴史	増分	375点	(歴史・軍事関係資料)
民俗	増分	4点	(衣食住・信仰関係資料)
自然	増分	716点	(昆虫・植物標本)

2 展示

(1) 常設展示

・考古展示室（先史時代の謎を秘めた青森）

青森県内から出土した遺物を通して、旧石器時代から縄文・弥生時代までの人々の生活

や文化を紹介している。令和2年度は、「北海道・北東北の縄文遺跡群」を紹介する展示の充実を図った。

・自然展示室（四季をうたう青森の自然）

青森県の大地の成り立ちや、四季折々の美しい自然とそこに息づく動植物の姿を紹介している。令和2年度は、県天然記念物を紹介する展示を更新した。

・歴史展示室（波乱にみちた郷土のあゆみ）

青森県の古代から現代までの歴史の大きな流れを紹介している。令和2年度は、「平安時代の青森県」コーナーの展示資料の追加などを行った。

・民俗展示室（庶民のくらしとそのこころ）

生業や衣食住、年中行事、民間信仰などの資料を展示するとともに、それらに関する映像資料を活用し、青森県の人々の生活文化を紹介している。令和2年度は、季節に合わせて資料の展示替えを行った。

・りんごと青森県展示室

質・量とも日本一を誇る青森県のりんご栽培に関する歴史を紹介している。

・郷土学習室「わくわくたいけんルーム」

子どもから大人まで幅広く楽しめる体験型展示室として、昔の道具やおもちゃ、化石など、見たり触れたりできる資料を展示している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため展示室を閉鎖した。

・輝いた郷土の先人たち展示室

青森県ゆかりの人物で、明治時代から現代にかけて優れた業績を残した先人たちを紹介している。令和2年度は、展示資料の一部入替えを行った。

・風韻堂展示室

青森市の故大高興氏から寄贈を受けた青森県指定文化財を含む考古資料（風韻堂コレクション）を紹介している。令和2年度は、亀ヶ岡遺跡出土彩文漆塗浅鉢形土器の保存修理などを行った。

(2) 特別展示

郷土館の特別企画による展示会を次のとおり開催した。

◇企画展「収蔵資料でめぐる ふるさと再発見の旅」（4月24日～6月14日予定）

令和元年度に新たに収集した資料を中心に展示する企画展を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

◇企画展「鎌田清衛写真展 青森の風土と人」（9月4日～10月18日）

アマチュア写真家・鎌田清衛氏が県内で撮影した民俗行事や風景の写真を展示した。

◇指定管理者事業「第88回東奥児童美術展」（10月30日～11月8日 東奥日報新町ビル）

県内の幼稚園・保育園児から中学生までを対象とした応募作品のうち入賞作品を展示した。

◇特別展「蓑虫山人が夢みた『博物館』」（11月20日～1月17日予定）

放浪の画人・蓑虫山人が博物館を設立する夢を抱きながら旅先で収集した資料などを紹介する特別展を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため次年度以降に延期とした。

◇指定管理者事業「金魚美抄2020～金魚を描くアーティストたち～」（11月28日～1月11日 三内丸山遺跡センター）

金魚を愛してやまないアーティストが思い思いに描き創造する金魚アート約200点を展示した。

◇青森県立郷土館サテライト考古展示室with奈良国立博物館収蔵資料（1月23日～2月21日 三内丸山遺跡センター）

奈良国立博物館の考古資料相互活用促進事業を利用して同館が所蔵する本県関連の考古資料を借用し、当館所蔵資料と合わせて展示した。

◇指定管理者事業「第10回東奥児童書道展」（2月18日～2月28日 東奥日報新町ビル）
県内の幼稚園・保育園児から中学生までを対象とした応募作品のうち入賞作品を展示した。

(3) 連携展

県内博物館・資料館など館外の施設を会場として、郷土の歴史・文化・自然をテーマとした展示を次のとおり行った。

◇常盤ふるさと資料館あすか（藤崎町）における連携展
「今純三と青森県の版画家たち展」（1月15日～2月14日）

◇県民福祉プラザ（青森市）における連携展
「青森市の風景～昭和時代の青森市にタイムスリップ～」（1月19日～3月14日）

3 調査研究

分野ごとに設定したテーマに基づき調査を実施した。

(1) 考古分野「青森県出土考古資料の所在調査」（5年計画1年次目）

県内外に所在する青森県ゆかりの考古資料について、文献等の記録類の調査を行った。

(2) 自然分野「中南地域自然調査」（3年計画3年次目）

青森県中津軽地域において、生物の分布状況や自然史の解明のための資料を得る目的で地質・生物など多角的な視野から調査を行った。

(3) 歴史分野「青森県の交通史の調査」（5年計画3年次目）

青森県を中心とした近世・近現代の交通の様相について、文献や実物資料等の関連資料の調査を行った。

(4) 民俗分野「近現代における民俗変容調査Ⅱ」（5年計画5年次目）

近代・現代における社会状況の変化が県内の民俗にどのような影響を与え現在に至ったのか調査した。また、近代の青森県内における清涼飲料水の製造及び普及の実態、上北・下北地方における盆棚の習俗等について調査した。

(5) 美術分野「近代以降の青森県の絵画史」（5年計画5年次目）

近代以降の青森県の絵画史について、大正・昭和期を中心に作品、作家、関連資料の調査を行った。

(6) 産業・先人分野「産業・先人調査」

青森県ゆかりの先人について、資料調査及び情報収集を行った。

(7) 教育普及分野「教育普及事業の調査研究」

移動博物館や出前授業の内容の充実を図るため、教材研究やワークシート作成を行った。

4 教育普及

県民の郷土に対する理解を深めるため、各種講座・講演会などの実施と研究紀要・資料冊子などの刊行を行った。

- (1) 土曜セミナー
一般を対象に、歴史・文化・自然に関わるテーマについて、ゲストキュレーターと当館職員が講演を行った。(実施回数16回)
- (2) 講師派遣事業
当館の学芸員を、各分野に関する講演会・学習会などへ講師として派遣した。(実施件数10件)
- (3) 移動博物館
郷土館が収蔵している資料を県内の公共施設などに運び、展示・解説を行った。(実施件数3件)
- (4) 自然観察会
一般を対象に、大地のつくりや動植物の観察などを通じて、自然界の不思議や仕組みについて考え、自然に親しみ、自然のすばらしさを学ぶ「自然観察会」を行った。
 - ① 夏の自然観察会
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止(7月5日予定)
 - ② 秋の自然観察会
むつ市 釜臥山・水源池公園(10月4日)
- (5) あおもり街かど探偵団
青森市内の歴史的建造物や街並みの歴史を探索する街歩きツアーを実施した。
 - 第1回 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止(7月4日予定)
 - 第2回 「青森市長島・古川地域と旧線路通り周辺の歴史」(10月10日)
- (6) 博物館の仕事普及啓発事業
博物館活動や博物館資料への理解を深めるため、当館の活動や資料解説などを掲載した小冊子『郷土館のモノ語り』No.8を作成し関係機関に配布した。
3Dプリンターを使ったレプリカについての講演会の開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。
- (7) 出前授業
郷土館が収蔵している資料を県内の学校に運び、授業の中で実物資料の展示・解説を行った。(実施件数58件)
- (8) ミュージアム探検隊
展示資料に関するクイズを解きながら、郷土に関する知識と理解を深めていくもので、土・日曜日、祝日に行った。(実施回数26回)
- (9) こどものくに
夏休み・冬休み中の子どもの学習を支援し、博物館に対する興味関心を深めるため、体験活動やものづくりを中心としたイベントを実施した。
 - ① 夏休みこどものくに
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止(7月25日・8月2日予定)
 - ② 冬休みこどものくに
「冬休みめぐりまわし大会」(1月10日 青森県総合社会教育センター)
- (10) 郷土館クイズラリー
夏休み・冬休み中の子どもたちを対象に、展示資料を観察したり、わくわくたいけんルームの資料に触れたりしながら問題を解くクイズラリーを計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止などのため中止とした。

(11) スチューデント・キュレーター

県内の高校生を「青森県立郷土館スチューデントキュレーター」に委嘱し、郷土館内外における訪日外国人旅行者の案内などを通じて郷土に対する理解を深める機会とすることを計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

(12) 授業に役立つ博物館研修

県内の教員を対象に、当館の教育普及活動を教科の授業や総合的な学習の時間に活用する方法についての研修会を実施した。（8月6日）

(13) 博物館実習生の受入れ

学芸員資格取得を目指す大学生等を対象にした実習を実施した。（8月24日～28日）

〈出版物〉

『青森県立郷土館報』通巻47号

『青森県立郷土館研究紀要』第45号

『青森県立郷土館だより』第51巻1～3号（通巻177～179号）

『郷土館のモノ語り』No.8

企画展「鎌田清衛写真展 青森の風土と人」解説書

「青森県立郷土館サテライト考古展示室with奈良国立博物館収蔵資料」解説リーフレット

5 連携・交流・情報発信

新型コロナウイルス感染症の状況などを踏まえ、在宅のままでも郷土館所蔵資料について楽しみながら知ることができるよう、動画投稿サイトYouTubeに当館公式チャンネルを開設し、「キョドチャンネル」として動画コンテンツを公開する取組を開始した。

6 施設管理

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月11日～5月20日を臨時休館とした。

また、建物の一部に耐震性能が低い箇所があることが判明し、来館者の安全確保に万全を期するため10月20日から臨時休館とした。

[4] 利用状況

令和2年度利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	
開館日数		10	11	29	30	30	
展 示 事 業	常設展・特別展・移動展	小・中学生	5	12	52	117	105
		前年度	112	468	1,219	255	288
		対前年度	4.5	2.6	4.3	45.9	36.5
		高校・大学生	0	3	10	22	39
		前年度	19	4	32	74	178
		対前年度	0.0	75.0	31.3	29.7	21.9
		一般	29	35	196	350	433
		前年度	2,590	3,211	5,504	6,486	12,590
	対前年度	1.1	1.1	3.6	5.4	3.4	
	観覧者合計	34	50	258	489	577	
	前年度	2,721	3,683	6,755	6,815	13,056	
	対前年度	1.2	1.4	3.8	7.2	4.4	
	1日当たり観覧者数	3	5	9	16	19	
教 育 普 及 ・ ホ ー ル 利 用 事 業	教育普及事業	資料の調査研究利用	0	0	0	0	0
		レファレンス利用	52	44	103	132	120
		講演会等への参加	0	0	0	0	39
		出前授業等の館外活動	0	0	0	100	0
		計	52	44	103	232	159
	ホール利用	展示の観覧	0	0	0	0	0
		講習会等の参加	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0
	合計	52	44	103	232	159	
	前年度	392	805	758	544	600	
対前年度	13.3	5.5	13.6	42.6	26.5		
利 用 合 計	利用者合計	86	94	361	721	736	
	前年度	3,113	4,488	7,513	7,359	13,656	
	対前年度	2.8	2.1	4.8	9.8	5.4	
	1日当たり利用者数	9	9	12	24	25	

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
29	18	0	0	0	0	0	157
243	300	0	0	0	0	0	834
635	601	369	131	185	147	69	4,479
38.3	49.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.6
55	8	0	0	0	0	0	137
42	169	15	79	18	20	19	669
131.0	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.5
1,266	1,193	1,833	2,974	3,918	3,725	2,324	18,276
5,360	4,835	1,830	697	819	267	664	44,853
23.6	24.7	100.2	426.7	478.4	1,395.1	350.0	40.7
1,564	1,501	1,833	2,974	3,918	3,725	2,324	19,247
6,037	5,605	2,214	907	1,022	434	752	50,001
25.9	26.8	82.8	327.9	383.4	858.3	309.0	38.5
54	83	-	-	-	-	-	123
0	0	0	0	0	0	0	0
278	217	60	50	38	36	41	1,171
136	111	27	39	76	12	0	440
180	330	159	681	465	1,021	345	3,281
594	658	246	770	579	1,069	386	4,892
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
594	658	246	770	579	1,069	386	4,892
568	816	2,769	1,130	1,739	1,773	114	12,008
104.6	80.6	8.9	68.1	33.3	60.3	338.6	40.7
2,158	2,159	2,079	3,744	4,497	4,794	2,710	24,139
6,605	6,421	4,983	2,037	2,761	2,207	866	62,009
32.7	33.6	41.7	183.8	162.9	217.2	312.9	38.9
74	120	-	-	-	-	-	154

7章 青森県埋蔵文化財調査センター

〔1〕 施設

1 埋蔵文化財調査センター

- (1) 所在地 青森市大字新城字天田内152-15
- (2) 敷地面積 17,955.29㎡
- (3) 主要施設
 - ア 新館 鉄筋コンクリート造 地上2階 延床面積 3,969.98㎡
収蔵・展示室、第1-第4整理室、写場、図書閲覧室、多目的室等
 - イ 本館 鉄筋コンクリート造 地上2階 延床面積 1,819.56㎡
一般収蔵庫、水洗い室、PEG含浸室、木製品前処理室、木製品・金属製品保管室、種子等保管・分析室、樹脂含浸錆び落し室、脱塩処理室、注記室、写真・スライド保管室、ネガアルバム保管室、実測図保管室等
 - ウ 体育館収蔵庫 鉄骨造 地上1階 床延面積 846.90㎡
 - エ 遺物乾燥室 軽量鉄骨造 地上2階 延床面積 129.60㎡
 - オ その他 器材保管庫、物置

2 六ヶ所収蔵庫

- (1) 所在地 六ヶ所村大字倉内字笹崎1066-1
- (2) 敷地面積 13,224.48㎡
- (3) 収蔵庫 木造 地上1階 延床面積 162.00㎡

3 七戸収蔵庫

- (1) 所在地 七戸町舟場向川久保243-1
- (2) 敷地面積 8,760.00㎡
- (3) 収蔵庫
 - ア 南棟 鉄筋コンクリート造 地上2階 延床面積 2,386.00㎡
 - イ 西棟 鉄骨造 地上2階 延床面積 1,157.71㎡
 - ウ 東棟 鉄筋コンクリート造 地上2階 延床面積 668.70㎡
 - エ その他 機械室、物置

4 大鰐収蔵庫

- (1) 所在地 大鰐町大字虹貝字中熊沢10-4
- (2) 敷地面積 17,128.00㎡
- (3) 収蔵庫
 - ア 南棟 鉄筋コンクリート造 地上5階 延床面積 3,591.85㎡
 - イ 西棟 鉄骨造 地上2階 延床面積 1,211.23㎡
 - ウ その他 受水槽室、倉庫

〔2〕 事 業

1 埋蔵文化財発掘調査

(1) 一般国道45号天間林道路建設事業

◎七戸町 舟場向川久保(2)遺跡

〔所在地〕 上北郡七戸町字舟場向川久保地内

〔調査期間〕 令和2年5月7日(木)～令和2年7月31日(金)

〔調査面積〕 2,130㎡

〔委託者〕 国土交通省東北地方整備局青森河川国道事務所

〔調査結果〕 検出遺構 縄文・弥生・平安・時期不明
落し穴55、土器埋設遺構1、竪穴建物跡1、円形周溝1、土坑墓9

出土遺物 縄文・弥生・古墳・奈良・平安

土器、石器、土師器、管玉等 段ボール箱6箱

(2) 国道279号むつ南バイパス道路改築事業

◎むつ市 酪農(3)遺跡

〔所在地〕 むつ市大字田名部字酪農地内

〔調査期間〕 令和2年5月12日(火)～令和2年10月30日(金)

〔調査面積〕 3,190㎡

〔委託者〕 青森県県土整備部(道路課)

〔調査結果〕 検出遺構 縄文

環状列石1、竪穴建物跡4、土坑140、焼土37、小穴168、
土器埋設遺構11、溝状土坑2、捨て場1、溝跡1、石囲炉1

出土遺物 縄文

土器、石器、土製品、石製品 段ボール箱276箱

(3) 国道338号交通安全対策事業

◎むつ市 上野平遺跡

〔所在地〕 むつ市川内町宿野部上野平地内

〔調査期間〕 令和2年5月12日(火)～令和2年7月17日(金)

〔調査面積〕 1,500㎡

〔委託者〕 青森県県土整備部(道路課)

〔調査結果〕 検出遺構 平安 時期不明

竪穴建物跡1、土坑3、焼土遺構4

出土遺物 縄文・平安

土器、石器、土師器、土製支脚 段ボール箱4箱

(4) 県営下北北部地区中山間地域総合整備事業

◎大間町 焼畑(2)遺跡

〔所在地〕 下北郡大間町大字奥戸字焼畑地内

〔調査期間〕 令和2年8月4日(火)～令和2年9月30日(木)

〔調査面積〕 1,100㎡

〔委託者〕 青森県農林水産部（農村整備課）

〔調査結果〕 検出遺構 縄文

焼土遺構 1

出土遺物 縄文

土器、石器 段ボール箱 6箱

(5) 3・3・8 白銀市川環状線（尻内工区）道路改築事業

◎八戸市 法霊林遺跡

〔所在地〕 八戸市大字田面木字法霊林地内

〔調査期間〕 令和2年5月12日(火)～令和2年10月9日(金)

〔調査面積〕 3,600㎡

〔委託者〕 青森県土整備部（都市計画課）

〔調査結果〕 検出遺構 縄文・奈良・平安 時期不明

竪穴建物跡12、土坑8、溝状土坑1、落し穴1、大溝1、溝跡3、
小柱穴160、性格不明遺構 1

出土遺物 縄文・奈良・平安

土器、石器、土師器、須恵器、金属製品 段ボール箱80箱

(6) 国道279号横浜南バイパス道路改築事業

◎横浜町 吹越(2)遺跡

〔所在地〕 上北郡横浜町字吹越地内

〔調査期間〕 令和2年5月7日(木)～令和2年6月26日(金)

〔調査面積〕 3,500㎡

〔委託者〕 青森県土整備部（道路課）

〔調査結果〕 検出遺構 縄文 溝状土坑10

出土遺物 縄文 石器 段ボール箱 1箱

(7) 新青森県総合運動公園整備事業

◎青森市 米山(2)遺跡

〔所在地〕 青森市大字宮田字米山地内

〔調査期間〕 令和2年8月4日(火)～令和2年11月13日(金)

〔調査面積〕 2,600㎡

〔委託者〕 青森県土整備部（都市計画課）

〔調査結果〕 検出遺構 縄文・中世

捨て場1、土坑8、カマド状遺構14、土坑（井戸含む）6、
溝跡6、柱穴105

出土遺物 縄文

土器、石器 段ボール箱111箱

2 刊行物

- | | |
|--------------|----------------------|
| (1) 猪ノ鼻(1)遺跡 | (青森県埋蔵文化財調査報告書第616集) |
| (2) 猪ノ鼻(2)遺跡 | (青森県埋蔵文化財調査報告書第617集) |
| (3) 戸来館遺跡 | (青森県埋蔵文化財調査報告書第618集) |
| (4) 内田(2)遺跡Ⅱ | (青森県埋蔵文化財調査報告書第619集) |
| (5) 林ノ脇遺跡 | (青森県埋蔵文化財調査報告書第620集) |
| (6) 古野(2)遺跡 | (青森県埋蔵文化財調査報告書第621集) |
| (7) 百目木(3)遺跡 | (青森県埋蔵文化財調査報告書第622集) |
| (8) 研究紀要第26号 | |

8章 三内丸山遺跡センター

〔1〕 施 設

特別史跡三内丸山遺跡と青森県総合運動公園の公園センターである縄文時遊館を合わせて教育機関「三内丸山遺跡センター」として平成31年4月に設置された。

- 1 所在地 青森市三内字丸山305
- 2 遺跡ゾーン 42.2ha（開園面積33.3ha）うち、特別史跡範囲25.2ha
- 3 縄文時遊館
 - (1) 延床面積 10,385.37㎡（地階 1,464.71㎡、1階 8,474.82㎡、2階 445.84㎡）
 - (2) 構造 鉄筋コンクリート造 地上2階建地下1階建
 - (3) 既存部分
 - ア 延床面積 7,347.96㎡
 - イ 主要各室
 - (ア) 1階 さんまるミュージアム(875㎡、約1,700点（うち重要文化財約500点）展示）、縄文シアター、体験工房等
 - (イ) 2階 会議室
 - (4) 増築部分
 - ア 延床面積 3,037.41㎡
 - イ 主要各室
 - (ア) 1階 企画展示室（245.91㎡）、展示準備室（70.04㎡）、ギャラリー（269.91㎡）、整理作業室（404.44㎡）等
 - (イ) 地階 一般収蔵庫（680.84㎡）、特別収蔵庫（194.19㎡）、撮影室等

〔2〕 運 営 方 針

三内丸山遺跡センター基本的運営方針

三内丸山遺跡では、平成6年に保存・活用が決定されてから、発掘調査や研究を継続するとともに、遺跡の公開・活用に努めてきました。平成31年度（令和元年度）からは、県総合運動公園遺跡区域と埋蔵文化財センター縄文時遊館とで構成する教育機関「三内丸山遺跡センター」として設置され、遺跡の保存・管理体制が強化されることから、これまで以上に国内外から多くの人々が遺跡を訪れ、縄文の「むら」のたたずまいの中で、縄文文化を知り、体感し、親しむことができるよう、遺跡に関する調査・研究、保存、展示、教育普及などの活動の充実に努めて参ります。

- 1 保存
 - (1) 縄文時代における集落の全体像や生活、自然環境等とその変遷を具体的に解明することができる、日本を代表する縄文遺跡として評価され、特別史跡に指定された三内丸山遺跡を、次世代へ着実に継承するため、遺跡の適切な保存管理を実施します。
 - (2) 質・量ともに豊富な三内丸山遺跡出土品は、縄文人の生活を理解する上で貴重な資料で

あり、適切な環境の下で保存します。

2 調査・研究

三内丸山遺跡の全体像の解明、保存・活用、整備の推進のため、遺跡の発掘調査や遺跡に関連する縄文文化の調査、遺跡や出土品、遺跡に関連する縄文文化等に関する研究を継続して実施します。

3 展示

- (1) 三内丸山遺跡及び縄文文化の価値や魅力の理解につなげるため、遺跡と展示室を一体として、それぞれの機能に応じた展示を行います。
- (2) 遺跡区域における復元建物や露出遺構等について、縄文のむらのたたずまいを体感・体験できる場として公開します。
- (3) 三内丸山遺跡出土品から精選した資料により、縄文人のこころや生活を体感できる常設展示（さんまるミュージアム）を行います。
- (4) 三内丸山遺跡や縄文文化に関わる県民の関心の高いテーマについて、各方面から資料を集めて展示する特別展など、多彩な展示活動を実施します。
- (5) これらの展示についての理解を深めるために、解説業務を実施します。

4 教育普及

三内丸山遺跡や縄文文化に関する体験学習や講座、出前講座、発掘調査報告会、縄文文化の体感・体験イベントなどを実施します。

5 情報発信

- (1) 三内丸山遺跡の価値や魅力の積極的な情報発信のため、リーフレット、展示図録、年報等を作成・配布します。
- (2) 様々な媒体を積極的に活用し、三内丸山遺跡及び縄文文化に関する理解の促進を図ります。

6 管理運営

- (1) 来場者が安全・快適に利用できるよう、施設・設備の整備と管理運営を行います。
- (2) 公共的な施設として、地震等の自然災害や火災等に備え、防災意識の向上と危機管理体制の強化を図ります。
- (3) ライフサイクルコストを勘案し、施設・設備の効率的な維持管理を行います。

[3] 事 業

1 保存

- (1) 展示遺構の維持・管理

公開している遺構の清掃を年16回実施。また、南盛土覆屋内の展示遺構面の保存処理を実施。

(2) 重要文化財修理事業

三内丸山遺跡の出土品で重要文化財に指定されたもののうち、貸出し回数の多いものについて専門的技術による保存修理を実施。(土器7点、骨角器3点)

(3) 三内丸山遺跡長寿命化事業

大型掘立柱建物改修工事(～令和3年度)及び高床建物28号改修設計を実施。

2 展示

(1) 三内丸山遺跡史跡整備検討事業

令和2年3月に策定した「特別史跡三内丸山遺跡整備計画」に基づき、基本設計を実施。

(2) 常設展示事業

優品を展示している「縄文人のこころ」のコーナー(常設展示室内)のクロス張替を実施。

3 調査研究

(1) 発掘調査(第44次調査)

ア 調査期間 令和2年6月1日～11月20日

イ 調査面積 約336㎡

ウ 調査結果

第44次発掘調査は、第3期発掘調査計画の5か年目であり、以下の2点を課題として調査を実施。

○遺跡北側地区における2条の溝状遺構の時期、規模、構造の解明

○旧都市計画道路予定地北側の遺構分布状況の確認

〈検出遺構〉

新たに縄文時代と古代以降の土坑10基、古代以降に帰属する可能性のある溝跡7条、縄文時代の埋設土器1基、縄文時代とそれ以降に帰属する可能性のあるピット176基などを検出。

〈出土遺物〉

段ボール箱約35箱分の縄文土器・石器・土製品・石製品等が出土。

(2) 関連遺跡調査

第44次発掘調査において検出した溝状遺構について、他遺跡の事例と比較するため、調査を実施。

ア 調査期間 令和2年12月15日

イ 調査地

(ア) 秋田県秋田市地藏田B遺跡・同市上新城中学校遺跡(秋田市役所)

(イ) 秋田県にかほ市神田遺跡(秋田県埋蔵文化財調査センター)

ウ 調査成果等

(ア) 秋田県秋田市地藏田B遺跡・同市上新城中学校遺跡(秋田市役所)

縄文時代晩期から弥生時代前期の溝状遺構が発見され、両遺跡とも溝及び柱穴列が確認されており、集落を囲う溝及び柵列と考えられている。

溝跡が2条併行して集落を囲っているが、溝として掘られている部分や、柱穴が列状に並ぶことで、結果として溝状になっている部分が確認できた。

- (イ) 秋田県にかほ市神田遺跡（秋田県埋蔵文化財調査センター）
神田遺跡は、秋田県埋蔵文化財センターにより令和2年度に調査が行われ、縄文時代中期末葉の集落跡とともに溝状遺構が確認されている。
縄文時代のものとして希少なものである。
- (3) 三内丸山遺跡特別研究推進事業
遺跡の全体像解明並びに円筒土器文化及び縄文文化に関する調査・研究を推進するため、三内丸山遺跡センターが事務局として実施する共同研究のほか、研究の公募を実施。
- ア 共同研究
「円筒土器文化における集落の実態をさぐる」
特定非営利活動法人 三内丸山縄文発信の会
- イ 個人研究
応募4件（採択0件）
- ウ 研究会議
(ア) 第1回研究会議（令和3年2月27日）
青森県内の集落遺跡から抽出した土坑墓の属性から、時期と土坑墓の形態の傾向をまとめ、他地域との比較検討を行っていくことを確認。
(イ) 第2回研究会議（令和3年3月20日）
北海道南地域の土坑墓について、形態や集落内での分布などを確認し、青森県内の例と比較研究を実施。
- (4) 遺跡環境調査
露出展示遺構の長期的な保護に向けて、その具体的な対応を検討するための基礎的な資料を得るため、覆屋内の気温・湿度等について定期的にデータを収集。
また、北の谷において有機質遺物の保存状況をモニタリングするため、地下水位と水質を測定。
- (5) 三内丸山遺跡発掘調査委員会
遺跡に関する学術的な解明や継続的な発掘調査計画検討のため、専門家による委員会を開催。
- ア 第1回発掘調査委員会（令和2年7月28日）
開催場所 三内丸山遺跡センター 2階会議室（第2回まで同じ）
検討内容 ・発掘調査について
・特別研究推進事業について
- イ 第2回発掘調査委員会（令和2年9月18日）
検討内容 ・発掘調査について
・来年度以降の発掘調査について
・第4期発掘調査計画について
・特別研究推進事業について
- ウ 第3回発掘調査委員会（令和3年3月19日）
開催形式 オンライン開催
検討内容 ・今年度の発掘調査について
・来年度の発掘調査について
・特別研究推進事業について

4 普及啓発

(1) 縄文体験学習

体験学習名	内 容	開催日	参加人数
発掘をしてみよう	遺跡で実際に発掘調査を体験しました。	8月3日	3人
縄文のムラの箱庭づくり	縄文時代のムラを箱庭で作りました。	8月22日	4人
ミニチュア土器を作ろう	粘土を使ってミニチュア土器を作りました。	12月19日	8人
土偶を作ろう	粘土を使って土偶を作りました。	1月30日	9人
土偶のレプリカを作ろう	土偶の複製品(レプリカ)を作りました。	2月27日	8人

(2) 縄文学講座

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催中止。

(3) 特別史跡三内丸山遺跡報告会

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、オンラインで動画を公開。

(3月26日～5月30日)

(4) 特別展

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催中止。

(5) 企画展

ア 特別史跡指定20周年記念企画展

「三内丸山と大湯－縄文の大集落からストーンサークルへ－」

(ア) 開催期間 令和2年7月18日～11月8日

(イ) 内 容 特別史跡と大規模集落をキーワードに三内丸山遺跡と大湯環状列石をわかりやすく紹介。

イ 「イミテーション・ワールド」

(ア) 開催期間 令和3年1月23日～5月30日

(イ) 内 容 縄文時代の出土品には「イミテーション」(模倣・まね)として実用品を模倣したものが数多く見られる。

これらをとおして縄文時代の精神世界を紹介。

5 三内丸山遺跡の魅力に関する情報発信

(1) 刊行物

ア 三内丸山通信第72号、第73号

遺跡に関する情報紙

イ 「特別史跡三内丸山遺跡研究紀要2」

令和元年度の成果を中心とした調査・研究の報告

ウ 特別史跡指定20周年記念企画展

「三内丸山と大湯－縄文の大集落からストーンサークルへ－」の図録

エ 特別史跡三内丸山遺跡リーフレット

三内丸山遺跡・縄文時遊館観覧の案内

(2) 縄文体験イベント等の実施

ア 縄文祭り

四季を通じて縄文文化の魅力等を伝えるため、縄文祭りを2回(秋・冬)開催。

なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大を防止するため、縄文祭り(春・夏)は開催中止。

- (ア) 縄文秋祭り（9月26日（土）～27日（日））
縄文パノラマビューや発掘ひろば等を実施。（参加人数2,865人）
- (イ) 縄文冬祭り（2月13日（土）～14日（日））
宝さがしや三内丸山遺跡の出土品に触れよう等を実施。（参加人数6,042人）
- イ 出土品のレプリカ、縄文服及び写真貸出
 - (ア) 出土品のレプリカ、縄文服
延べ7件を貸出（出土品のレプリカ3件、縄文服4件）。
 - (イ) 写真
148件を貸出。

ウ マーケティング調査

「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録を見据え、遺跡への来館者を促進させるとともに、来館の動機付けになる取組みに反映させるためにマーケティング調査を実施。

- (ア) 調査会社 株式会社アール・エー・ピーサービス
- (イ) 調査方法 Webを用いたインターネット調査
- (ウ) サンプル数 1,300サンプル
- (エ) 調査期間 令和2年11月27日～令和2年11月30日

6 世界文化遺産登録に関連する取組

世界文化遺産登録に向けて、企画政策部世界文化遺産登録推進室が開催している「縄文“体感”世界遺産講座」に当センター職員も参加。

また、当センターから出土品を貸出。（全14回）

7 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策として、以下の取組を実施。

(1) リスク評価

「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（令和2年5月14日付け公益財団法人日本博物館協会作成）」に基づき、令和2年5月22日付けで「三内丸山遺跡センターのリスク評価」を作成。

(2) 接触感染及び飛沫感染防止のための取組

- ア 館内への手指消毒液及び授乳室への除菌シートを設置
- イ 清掃業者及び職員による館内・備品等の消毒を毎日実施
- ウ 職員・解説員のマスク・フェイスシールド等の着用及びボランティアガイドへのマスク・フェイスシールド等の着用を依頼
- エ アンケート、記念スタンプ、縄文服コーナー、縄文ライブラリー、「ギネスに挑戦」テーブルの撤去、土器ハンズオンの中止
- オ 休憩用椅子等の数量調整と間隔を保持して利用することを表示
- カ 既存のITガイドシステムのコンテンツの拡充及びアプリの導入
- キ 券売機等へのキャッシュレス決済導入
- ク 常設展示室内、企画展示室内、券売機前等への待機位置等及び進行方向を示すフロアマーカーを設置
- ケ 2次元コード（QRコード）を利用した展示解説の動画を提供
- コ 各案内カウンター及び机上用アクリルパーテーションの設置

- サ 常設展示室の定時ガイドを休止
- (3) 集客施設としての対応
 - ア 来館者への体調管理、手指消毒、マスク着用等への協力依頼
 - イ ホームページ及び館内への注意事項掲示及びサイン表示
 - ウ 来館者及び職員への検温実施（赤外線カメラ、非接触式体温計の導入）
 - エ イベント参加者の連絡先等記録
 - オ 「COCOA」アプリインストールへの協力依頼の掲示
 - カ 団体等の適正人数での鑑賞のための取組（予約時の調整、ミュージアム等での誘導調整等）

[4] 来館者数

令和2年度の来館者数は、75,584人である。

特別展及び縄文学講座については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止。

展覧会等	来館者数
常設展等の来館者数	73,606人
内、常設展以外の各展覧会等の来館者数	
1 特別展 開催中止	0人
2 企画展（特別史跡指定20周年記念企画展） 「三内丸山と大湯 -縄文の大集落からストーンサークルへ-」	49,707人
3 企画展「イミテーション・ワールド」	10,087人
4 縄文体験学習	32人
5 縄文学講座 開催中止	0人
視察等来館者数	1,978人
合 計	75,584人

青森県の教育 ー令和2年度の実績ー

令和3年10月発行

編集 青森県教育庁教育政策課

発行者 青森県教育委員会

印刷所 ワタナベサービス(株)

